

Annual Report of

年
報

THE YAMANASHI PREFECTURAL INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER

平成
二十九
年度

山梨県産業技術センター 年報
平成29年度



山
梨
県
産
業
技
術
セ
ン
タ
ー

2018

山梨県産業技術センター



2018

平成29年度年報

発行日 平成30年5月31日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055
山梨県甲府市大津町2094
Tel 055-243-6111
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

〒400-0851
山梨県甲府市住吉1-13-1
Tel 055-226-2125
Fax 055-231-2100

はじめに

山梨県産業技術センターは、県内企業の発展による地域経済振興のため、技術支援、研究開発、人材育成、情報提供を4つの柱としながら、様々な技術的課題の解決や新技術・新製品開発支援、さらには研究成果の事業化支援など、県内中小企業を総合的に支援しております。

平成29年4月から新体制となり、新たに設けた管理・連携推進センターを中心に、甲府技術支援センターと富士技術支援センターの連携、大学や他の支援機関などとの連携を強化し、企業支援の充実を図って参りました。

本年報は、平成29年度における山梨県産業技術センターの業務成果をまとめたものです。当センターをより一層ご理解いただくための基礎資料として、ご高覧いただけると幸いに存じます。

主な業務成果としましては、技術支援では、各企業が抱える課題解決に向け、保有機器を活用した試験評価や加工を行うとともに、多くの企業に直接職員が出向き支援を行いました。

研究開発では、東京オリンピックを見据えたスパークリングワインの研究や県産農産物を用いた新製品開発などの地場産業に関するテーマや、自律走行型ロボットの制御手法や医療機器や次世代自動車などの新分野に求められる新たな材料の開発など、社会情勢や技術動向を考慮するとともに、各業界の要望に即した多様な研究テーマに取り組んで参りました。

人材育成では、高度技術者の育成を目的とした「ものづくり人材育成研修」や商品開発の総合的な実務能力を養成する「やまなしモノづくりデザイン塾」のほか、現場ニーズに合わせた種々の講習会・研修会を開催し、中小企業の発展を担う人材の育成を推進して参りました。

また、国の地方創生関係の交付金を活用し、国際規格等の信頼性評価に係る技術者育成と関連機器の整備を行う「中小企業等国際規格対応支援事業」や繊維産業の品質強化に係る技術者育成と関連機器の整備を行う「繊維産業品質強化支援事業」を継続して実施するとともに、繊維産業や医療機器分野などの次世代型技術の研究開発への支援を強化するため、富士技術支援センターに新たに研究開発支援棟を整備し、平成30年4月から皆さまにご利用いただいております。さらに、本年度も国の交付金を活用した新たな事業として、ワインセンターの機能強化にも取り組んでいるところであります。

山梨県産業技術センターでは、昨年度の取り組みをさらに加速させ、皆様への支援を一段と強化するため、職員一丸となって取り組んで参る所存ですので、なお一層のご理解とご協力、ご活用をお願い申し上げます。

平成30年5月吉日

山梨県産業技術センター
所長 手塚 伸

目次

山梨県産業技術センターの概要	1
1. 沿革	1
2. 土地・建物	1
3. 組織と業務（平成30年3月31日現在）	3
4. 職員名簿（平成30年3月31日現在）	4
5. 職員配置（平成30年3月31日現在）	5
6. 平成29年度決算	6
7. 新設機器・設備	7
8. 平成29年度業務体系	9
9. 平成29年度業務実績一覧表	12
運営	13
1. 運営協議会	13
(1) 会議の概要	13
(2) 委員名簿	13
2. 試験・研究課題等の外部評価委員会	14
(1) 評価に対する考え方	14
(2) 評価対象課題	15
(3) 評価結果	15
(4) 委員名簿	16
3. 業界との意見交換会	16
技術支援業務	17
1. 技術相談、巡回技術支援の担当別実績	17
2. 県内中小企業重点支援事業	17
(1) テーマ一覧	17
(2) 担当別実績	17
3. 客員研究員による支援	18
4. 依頼試験・設備利用等	18
(1) 実績一覧	18
(2) 依頼試験の内訳	18
(3) 依頼加工等の内訳	18
(4) 設備使用の内訳	19
(5) 試験成績証明書交付の内訳	19
(6) 図案等調製の内訳	19
(7) その他（酒母）	19

(8)設備利用研修会.....	19
(9)設備利用研修.....	20
5. 研究会への支援.....	20
6. やまなし地場産品ブランディング支援事業.....	21
(1)ブランド力向上サポートプロジェクトの実施.....	21
(2)外部講師による勉強会の開催.....	21
(3)交流・マッチングプログラム.....	22
研究業務.....	23
1. 産学官連携研究の促進.....	23
(1)研究の形態.....	23
(2)研究テーマ.....	23
2. 産業財産権の取得状況.....	32
(1)産業財産権（県単独）.....	32
(2)産業財産権（共同出願）.....	32
(3)産業財産権（国際特許）.....	33
(4)産業財産権出願中（県単独）.....	33
(5)産業財産権出願中（共同出願）.....	34
3. 課題対応受託研究.....	35
4. 業績発表.....	35
(1)口頭発表（学会等）.....	35
(2)口頭発表（その他）.....	36
(3)ポスター発表（学会）.....	37
(4)ポスター発表（その他）.....	37
(5)研究論文掲載.....	37
(6)その他記事掲載.....	38
人材育成業務.....	39
1. 出前技術講座.....	39
(1)講座一覧.....	39
(2)担当別実績.....	40
2. ものづくり人材育成研修.....	40
(1)前期.....	40
(2)後期.....	40
(3)担当別実績.....	41
3. やまなしモノづくりデザイン塾.....	42
(1)講座一覧.....	42
(2)コース別実績.....	42
4. 中小企業等国際規格対応支援事業.....	42

5. 繊維産業品質強化支援事業	43
6. 講習会・研修会	43
(1) 講座一覧	43
(2) 担当別実績	46
7. 技術者研修	46
(1) テーマ一覧	46
(2) 担当別実績	46
8. インターンシップ研修	46
9. 夏休み親子ものづくり体験	47
10. 吉田高校・課題研究	47
情報提供業務	48
1. 研究成果発表会および研究報告の発行	48
2. やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表および山梨テクノ ICT メッセ等の展示会への出展	48
3. 年報、センターニュースおよびデザイン情報紙の発行	48
4. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行	49
5. その他	49
技術交流	50
1. 研究機関連絡会議	50
2. 学会等の会議	52
3. 職員派遣	53
4. その他会議	58
報道関係	63
職員の資質向上	65
1. 派遣研修	65
2. その他研修	67
学会・協会等からの表彰	69
加入学会・協会等	72
付録	73
1. 組織と業務（平成 30 年 4 月 1 日現在）	73
2. 職員名簿（平成 30 年 4 月 1 日現在）	74
3. 職員配置（平成 30 年 4 月 1 日現在）	75
4. 平成 30 年度予算	76

山梨県産業技術センターの概要

1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センターに研究開発支援棟開設

2. 土地・建物

[甲府技術支援センター]

所在地	山梨県甲府市大津町2094
敷地面積	16,893 m ²
建物延面積	14,375 m ²
研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建）	7,008 m ²
デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	2,243 m ²
実験棟（鉄骨造り2階建）	3,189 m ²
高度技術開発センター（鉄骨造り2階建）	1,599 m ²
附属施設	336 m ²

[ワインセンター]

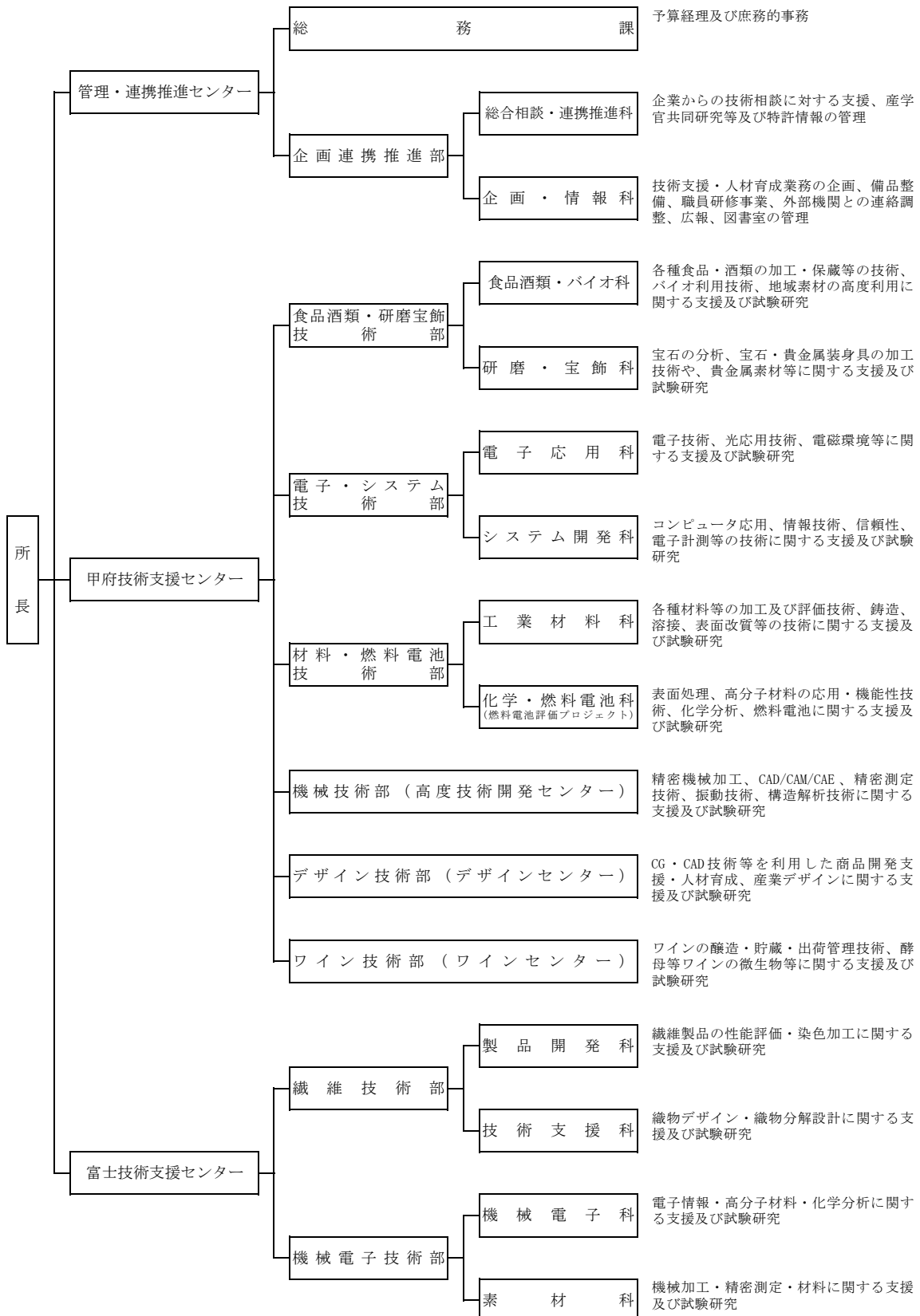
所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼2517	
敷地面積		4,280 m ²
建物延面積		914 m ²
ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階）		868 m ²
付属施設		46 m ²

[富士技術支援センター]

所在地	山梨県富士吉田市下吉田6-16-2	
敷地面積		10,117 m ²
建物延面積		3,583 m ²
管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建）		1,177 m ²
試験棟（鉄骨造り平屋）		1,339 m ²
開放試験棟（鉄骨造り1階建）		222 m ²
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋）		598 m ²
付属施設		247 m ²

3. 組織と業務

(平成30年3月31日現在)



4. 職員名簿

(平成30年3月31日現在)

所 長 手塚 伸	[研磨・宝飾科]	デザイン技術部
管理・連携推進センター	主任研究員 宮川 和博	部 長 金丸勝彦
センター長(兼2) 深沢 修	主任研究員 小松 利安	主任研究員 串田賢一
研究管理幹 萩原 茂	研究員 林 善永	主任研究員 鈴木文晃
研究管理幹(兼1) 岩間 貴司	非常勤嘱託 山本季彦	研究員 佐藤博紀
客員研究員 大丸明正	臨時職員 鶴田裕太	非常勤嘱託 数野真裕美
客員研究員 小谷信司	電子・システム技術部	臨時職員 岡 治美
客員研究員 神藤典一	部 長 河野 裕	ワイン技術部
客員研究員 中村哲夫	[電子応用科]	主幹研究員・部長 恩田 匠
客員研究員 家安 香	主任研究員 木島一広	研究員 長沼孝多
総務課	研究員 清水章良	研究員 小嶋匡人
課長(事務取扱) 深沢 修	研究員 中村 卓	非常勤嘱託 保坂香子
副主幹(兼1) 井口真喜子	臨時職員 和光順子	臨時職員 三科浩仁
副主査 土屋政智	[システム開発科]	富士技術支援センター
主 任 植村幸弘	主任研究員 宮本博永	センター長 依田正樹
主 任 岩下可奈子	研究員 保坂秀彦	副センター長 佐野照雄
非常勤嘱託 宮下郁美	研究員 布施嘉裕	
臨時職員 品田友美	研究員 中込広幸	
臨時職員 藤巻 恵		
企画連携推進部	材料・燃料電池技術部	繊維技術部
主幹研究員・部長 八代浩二	主幹研究員・部長 宮川 和幸	主幹研究員・部長 渡辺 誠
[総合相談・連携推進科]	[工業材料科]	[製品開発科]
主幹研究員(兼2) 中村聖名	主幹研究員 佐野正明	主幹研究員(兼2) 中村聖名
主任研究員 望月威夫	主任研究員 早川 亮	主任研究員 宮川理恵
研究員(兼2) 望月陽介	研究員 石田正文	研究員 上垣良信
[企画・情報科]	研究員 深澤郷平	主 任(兼2) 植村幸弘
主幹研究員 中村聖名	[化学・燃料電池科]	技 師 塩澤佑一朗
主任研究員 勝又信行	主任研究員 三井由香里	非常勤嘱託 渡邊直子
主任研究員(兼2) 阿部 治	研究員 三神武文	非常勤嘱託(兼2) 宮下郁美
研究員 望月陽介	研究員 芦澤里樹	[技術支援科]
臨時職員 中込奈南	研究員 佐藤貴裕	主任研究員 五十嵐 哲也
臨時職員 中田恵美	(燃料電池評価プロジェクト)	研究員 秋本梨恵
甲府技術支援センター	非常勤嘱託 萩野敏一	非常勤嘱託 勝俣久美
センター長 深沢 修	非常勤嘱託 藤巻利幸	非常勤嘱託 高山美和
副センター長 阿部 正人	非常勤嘱託 芦澤淳子	機械電子技術部
食品酒類・研磨宝飾技術部	機械技術部	主幹研究員・部長 高尾清利
主幹研究員・部長 有泉直子	主幹研究員・部長 河西伸一	[機械電子科]
[食品酒類・バイオ科]	主任研究員 萩原義人	主任研究員 山田博之
主任研究員 木村英生	主任研究員 石黒輝雄	主任研究員 阿部 治
研究員 小松正和	研究員 米山 陽	研究員 尾形正岐
研究員 尾形美貴	研究員 鈴木大介	[素材料]
研究員 樋口かよ	研究員 寺澤章裕	主任研究員 西村通喜
研究員 佐藤憲亮	研究員 坂本智明	研究員 古屋雅章
	非常勤嘱託 神澤隆彦	研究員 長田和真

(兼1)：総合理工学研究機構と兼務

(兼2)：所内担当兼務

5. 職員配置

(平成30年3月31日現在)

	行政職					研究職										客 員 研 究 員	非 常 勤 嘱 託	臨 時 職 員	合 計
	所 長	セン ター 長	副 主 幹	副 主 査	主 任	副 セン ター 長	研 究 管 理 幹	主 幹 研 究 員 ・ 部 長	部 長	主 幹 研 究 員	主 任 研 究 員	研 究 員	技 師						
所 長	1																	1	
管理・連携推進センター						1(1)									5			6 (1)	
総 務 課			(1)	1	2											1	2	6 (1)	
企 画 連 携 推 進 部								1										1	
総合相談・連携推進科											1							1	
企 画 ・ 情 報 科										1	1	1					2	5	
甲府技術支援センター		1				1												2	
食品酒類・研磨宝飾技術部								1										1	
食 品 酒 類 ・ バ イ オ 科											1	4						5	
研 磨 ・ 宝 飾 科											2	1			1	1		5	
電子・システム技術部								1										1	
電 子 応 用 科											1	2					1	4	
シ ス テ ム 開 発 科											1	3						4	
材料・燃料電池技術部								1										1	
工 業 材 料 科										1	1	2						4	
化 学 ・ 燃 料 電 池 科											1	3						4	
(燃料電池評価プロジェクト)															3			3	
機 械 技 術 部								1			2	4			1			8	
デ ザ イ ン 技 術 部									1		2	1			1	1		6	
ワ イ ン 技 術 部								1				2			1	1		5	
富士技術支援センター		1				1												2	
織 維 技 術 部								1										1	
製 品 開 発 科											1	1	1		1			4	
技 術 支 援 科											1	1			2			4	
機 械 電 子 技 術 部								1										1	
機 械 電 子 科											2	1						3	
素 材 科											1	2						3	
合 計	1	2	(1)	1	2	2	1 (1)	7	2	2	18	28	1	5	11	8		91 (2)	

(括弧)：総合理工学研究機構と兼職

6. 平成29年度決算

(1) 歳入

(単位：円)

区分	収入済額
依頼試験等証紙収入	9,983,090
行政財産使用料	585,198
機械使用料	30,565,310
財産貸付収入	261,720
生産物売払収入	741,200
受託事業収入	6,601,940
雑入	1,063,723
計	49,802,181

(2) 歳出

(単位：円)

区分	支出済額
技術支援 ・ 機器整備 ((公財)JKAによる補助事業) ・ 保有機器の保守・校正・修繕 ・ やまなし地場産品ブランディング支援事業	62,322,436
研究開発 ・ 経常研究 ・ 重点化研究 ・ 総理研研究 ・ ダイナミックやまなし枠研究 ・ 競争的資金研究 ・ 客員研究員事業費 ・ 技術情報取得	58,287,575
人材育成 ・ ものづくり人材育成研修 ・ やまなしモノづくりデザイン塾 ・ 講習会、研修会 ・ 親子ものづくり体験	3,105,246
情報提供 ・ 研究報告、研究成果速報、年報、業務報告、 センターニュース、デザイン情報誌の発行	591,312
職員職務発明特許出願費	858,398
地方創生拠点整備交付金事業 (H28～H29) ・ 研究開発支援棟 (富士技術支援センター) の整備	268,174,624
地方創生推進交付金事業 ・ 中小企業等国際規格対応支援事業費 ・ 繊維産品品質強化支援事業費	44,834,144
IoT関連製品評価機器整備事業 ・ 山梨県、長野県、新潟県、静岡県の4県連携事業 ・ 環境的信頼性評価システムの整備 ・ 複合サイクル試験機 ・ 耐水試験機 ・ 静電気障害試験機 ・ 塵埃試験機	16,416,000
燃料電池評価プロジェクト推進事業	49,451,885
その他 管理費等 (臨時職員等人件費、庁舎管理費 等)	205,739,960
計	709,781,580

7. 新設機器・設備

(1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金 (JKA)	全焦点三次元形状測定装置	alicona imaging INFINITE FOCUS G5	機械部品の形状測定
県単独	分光測色計	コニカミノルタ(株) CM-5	色調の測定
県単独	分子構造描画解析ソフト	パーキンエルマー Chem Draw Prime 16.0	化学構造の描画
県単独	縦型遠心バレル研磨機	(株)チップトン HS-I-4V	試料の研磨、バリ取り
県単独	高圧蒸気滅菌器	(株)平山製作所 ハイクレープ HG-80LB	培地や実験器具の滅菌
県単独	慣性計測装置	X sens テクノロジー モーショントラッカー開発キット	ロボットの姿勢測定に使用
地方創生推進交付金	蛍光X線分析装置	アメテック(株) Orbis-PC	試料の構成元素および含有料の分析
地域新成長産業創出 促進事業費補助金	複合サイクル試験機	スガ試験機(株) CYP-90	製品の耐腐食性試験 (塩水噴霧試験)
地域新成長産業創出 促進事業費補助金	塵埃試験機	スガ試験機(株) DT-Z	製品の密閉性能の評価
地域新成長産業創出 促進事業費補助金	耐水試験機	スガ試験機(株) RA-3	製品の耐水性の評価
地域新成長産業創出 促進事業費補助金	静電気障害試験器	(株)ノイズ研究所 ESS-S3011A	電子機器の静電気耐性試験
県単独	超音波発振機	ESB(株) WFB-1-20	超音波振動の発生
県単独	圧力容器	ユニコントロールズ製 ステンレスタンク TZB-8-FD488	水熱処理用
県単独	湿式灰化用加熱装置 ほか	ジーエルサイエンス(株) Digi PREPMINI	食品の湿式灰化
県単独	パーソナル 3D スキャナー	3D SYSTEM Sence-RS	ハンディー型 3次元スキャナー
県単独	ハイブリッド高速冷却遠心機	久保田製作所 ハイブリッド高速冷却遠心機 6200	試料の分離
県単独	実体顕微鏡	ライカ マイクロシステムズ S9i	材料観察
県単独	ターゲット取付板	(株)ノイズ研究所 03-00052B	静電気障害試験器の校正に使用
県単独	電流プローブ	ローデ・シュワルツ EZ-17	電子機器の伝導妨害波測定時に使用
県単独	アルコール濃度測定器	東海電子(株) ALC-mini III	呼気中のアルコール濃度測定
県単独	試料研磨機	アイエムティー(株) IM-P2 + SP-L1	断面観察用試料の研磨
県単独 (総理研)	3D モデリングシステム	HP zbook 17 ANSYS・Spaceclaim Auto desk Fusion 360	3D デザイン作成用
県単独 (総理研)	ドローン用カメラ	DJI Zenmuse X4S	Inspire2 4K 撮影用カメラ
県単独 (総理研)	超低温フリーザー	パナソニックヘルスケア(株) MDF-U700VX-PJ	微生物菌株の保存
県単独 (ダイナミックやまなし株)	耐圧式発酵タンク	TAN3 ROBO	炭酸ガス飲料試作用のタンク
県単独 (ダイナミックやまなし株)	反射式光度計	(株)藤原製作所・RQ フレックス	ワイン成分の簡易分析
県単独 (ダイナミックやまなし株)	冷却卓上遠心機	(株)コクサン・H-30R、RF-110、 MC-110	不溶物と液体の分離

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
地方創生拠点整備 交付金	テレビ会議システム	Polycom・Real Presence Group310-720	遠隔地とのテレビ会議の実施
地方創生拠点整備 交付金	恒温恒湿室	オリオン・PAP40C-KR-SP	標準状態の温湿度空間の維持
地方創生推進交付金	倒立顕微鏡	ライカ DMi8	試料の拡大観察
地方創生推進交付金	ガスクロマトグラフ質量分析計	島津製作所(株)・GCMS-QP2020	成分物質の定性定量
地方創生推進交付金	洗濯試験機	(株)大栄科学精器製作所・L-24Z	洗濯堅ろう度試験の試料処理
県単独	温度校正器	Q-LAB 社・CT-202/BP	耐光性試験機温度校正用
県単独	pH 計	ハンナ・PH/ORP キット HI2002-01	pH の測定
県単独	近赤外線照射装置	LA-100IR	近赤外線の光源
県単独	超音波洗浄器	US-105	器具の洗浄
県単独	実体顕微鏡	ライカマイクロシステムズ(株) S9D	分析試料の観察
県単独	恒温水槽	BA300	超臨界 CO ₂ 実験装置付属品
県単独	2次元流体解析ソフト	カトウ光研(株) Flow Expert 2D2C	流体解析・測定用
県単独	煙発生装置	カトウ光研(株) PS-2005	流体解析・測定用
県単独	照射角度可変ユニット	カトウ光研(株) PIV レーザー光源オプション品 アンクルユニット	流体解析・測定用
県単独	超臨界 CO ₂ 実験装置	耐圧硝子工業(株) TSC-GPT 特型	洗浄実験用

8. 平成29年度業務体系

山梨県産業技術センターの役割は、県内中小企業と地域経済の支援・発展・振興にある。このためには中小企業が抱える技術的課題の解決や新技術・新製品開発の支援、また次世代の産業展開に向けた新技術開発等へ積極的に取り組むことが重要である。

この取り組みを具体化するため、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」を柱に据えた平成29年度の事業計画を策定し、実施した。

●基本方針：「信頼される産業技術センター」

●行動指針

1. 現場重視(企業現場の問題解決・技術支援の強化と地域に根ざした技術の創造を図る)
2. スピーディな対応(業界のニーズを的確に把握し、スピーディな対応を行う)
3. 産学官金連携研究の推進
(新技術・新製品の開発や新産業の創出を目指した共同研究、及び(公財)やまなし産業支援機構や商工支援団体、金融機関等と連携した経営から技術まで総合的な企業支援を積極的に推進する)
4. イノベーションの創出
(新たな価値を生み出すために、企業シーズとニーズを取り入れた研究開発への取り組みと産業技術総合研究所との連携の強化)

●事業の目的と具体的な取り組み

【技術支援業務】

- 巡回技術支援事業(企業現場に直接出向いての技術支援)
 - ・製造現場での技術支援
 - ・研究成果の活用のための技術支援
 - ・未利用中小企業巡回
 - ・各種団体等の要請による職員派遣
- 技術相談・依頼試験・設備利用
 - ・懇切丁寧な技術相談
 - ・迅速な依頼試験・加工
 - ・企業に親切、丁寧な設備利用の対応
 - ・各部・各担当間で連携した技術支援
 - ・設備利用研修の実施
- 県内中小企業重点支援(職員を一定期間企業に派遣しての技術支援)
 - ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決(A型)
 - ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対し、客員研究員を派遣(B型)
- 成長産業への参入促進
 - ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、航空機、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業への技術支援を実施
- 中小企業等国際規格対応支援事業
 - ・蛍光エックス線分析装置の整備
 - ・国際規格対応セミナーなどの開催
- 繊維産業品質強化支援事業
 - ・洗濯堅ろう度試験機等の整備
 - ・品質強化セミナーなどの開催
- 地域新成長産業創出促進事業補助金を活用した事業(IoT関連製品評価機器整備事業)
 - ・山梨、長野、新潟、静岡の4県の公設試験研究機関が連携体を組み、機械電子関連産業のIoT関連産業への進出と技術力・競争力向上を支援するための機器を整備

- 信州大学繊維学部との連携協定
 - ・ 信州大学繊維学部と産業振興、人材育成及び学術研究への寄与を目的として連携、協力
- 中小企業の海外展開支援事業
 - ・ 規格適合性評価試験サービス
 - ・ 海外規格情報の閲覧サービス
 - ・ 専門相談員による技術相談
 - ・ JETROとの連携支援
- 地域オープンイノベーション事業
 - ・ 航空機、医療産業などの成長分野関連技術の支援
- やまなし地場産品ブランディング支援事業
 - ・ 新商品の企画や開発に関する総合的な支援を実施
- 技術研究会
 - ・ 技術を核とした研究会活動の支援

【研究開発業務】

- 産学官連携研究の促進
 - ・ 重点化研究（やまなし科学技術基本計画に掲げる成長促進分野について、県の試験研究機関が行う研究）
 - ・ 総理研研究（山梨県総合理工学研究機構がコーディネートする産学官連携研究）
 - ・ 経常研究（技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究）
 - ・ ダイナミックやまなし研究（「ダイナミックやまなし総合計画」を推進するための研究開発）
 - ・ 37課題を実施。このうち20課題を企業、大学および総合理工学研究機構等と連携して実施
 - ・ 国の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業など）についても積極的に実施
- 燃料電池評価プロジェクト推進事業
 - ・ 燃料電池セルの特性評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
 - ・ 競争的研究資金の導入支援
- 特許取得と有効活用促進
 - ・ 特許等取得を意識しながら研究開発業務を実施
- 課題対応受託研究
 - ・ 巡回支援、技術相談、情報提供等により、センターの研究開発力を企業へ積極的にアピール
- コーディネートの推進
 - ・ 企業のニーズを把握し、大学等の技術シーズ、支援機関の補助制度の活用を支援
 - ・ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所との連携
 - ・ 橋渡し研究機関としての研究開発の支援
- 研究成果の普及啓発および情報発信の促進
 - ・ 研究成果発表会、出前技術講座、企業巡回、ホームページなどにより研究成果を周知
 - ・ 甲府技術支援センターと富士技術支援センターで連携し、広報活動や技術相談を実施

【人材育成業務】

- 技術講習会・研修会
 - ・ 最新の技術情報等の提供を行う講習会・研修会を開催
- 出前技術講座
 - ・ センター職員を企業・組合等に直接派遣して行う講座を実施
- ものづくり人材育成研修
 - ・ 切削加工やCAD/CAM、接合、めっき等の製造技術に加え、信頼性や分析などの評価技術について座学・実習形式で研修を開催

- やまなしモノづくりデザイン塾
 - ・商品の開発から、デザイン、設計、マーケティングまで幅広い商品開発力の向上を目指した研修を開催
- 技術者研修
 - ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施
- 設備機器活用のための研修の実施
 - ・センター保有の設備を活用していただくための研修を実施
- インターンシップ研修
 - ・技術系の大学生等を受け入れて研修を実施
- 夏休み親子ものづくり体験・見学会
 - ・児童にもものづくりへの興味を持ってもらうとともに、一般県民にセンターをPRするために実施

【情報提供業務】

- 研究成果発表会および研究報告の発行
- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表および山梨テクノICTメッセ等の展示会への出展
- 年報、センターニュースおよびデザイン情報紙の発行
- センター利用の手引きおよびメールマガジンの提供
- YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用
- プロポーザルHPの充実

【その他の事業】

- 運営協議会の開催
- 外部評価委員会の開催
- 業界との意見交換会の開催
- 職員のスキルアップのための計画的研修
(成長分野に関する講習会やセミナー等への派遣を含む)
- 計画的な設備機器の更新・新設等

9. 平成29年度業務実績一覧表

企画：企画連携推進部、食品研磨：食品酒類・研磨宝飾技術部、電子システム：電子・システム技術部、材料燃料電池：材料・燃料電池技術部、機械：機械技術部、デザイン：デザイン技術部、ワイン：ワイン技術部、繊維：繊維技術部、機械電子：機械電子技術部

	企画	食品 研磨	電子 シス テム	材料 燃料 電池	機械	デザ イン	ワイ ン	繊維	機械 電子	計	
技術支援											
巡回技術支援	企業数	130	214	241	212	179	96	53	184	165	1,474
製造現場での技術支援巡回	企業数	130	191	217	202	158	88	49	150	154	1,339
未利用巡回	企業数	0	12	12	9	13	8	0	10	5	69
研究成果普及巡回	企業数	0	11	12	1	8	0	4	24	6	66
他機関との連携支援	件	180	51	49	87	60	30	82	60	76	675
技術相談	件	58	1,000	454	804	861	124	123	334	906	4,664
来所相談	件	42	836	313	559	619	117	97	290	621	3,494
電話相談	件	12	144	82	184	158	4	25	33	212	854
インターネット相談	件	4	20	59	61	84	3	1	11	73	316
県内中小企業重点支援事業	企業数	0	3	4	2	2	1	1	2	1	16
依頼試験	件	0	1,279	0	881	379	170	267	1,109	1,675	5,760
依頼加工	件	0	1,987	0	81	0	0	0	0	49	2,117
設備使用	件	0	1,775	6,979	2,431	2,449	685	362	774	2,456	17,911
試験成績証明書等交付	件	0	0	0	16	1	68	16	0	2	103
図案等調製	件	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
設備機器研修会	回	0	2	1	0	1	0	1	3	0	8
	参加者数	0	3	14	0	16	0	23	27	0	83
設備利用研修	参加者数	0	29	37	83	38	21	38	10	122	378
研究会への支援	回	0	4	0	6	3	4	0	0	7	24
	参加者数	0	165	0	106	42	0	0	80	435	
やまなし地場産品ブランディング支援事業	回	0	0	0	0	0	8	0	7	0	15
	参加者数	0	0	0	0	0	57	0	163	0	220
客員研究員指導	回		24	24					24		96
試験研究											
研究テーマ	テーマ数	0	5	5	7	4	4	3	4	6	38
競争的資金研究	テーマ数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
重点化研究	テーマ数	0	3	1	3	1	0	0	0	3	11
総理研究	テーマ数	0	1	1	0	0	2	0	0	0	4
ダイナミックやまなし枠研究	テーマ数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
経常研究	テーマ数	0	1	3	3	3	1	1	4	3	19
課題対応受託研究	テーマ数	0	2	0	3	(2)	0	4	0	4	13
産業財産権	件	0	1	1	1	0	1	0	3	0	7
特許権等（登録）	件			1	1		1		1		4
〃（出願中等）	件		1						1		2
〃（実施許諾）	件								1		1
業績発表	件	5	3	6	7	9	3	9	9	2	53
口頭発表（学会）	件		2	2	2	2	0	4	1	2	15
口頭発表（その他）	件			4	2	3	2	1	3		15
ポスター発表（学会等）	件				2				2		4
ポスター発表（その他）	件		1				1				2
学会誌掲載	件	2				3		2	2		9
専門誌等掲載	件	3			1	1		2	1		8
人材育成											
出前技術講座	講座	3	4	4	5	5	2	7	6	3	39
	参加者数	70	70	106	44	52	35	656	207	21	1,261
ものづくり人材育成研修	講座	0	3	3	3	4	1		2	6	22
	参加者数	0	40	18	26	40	14		17	41	196
やまなしモノづくりデザイン塾	講座						12				12
	参加者数						128				128
講習会・研修会	講座	1	6	5	5	2	4	6	1	4	34
	参加者数	41	346	173	225	89	111	313	31	131	1,460
中小企業等国際規格対応支援事業	講座		5		2						7
	参加者数		32		18						50
繊維産産品質強化支援事業	講座								8		8
	参加者数								108		108
技術者研修	参加者数	0	0	0	0	2	3	5	16	0	26
インターンシップ	人	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
夏休み親子ものづくり体験見学会	参加者数	37									37
高等学校課題研究サポート	参加者数								2		2
情報提供											
研究成果発表会	参加者数	45							31	28	104
出展	回	2									2
ニュース、デザイン情報紙発行	回	3					6				9
メールマガジン発信	回	43									43
プロポータルページ（ホームページ）	回	8		(2)	(2)	(1)	(2)		(1)		8
見学者	人	235	120		2			95	122	7	581
報道関係											
テレビ等	件										24
新聞等	件										36

運営

1. 運営協議会

(1) 会議の概要

実施日	議題
平成 29 年 10 月 5 日 (会場: 甲府技術支援センター)	(1) 産業技術センターの概要 ①行動指針 ②平成 29 年度予算 ③職員配置数 ④最近の取組
平成 29 年 11 月 14 日 (会場: 富士技術支援センター)	(2) 産業技術センターの業務内容 ①技術支援 ②研究開発 ③人材育成 ④情報提供 ⑤その他業務 (3) 運営協議会の在り方について (4) 総括的意見交換

(2) 委員名簿

① 甲府技術支援センター

[学識経験者]		
氏名	所属	役職
早川正幸	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
清水一彦	公立大学法人 山梨県立大学	学長
松本晴美	学校法人 山梨学院大学 健康栄養学部	学部長
[業界関係者]		
氏名	所属	役職
北原兵庫	山梨県酒造組合	会長
齋藤 浩	山梨県ワイン酒造組合	会長
岩下勝也	山梨県味噌醤油工業協同組合	専務理事
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
小玉 実	山梨県水晶宝飾協同組合	理事長
清水一彦	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	会長
加藤正芳	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	会長
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
[関係機関]		
氏名	所属	役職
一瀬文昭	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長

②富士技術支援センター

[業界関係者]		
氏名	所属	役職
渡邊教一	山梨県絹人織物工業組合	理事長
加賀美 好	富士吉田織物協同組合	専務理事
槇田則夫	西桂織物工業協同組合	理事長
高部駿三	谷村織物工業協同組合	理事長
和田廣行	大月織物工業協同組合	理事長
一ノ宮 久士	上野原織物工業協同組合	理事長
中島 靖	山梨県織物整理工業組合	理事長
井上敬一	都留機械金属工業協同組合	理事長
天野博宇	大月精密機器協同組合	理事長
鈴木誠一	上野原機械器具工業協同組合	理事長
白川寿一	テクノネットふじざくら	幹事
山本 宏	テクノネットふじざくら	幹事
[関係機関]		
氏名	所属	役職
保坂 淳	山梨県中小企業団体中央会	郡内支所長

2. 試験・研究課題等の外部評価委員会

(1) 評価に対する考え方

評価を受ける目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（H13.3策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な意見をいただくために実施する。		
評価を受ける課題	山梨県産業技術センターが実施する研究は、すべて評価対象研究課題とする。ただし、国や企業等からの受託研究は、評価対象研究から除く（※）。 （※）受託研究は国や企業等の目的に基づいて行うものであり、研究費も委託者が負担するものであるため。		
研究課題の評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究予算、研究体制の妥当性	①研究計画の進捗度	①研究目標の達成度
評価結果に対する対応	事前評価、中間評価では、評価の平均点に対し、次のとおり対応する。 評価の平均点が2点以下の課題は、原則不採用または中止とする。 評価の平均点が2点を超え、3点未満の課題は、コメントを参考に実施について再検討する。 評価の平均点が3点以上の課題は、評価コメントを参考に必要に応じて修正し実施する。 事後評価は、次の基準で採点される。 5点：計画を上回る成果となった 4点：計画どおりの成果となった 3点：おおむね計画どおりの成果となった 2点：計画を下回る成果となった 1点：成果が得られていない それぞれの評価コメントを、技術移転や研究立案に役立てていく。また、評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考としていく。		

(2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
(地場分野) 平成 29 年 6 月 22 日 (基盤分野) 平成 29 年 7 月 13 日	(地場分野 4テーマ) ・分光分析法によるエメラルドの充填状態の解析 ・果樹試験場明野圃場のブドウを用いた試験醸造および成分分析 ・身体動作シミュレーションを活用したプロダクト開発に関する研究 ・3d遷移金属錯体の混合媒染効果に関する研究 (基盤分野 10テーマ) ・プラスチック射出成形金型冷却管の形状及び配置による成形加工の効率化 ・小出力レーザーによる異種金属結合に関する研究 ・導電性高分子を用いた透明電極作製技術に関する研究 ・フリージングパックを利用した冷熱衝撃試験機による簡易水浸型温度変化試験 ・高機能マグネシウム合金の実用化に関する研究 ・表面粗さの測定方法による比較評価 ・伝導イミュニティ試験の信頼性に関する研究 ・波長分散型蛍光X線分析装置の測定精度向上に関する研究 ・三次元座標測定機を用いた非接触形状測定の精度向上に関する研究 ・プラスチックの色移りの機構に関する研究	事後評価
(会場: 甲府技術支援センター)	(地場分野 1テーマ) ・自然画像を元にしたジャカード織物組織の生成手法の研究	中間評価
(基盤分野) 平成 29 年 9 月 21 日 (地場分野) 平成 29 年 9 月 26 日	(基盤分野 9テーマ) ・不整地対応3次元地図作成・自律移動制御システムの開発 ・金属粉末積層造形金型の寿命評価および表面処理の適用について ・燃料電池評価装置の測定信頼性の向上に関する研究 ・製造現場における装置監視用IoTシステムの開発 ・市販ドローンを利活用した安価な搬送システムの開発 ・非接触3次元スキャナの測定誤差の把握と高精度測定手法の確立 ・微細工具によるガラス基板加工技術に関する研究 ・骨折用インプラントの設計開発手段に関する研究 ・プラスチック材料の耐光性評価に関する研究 (地場分野 3テーマ) ・県内各地域の農産物の加工適正の把握と加工品開発 ・富士北麓・東部地域の伝統的な織物を活用した新商品開発 ・甲州ワイン高品質化のための各種醸造技術の検証	事前評価
(会場: 甲府技術支援センター)	(基盤分野 2テーマ) ・県内の未利用バイオマスを利用した機能性材料の合成と評価 ・光触媒を利用した水素製造技術に関する研究 (地場分野 1テーマ) ・分裂酵母を使用した高品質清酒製造法の開発	中間評価

(3) 評価結果

①平成28年度に実施した研究課題の事後評価について

平成28年度に研究が完了した14研究課題の事後評価の評点は、地場分野では3.0～4.0の範囲で、平均点は3.3、基盤分野では3.0～4.0の範囲で、平均点は3.6であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

②平成30年度に実施する研究課題の事前評価及び平成29年度における中間評価について

事前評価対象12課題の評点は、地場分野では3.0～3.5の範囲で、平均点は3.3、基盤分野では3.0～3.8の範囲で、平均点は3.4であった。中間評価対象4課題の評点は、3.0～5.0の範囲で、平均点は3.8であった。平均点が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

(4) 委員名簿

基盤分野

氏名	所属	役職
副委員長 郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
宮嶋尚哉	国立大学法人 山梨大学	准教授
菱川哲行	NECプラットフォームズ株式会社	執行役員 兼 甲府事業所長
青木一樹	キャノンアネルパ株式会社	富士事業所長
三浦幸徳	三浦化成工業株式会社	取締役副会長

地場分野

氏名	所属	役職
委員長 柳田藤寿	国立大学法人 山梨大学	教授
茅 暁陽	国立大学法人 山梨大学	教授
前田市郎	株式会社前田源商店	代表取締役社長
斉藤 武	株式会社アセラ食品部食品理化センター	センター長
井上陽介	メタルスタジオ・ストリームライン	主宰

3. 業界との意見交換会

業種	実施日	議題	参加団体
研磨・宝飾分野	平成 29 年 11 月 22 日	(1) 産業技術センター事業について ・ H28 年度事業実績 ・ H29 年度事業計画 (2) 研究業務について ・ H26～29 年度研究テーマについて (3) 意見交換会	山梨県水晶宝飾協同組合
機械電子分野	平成 29 年 11 月 24 日		(一社)山梨県機械電子工業会
地場分野	平成 29 年 12 月 8 日		山梨県ワイン酒造組合 山梨県パン協同組合 山梨県味噌醤油工業協同組合 山梨県漬物協同組合 山梨県水晶宝飾協同組合
基盤分野			(一社)山梨県鉄構溶接協会 山梨県機械電子工業会 山梨県鍍金工業組合 山梨青年工業会

(会場：甲府技術支援センター)

技術支援業務

1. 技術相談、巡回技術支援の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	巡回 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		58	130	235
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	575	114	120
	研磨・宝飾科	425	100	
電子・システム技術部	電子応用科	315	70	0
	システム開発科	139	171	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	190	112	2
	化学・燃料電池科	614	100	
機械技術部		861	179	0
デザイン技術部		124	96	0
ワイン技術部		123	53	95
繊維技術部	製品開発科	117	92	122
	技術支援科	117	92	
機械電子技術部	機械電子科	490	119	7
	素材科	416	46	
合計		4,664	1,474	581

2. 県内中小企業重点支援事業

(1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
水素社会実現に向けた、高品質かつ合理的な高压水素一体型構造部品製造技術の研究	材料・燃料電池技術部	H29/4/17～H29/6/12
高硬度プラチナ合金の鋳造について	研磨・宝飾科	H29/6～H29/10
フェルト縮絨工程の省力化・機械化の可能性評価	機械電子科	H29/6/8～H29/9/26
高靱性・難燃マグネシウム合金の材料強度試験方法について	工業材料科	H29/6/26～7/28
振動対策（製造ライン移設に関する）	機械技術部	H29/7/3～H29/9/29
クローラロボットの移動制御およびセンシング方法について	電子・システム技術部	H29/6/27～H30/2/16
無線センサネットワークの構築と活用について	システム開発科	H29/7/3～H29/12/22
Pt950 (Kf) 地金、純金、純銀の大型物鋳造について	研磨・宝飾科	H29/7～H30/3/27
ワイン樽サーバーにおけるデザイン設計の改善と検討	デザイン技術部	H29/7/14～H30/3/16
レーザ測距センサの活用について	電子・システム技術部	H29/8/7～H30/2/28
亜硫酸管理によるワインの高品質化	ワイン技術部	H29/8/21～H30/3/9
幾何公差方式の基礎習得	機械技術部	H29/9/11～H29/3/23
圧力センサを使った呼吸測定の解析手法	システム開発科	H29/9/22～H30/2/20
セラミックシェルモールド法の実用化	研磨・宝飾科	H29/11～H30/3/27
炭素繊維及びセルロースナノファイバーによる新規繊維素材開発調査	繊維技術部	H29/12/13～H30/3/20
新商品「sibo」のパッケージ開発及びプロモーション方法について	繊維技術部	H30/2/1～H30/3/9

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	3	4	2	2	1	1	2	1	16

3. 客員研究員による支援

県内中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○ロストワックス精密鑄造（研磨・宝飾科）

氏名 神藤 典一（しんどう のりかず）
 所属 神藤技術事務所 所長
 （公社）日本技術士会 科学技術振興支援委員会 委員長
 支援概要 宝飾業界における品質管理およびコスト低減に係る技術支援
 支援実績
 ・ものづくり人材育成研修での講演
 ・県内中小企業重点支援事業による技術支援

○幾何公差（機械技術部）

氏名 中村 哲夫（なかむら てつお）
 所属 CDT研究所 代表
 支援概要 幾何公差方式に基づく設計図面の表現と解釈及び計測の信頼性評価の実践
 支援実績
 ・県内中小企業重点支援事業による技術支援
 ・技術講習会・ものづくり人材育成研修での講演
 ・センター職員への技術指導

○画像処理関連・ロボット制御技術（電子・システム技術部）

氏名 小谷 信司（こたに しんじ）
 所属 国立大学法人山梨大学 教授
 支援概要 画像処理関連技術・ロボット制御技術等についての専門知識の提供
 支援実績
 ・出前技術講座・技術セミナーでの講演
 ・県内企業への技術支援
 ・センター職員への研究および技術指導

○デザイン（繊維技術部）

氏名 家安 香（いえやす かおり）
 所属 Edelkoort East(株)/トレンドユニオン日本支社 代表
 支援概要 繊維産業におけるブランド力の向上
 支援実績
 ・地場産品ブランディング支援事業による総合プロデュース
 ・個別相談支援、合同勉強会等

4. 依頼試験・設備利用等

(1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	図案等調製	合計
件数	5,760	2,117	17,911	103	4	25,895

(2) 依頼試験の内訳

①項目別

項目	機械金属	精密測定	環境試験	電気電子	化学分析	貴金属・宝飾石	食品・酒類・微生物	ニット・縫製	設計解析	繊維	合計
件数	2,412	384	113	0	305	0	1,260	170	7	1,109	5,760

②担当別

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	1,279	0	881	379	170	267	1,109	1,675	5,760

(3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	1,987	0	81	0	0	0	0	49	2,117

(4) 設備使用の内訳

①項目別

項目	機械設計	工作機械等	電気電子	化学分析	研磨宝飾	食品加工機	繊維	その他	合計
件数	11,611	634	2,093	1,818	967	7	736	45	17,911

②担当別

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	1,775	6,979	2,431	2,449	685	362	774	2,456	17,911

(5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	0	0	16	1	68	16	0	2	103

(6) 図案等調製の内訳

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	0	0	0	0	0	0	4	0	4

(7) その他 (酒母)

項目	件数	担当
酒母	8	ワイン技術部

(8) 設備利用研修会

①一覧

設備	実施日	担当	参加者数
酸度計による総酸およびホルモール態窒素測定	H29/7/19	ワイン技術部	23
洗濯試験機	H29/12/20	繊維技術部	9
ガスクロマトグラフ質量分析計	H29/12/20	繊維技術部	9
倒立顕微鏡	H29/12/20	繊維技術部	9
全焦点 3D 表面形状測定装置	H30/1/11	機械技術部	16
静電気障害試験器	H30/2/21	電子応用科	14
コアドリル用内径研磨機	H30/3/22	研磨・宝飾科	2
微小硬度計	H30/3/22	研磨・宝飾科	1
合計			83

②担当別実績

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
人数	3 (2設備)	14 (1設備)	0 (0設備)	16 (1設備)	0 (0設備)	23 (1設備)	27 (3設備)	0 (0設備)	83 (8設備)

(9) 設備利用研修

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	29	37	83	38	21	38	10	122	378

5. 研究会への支援

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	144	H29/7/26	総会・特別講演会	ホテルクラウンパレス甲府	40
			H29/9/29	技術講座	甲府技術支援センター	36
			H29/11/24	技術講演会	甲府技術支援センター	35
			H30/3/12	技術講演会	甲府技術支援センター	54
合計						165

材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学・ 燃料電池科	山梨県表面処理研究会	19	H29/4/20	総会	甲府技術支援センター	15
			H29/6/28	企業見学会	山梨アビオニクス(株)	29
			H29/8/24	第1回勉強会	甲府技術支援センター	19
			H29/12/21	平成29年度研究発表会	甲府技術支援センター	19
			H30/3/5	第2回勉強会	甲府技術支援センター	15
			H30/3/5	役員会	甲府技術支援センター	9
合計						106

機械技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	16	H29/6/8	総会・前期講習会	サロン・ド・エクラン	17
		H29/10/26	先進企業見学会	「おおた研究・開発フェア」 (独)宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 調布航空宇宙センター	10
		H30/1/29	後期講習会	サロン・ド・エクラン	15
合計					42

デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	20	H29/4/26	執行部会	(株)ニットマテリアル	5
		H29/6/16	総会	甲府技術支援センター	15
		H29/5/19 ～20	研修旅行	YKK(株)黒部工場、MONONO-FU 高岡銅器四津井展示館、(株) ワールドインダストリー富山	12
		H30/2/23	講習会	甲府技術支援センター	10
合計					42

機械電子技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	31	H29/5/23	幹事会	富士技術支援センター	9
		H29/7/19	総会	富士技術支援センター	16
		H29/7/19	講演会	富士技術支援センター	16
		H29/9/7	企業等見学会	東京ビッグサイト	8
		H29/11/9 ～11	やまなしテクノ ICT メッセ 2017 出展	アイメッセやまなし	-
		H30/2/16 ～17	視察研修	ファルマバレーセンター ヤマハ発動機(株)本社工場 スズキ歴史館 (スズキ(株))	11
		H30/3/19	講演会	富士技術支援センター	20
合計					80

6. やまなし地場産品ブランディング支援事業

- A 外部デザイナーに指導・協働による地場産品のデザイン力向上、高付加価値化等の取組を実施した。(担当：デザイン技術部)

実施内容	期日	会場	参加者数
生産背景の確認等	H29/8/9	県内企業数社	10
生産背景の確認等	H29/8/10	県内企業数社	3
デザインの方向性協議	H29/10/10	山梨県酒造協同組合、若草瓦会館	6
デザイン検討、開発の方向性指導	H29/11/17	山梨県酒造協同組合、金長特殊製紙((株)、県立図書館、若草瓦会館	10
試作品評価、開発の方向性指導	H29/12/21	若草瓦会館、県立図書館	5
試作品評価、開発の方向性指導	H30/1/19	山梨県酒造協同組合、甲府技術支援センター、金長特殊製紙(株)、若草瓦会館	10
試作品評価、開発の方向性指導	H30/2/20	若草瓦会館、県立図書館	4
試作品評価、開発の方向性指導	H30/3/8	若草瓦会館、金長特殊製紙(株)、山梨県酒造協同組合、シェアハピネス	9
合計			57

- B 産地認知度向上や新規販路の開拓、デザイン力の向上に向けた取り組みを推し進めるとともに、オリジナルブランドに取り組む企業に対して総合的なプロデュースを行った(担当：繊維技術部)

(1) ブランド力向上サポートプロジェクトの実施

新市場開拓・自社ブランド立ち上げ・海外進出など、事業のステップアップを目指したチャレンジ戦略に取り組む繊維企業及びグループに対して、個別のアドバイスや合同での勉強会を開催

内容	講師	期日	企業数
現地指導	客員研究員 家安 香	H29.4～H30.3	39
合同勉強会		H29.4～H30.3	11

(2) 外部講師による勉強会の開催

織物製造業、撚糸業、染色業、整理加工業など織物に関わる異業種の若手後継者等による合同勉強会を開催

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
「オランダのデザインデュオINA MATTとテキスタイルの可能性を探る」	Ina Meijer (イナ・マイヤー) Studio INA MATT	H29/11/20	富士技術支援センター	9

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
フランキーグロウのブランディングトーク&ワークショップ	タカイチヅコ/frankygrow	H30/1/16	富士技術支援センター	13
情報発信に熱量をセミナー&ワークショップ	加藤洋/(株)TAM	H30/2/23	富士技術支援センター	22
うなぎの寝床白水さんの仕事の話	白水高広/うなぎの寝床	H30/3/15	富士技術支援センター	23

(3) 交流・マッチングプログラム

小売、流通、企画デザイン等様々なジャンルから専門家を招待し、生産現場でのディスカッション、情報交換と交流を通じたネットワークの構築のためのマッチング事業を実施

回	内容	期日	参加者数
第1回	『ヤマナシハタオリ産地バスツアー with ハタオリマチのハタ印』	H29/6/1	31
第2回	『ここのがっこう×ヤマナシハタオリ産地バスツアー』	H29/6/16~17	24
第3回	『産地の学校×ヤマナシハタオリ産地バスツアー』	H29/10/6~7	41

研究業務

1. 産学官連携研究の促進

(1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
重点化研究	11	やまなし科学技術基本計画に規定される重点投資分野に沿った研究
総理本研究	4	山梨県総合理工学研究機構※がコーディネートする産学官連携研究
ダイナミックやまなし 枠研究	2	ダイナミックやまなしの実現のために産業界等のニーズに、よりの確に対応した研究
経常研究	19	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金	2	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

※山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織です。

(2) 研究テーマ

①重点化研究

自律走行可能なロボットの制御手法の開発 (H27～29)

中込広幸・布施嘉裕・保坂秀彦・宮本博永（システム開発科）・中村卓（電子応用科）
米山陽（機械技術部）・小谷信司（客員研究員）
横塚将志・神村明哉（産業技術総合研究所）・渡辺寛望・丹沢勉（山梨大学）

一部の県内中小企業では、新たな市場開拓のため自律移動ロボット製品の開発を検討している。これら企業が自律移動ロボットを開発するためには、様々な要素技術が必要となる。しかし、技術・期間・資金ともに余裕のない中小企業においてゼロからの開発は困難なため、ロボットの設計・制御・自律移動に関するノウハウの提供が求められている。本研究では、汎用プラットフォームとして利用可能なクローラ型ロボット及びその自律移動システムの開発を目的としている。今年度は、地図情報を利用した自律移動システムをロボットに実装し、さまざまな接地面にて性能評価を行った。その結果、設定した目的地までの走行が可能であることを確認した。さらに、企業の求めるロボット製品の開発を促進するため、段差や勾配のある環境での走行及び周辺状況の3次元的な把握を目的に、段差乗り越えのためのコの字型アーム及び3次元レーザスキャン装置を開発した。

分裂酵母を使用した高品質清酒製造法の開発 (H28～30)

佐藤憲亮・小松正和・木村英生（食品酒類・バイオ科）

近年、消費量が減少している清酒の国内消費の拡大と輸出量の増加を目的として清酒の多様性の獲得、および品質向上を行うことを目的に、新規醸造用酵母として分裂酵母を用いた新規清酒醸造方法の開発を目指す。

本年は山梨県の自然環境中から本県独自の分裂酵母菌株を取得することを目的として検討を行った。分裂酵母の効率的な取得を行うために、選択培地による集積培養について検討した。その結果、従来よりも高頻度で分裂酵母が取得できることが分かった。この方法を用いて、県内の花や果実などの分離源から、培地発泡性6780コロニーから184株の菌株を採取した。顕微鏡観察などにより分裂酵母有望菌株7株を取得し、うちより醸造適正のある2株について外部機関によりDNA相同性解析による同定試験を行った。その結果、一致率100%で分裂酵母 *Schizosaccharomyces pombe* であると同定された。

今後は本菌株を用いた独自の清酒醸造方法について検討を行う。

県内の未利用バイオマスを利用した機能性材料の合成と評価 (H28～30)

佐藤貴裕・芦澤里樹（化学・燃料電池科）・小嶋匡人（ワイン技術部）

近年、化学反応によりバイオマス資源から得られるセルロースナノファイバーやリグニンプラスチックなどの材料に注目が集まっている。本県は豊富なバイオマス資源を有することから、これらバイオマス変換材料に関する知見を蓄積し、本県の産業へと結びつけることは重要課題である。本研究では本県由来のバイオマス資源を原料にセルロースナノファイバーやリグニンプラスチックの合成を行い、得られた機能性材料の評価を行う。

リグニンプラスチックについては、県産のスギおよびヒノキの木粉を原料としてポリエチレングリコールと反応させ褐色粉末を得た。この粉末の熱機械分析を行ったところガラス転移点および融点を確認した。セルロース

ナノファイバーについては、ブドウ搾りかすからの合成方法を確立した。さらに木材由来のナノファイバーとは異なり、無機物を含む特徴的なナノファイバーである事が明らかになった。

高特性溶射技術のインプラント材料への適用に関する研究 (H28~29)

佐野正明 (工業材料科) ・石黒輝雄 (機械技術部) ・三井由香里 (化学・燃料電池科)
小林義之 (東京エレクトロン(株))

インプラント材料として純チタンが適用されているが、生体内において骨との親和性や耐摩耗性・耐食性等について更なる向上を目指し、セラミック系被膜の形成が提案されている。我々は溶射という方法を用い、密着性が高く、生体内での骨との親和性等の良好な皮膜形成を目的として、試作した溶射装置により実験を行った。昨年度は生体内において安定で、骨との親和性も良いといわれている Al_2O_3 粉末の溶射を行い、均一薄膜の形成に成功した。今年度は骨や歯の主成分であるハイドロキシアパタイト(HAP、 $Ca_{10}(PO_4)_6(OH)_2$)粉末を含め実験を行った。試験片表面のX線回折による分析結果から、 Al_2O_3 および $(Ca_{10}(PO_4)_6(OH)_2)$ ともに粉末成分と同様の回折線ピークが観察された。また Al_2O_3 粉末を微細ネジ(M2mm)に溶射したところ、ネジ凹凸部の細部にわたり、均一な厚さで被膜が形成されていたことが確認された。

チタン製品の疲労強度に関する研究 (H28~29)

西村通喜 (素材科) ・山田博之 (機械電子科) ・長田和真 (素材科) ・高尾清利 (機械電子技術部)

チタン材料は、素材の持つ優れた特徴(軽量・高強度・耐食性・人体親和性)から、航空・宇宙・医療などの分野で使用用途が広がっている。しかし、先端分野で用いられる用途が多いため、各種試験データを取る必要がある。その中でも、疲労試験は1試験で10日以上もかかるコストと時間のかかる試験である。このため、構造解析シミュレーションを用いることが有効と考えられるが、解析精度の向上のための重要な要素として、正確な素材情報が必要である。

本研究では、純チタン材を対象に加工条件の異なる切削加工やワイヤー放電加工による疲労強度の影響を調べた結果、表面粗さや加工方法により疲労強度が変化することがわかった。このため、疲労強度測定データを構造解析シミュレーションに適用し、製品の疲労強度予測を高度化することができた。

腹腔鏡下小切開(ミニマム創)手術のための手術器具の開発 (H28~29)

山田博之 (機械電子科) ・西村通喜・古屋雅章・長田和真 (素材科) ・阿部治・尾形正岐 (機械電子科)
高尾清利 (機械電子技術部)

※特許出願予定のため、本誌には掲載いたしません

県産農産物を用いた加工品の品質向上と開発 (H29~31)

尾形美貴・小松正和・樋口かよ・木村英生 (食品酒類・バイオ科)

①農産加工品の賞味期限に関する検討

県産農産物加工品の中でも、最も製造が多い製品の1つと考えられるジャムについて、賞味期限表示の根拠となる指標を明らかにした。ジャムは微生物による変敗はなく、品質は色調の変化の影響が最も大きいことから、基準品との色差を根拠として賞味期限を設定できることがわかった。

②農産加工品の新製品開発

峡南地域で栽培が盛んな「あけぼの大豆」の加工品開発に先立ち、「あけぼの大豆」の理化学的特徴を調査したところ、平均的な国産大豆(10品種)に比べて、1.6倍の重量をもつ大粒であることがわかった。また、「あけぼの大豆」は、他の国産大豆の平均値の1.2倍量の糖を含有し、特にショ糖の割合が高く、甘みが強いことがわかった。

新しい大豆加工品として、チーズ様食品の開発を検討した。カマンベールチーズの製法を応用し、豆乳を原材料に使用した製法について検討を重ね、チーズ様食品の試作品が完成した。

貴金属のバレル研磨条件の最適化に関する研究 (H29~30)

宮川和博・林善永・小松利安 (研磨・宝飾科) ・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)
山梨県水晶宝飾協同組合・山梨県品質工学研究会

研磨・仕上げ工程の効率化を目的として、品質工学におけるパラメータ設計を利用しバレル研磨条件最適化について検討を行った。最初に粗研磨工程について影響の大きいと思われる8つの因子をL18直交表に割り付け実験を行い、測定データから要因効果図を作成し最適条件の検討を行った。その結果、最適条件は現行条件とは異なる結果となり条件に確認実験を行ったところ、利得の再現性もほぼ得られた。

マグネシウム合金部品の耐食性向上に関する研究 (H29～31)

三井由香里 (化学・燃料電池科) ・佐野正明 (工業材料科) ・石黒輝雄 (機械技術部)
八代浩二 (企画連携推進部)

マグネシウムは金属の中で最軽量であることが最大の長特であり、軽量化部材としての期待が大きい。例えば自動車業界では、CO₂削減が緊急課題であり、燃費・性能向上のため、マグネシウム合金部品の活用に注目している。一方、マグネシウムは、燃えやすい、錆びやすいという欠点があるので、実用性に乏しいのが実態である。本研究では、マグネシウム合金の適用拡大を目的に、水熱処理法を用いた表面処理により耐食性向上に取り組んでいる。平成29年度は、各種マグネシウム材料 (AZ31、AZ91D等) について、水熱処理条件を検討し、また作製サンプルについて、塩水浸せき試験や電気化学測定により耐食性を評価したところ、受入材に比べて耐食性の向上が確認できた。

金属3Dプリンタ造形物の高品質化に関する研究 (H29～31)

寺澤章裕・鈴木大介・萩原義人・米山陽 (機械技術部) ・古屋雅章 (素材科)
緑川哲史・田中隆三・岩尾翔太 ((株)松浦機械製作所)

金属3Dプリンタは近年、金型・航空・医療などの分野においてさらなる活用が期待されている。しかし、金属3Dプリンタで高い寸法精度の製品を製造するためには、残留応力による造形物の変形や、アンダーカット部分の表面粗さの悪化が課題となる。そこで本研究では、金属3Dプリンタ造形物の高品質化について、造形実験、造形物の評価を行い、これらの課題解決を試みることを目的として、まず、第一報では現状を把握するために、造形条件・造形物形状を変えた試験品の造形を行い、表面粗さ・残留応力測定を実施した。その結果、表面粗さについては、急な角度のアンダーカットを有する試験品において、積層厚さに起因する表面粗さに加え、熱に起因すると思われる顕著な凹凸が確認された。また、積層後の造形物の表面における残留応力測定では、造形物の形状によって残留応力形態に変化が生じることや、異方性を有することが明らかになった。

プラスチック射出成形金型の洗浄に関する研究 (H29～31)

長田和真・古屋雅章 (素材科) ・尾形正岐・阿部治 (機械電子科) ・西村通喜 (素材科)
山田博之 (機械電子科) ・高尾清利 (機械電子技術部) ・近藤英一 (山梨大学)

プラスチック射出成形金型は成形を繰り返すことで汚れが付着し、様々な問題が生じる。そのため金型を定期的に洗浄する必要がある。本研究では金型の洗浄方法として超音波洗浄、プラズマ洗浄、超臨界流体中洗浄に注目し、それぞれの洗浄効果を確認し、よりよい洗浄方法、条件を見出すとともに、それらの条件を参考に、複雑化する金型の洗浄方法、条件を提案することを目的とする。

平成29年度はプラズマ洗浄に注目し実験を行った。模擬金型に汚れ (樹脂成分) を付着させ、プラズマのアフターフローを用いて洗浄した。洗浄条件として、チャンバー内圧力、投入電力、洗浄時間を検討した。チャンバー内圧力、投入電力の変更が洗浄効果に与える影響は大きかったが、洗浄時間を変更しても洗浄効果に顕著な違いは認められなかった。

平成30年度は超音波洗浄および超臨界流体中洗浄の条件検討を行う予定である。さらに平成31年度は得られた条件を参考に超音波洗浄、プラズマ洗浄、超臨界流体中洗浄を用いて複雑な金型の洗浄を試みる予定である。

②総理研研究

県産小麦「ゆめかおり」の栽培技術の確立と利用に関する研究 (H27～29)

樋口かよ・佐藤憲亮・木村英生 (食品酒類・バイオ科)
上野直也・加藤知美・向山雄大 (総合農業技術センター)

ゆめかおりは山梨県の小麦奨励品種に指定されている硬質小麦であり、製パン適性があるとされている。これまで県産ゆめかおりを使用した食品加工適性について検討されておらず、活用に向けた特性評価が必要となっていた。小麦粉は同品種であっても栽培条件やタンパク質含有量によって特性が異なることが予測されたため、県農業技術センター本所 (甲斐市) および八ヶ岳試験地の2地域で栽培されたタンパク質含有量の違う小麦について、60%粉となるようビューラー製粉を行った後、加工適性を検討した。

山食パンを試作した結果、比容積および高さ (釜のび) は2試験地とも13%の粉で最も良好であり、職員で行った官能評価の結果ともほぼ一致した。また、タンパク質含有量13%の2試料は標準的なパン用小麦1CW (カナダ産) と比較して製パン適性の指標となるSDS不溶性グルテニンおよび比容積 (膨らみ) が遜色ない結果となり、十分な製パン適性が確認された。

雪崩発生条件の解明と観測機器の開発 (H27～29)

保坂秀彦・布施嘉裕・中込広幸・宮本博永 (システム開発科)
本多亮・吉本充宏・常松佳恵・内山高 (山梨県富士山科学研究所)

山梨県では2014年2月の大雪の際に、多くの地点で雪崩が発生し、道路や建物などに大きな被害を及ぼした。雪崩の発生メカニズムは、気象観測や雪層の直接観察によりどのような条件で雪崩が発生しやすいかということとは明らかになりつつある。一方で、発生時の気象状態や前兆現象、地域性など、まだ解明できていない点も多い。

本研究では、これら雪崩の発生のメカニズムを解明するとともに、その観測を手助けするための計器の開発を目的としている。今年度は、昨年度開発した観測機器である「投下回収型雪崩検知装置」を利用しフィールド上で実証試験を行った。この試験により、装置の耐久性及び携帯電話回線を経由した遠隔地からの観測データの受信について確認した。更に被災後の装置回収を想定し、雪崩ビーコンを利用したドローンによる新しい探索方法を提案、その実証試験を行った。この試験により、本探索方法の有効性について確認した。

モモ・ブドウの肥大促進技術の確立とブランディングに関する研究 (H28～30)

佐藤博紀 (デザイン技術部)・萩原栄揮・里吉友貴・富田晃・宇土幸伸・塩谷論史 (果樹試験場)
伊東洋晃・張華 (山梨学院大学)

本研究は、産地間競争が激しいモモ・ブドウにおける山梨ブランドの維持・強化を図るため、食味を維持しつつ安定して肥大した果実を栽培できる技術を確認し、新たな規格の設定を目指す。また、流通において高価格取引を可能とするブランディングについて検討し、差別化を意識した有利販売を目指す。

今年度はブランド化にむけ、着色抑制 (図形などを果実表面に表示させる) 方法を確立した。モモについては全農やまなしと協力し、新規規格のパッケージ製作を行った。ブドウについては市場調査の情報を取り入れ、売りに合わせて高価格帯に耐えうる5粒程度の個売りが可能なパッケージのサンプルを開発した。

宝飾品における三次元データのデフォルメに関する研究 (H29～31)

佐藤博紀・串田賢一・鈴木文晃 (デザイン技術部)・宮田なつき (産業技術総合研究所)

高付加価値化やオリジナルブランド開発の支援が必要とされる宝飾業界において、独自形状が取得できる3Dスキャナの活用が有効と考えられる。しかし、3Dスキャンデータをデフォルメする特殊技術が必要となり、こうした技術は体系化されておらず人材育成に時間がかかる。そこでデフォルメ技術のガイドラインを作成し、産地の活性化を目指す。

今年度は視線解析装置を用い、デフォルメを行う箇所を選定について実験を行った結果、微差の特定には追加実験が必要とわかった。また、経験豊富なモデラに実際にデフォルメを行ってもらい、どのようなデフォルメが行われるか比較した結果、特徴的な溝を拡張する傾向にあり、その数値は0.3～0.4mmが基準であることがわかった。

③ダイナミックやまなし枠研究

本県ニホンジカ由来の皮・角を素材とした高付加価値製品の開発 (H29～31)

串田賢一 (デザイン技術部)

本県ではニホンジカの個体数が著しく増加しており、農林業への被害、生態系への影響が深刻化している。害獣対策は深刻な社会的課題となっており、捕獲の推進と捕獲した個体の有効活用が模索されている中、本研究では、甲州印伝や宝飾品製造といった本県特有の産業背景を生かし、ニホンジカの皮・角を利用した高付加価値製品の開発に取り組んでいる。このことにより、全国に先駆け、品質と市場性の高い商品創出とブランド確立を図り、新たな市場の獲得を目指すとともに、本県産業を広くPRすることを目的としている。

今年度は、①白色なめし革の変色防止加工 ②県内3箇所 (富士河口湖町、北杜市、丹波山村) で捕獲されたニホンジカ由来の革の物性評価 (JIS規格に基づき10項目) ③試作品作製 (皮革製品: トートバッグ、グランドシート、ドローストリングポーチ、サコッシュ、小型ポーチ、ショッピングバッグ、ディッシュマット/角製品: カトラリー2種、リング5種、イヤリング3種) ④試作品 (一部) の展示発表及び消費者の受容性評価 (@B EAMS JAPAN (新宿) 12月12日 (火)～25日 (月)) を実施した。

東京オリンピック2020各種イベントにおける祝杯酒としての山梨スパークリングワインの開発 (H29～31)

恩田匠・小嶋匡人・長沼孝多 (ワイン技術部)

マスカット・ベリーA、ピノ・ノワールおよびカベルネ・ソーヴィニオンを原料として、ロゼスパークリングワイン用の原料ワインの製成試験を行った。2017年ヴィンテージにおいて、3品種の原料ブドウから、直接圧搾法、半醸し法、セニエ法によって、原酒ワインを製成し、成分分析を行った。

④経常研究

超音波を援用した切削加工面の高品位化に関する研究 (H27~29)

米山陽・萩原義人・石黒輝雄(機械技術部)・佐野正明(工業材料科)・清水毅(山梨大学)

電子基板やμ-TAS等で用いられるガラス材料等は、切削加工が一般的には困難とされているが、汎用性の高い切削加工での対応が可能となればそのメリットは大きい。これまでの報告では、超音波援用加工を用いることにより小径ドリルを使用した脆性材料の加工が可能であることを実証した。また、平面形状加工についても、スクエアエンドミルと超音波援用加工の組合せにより良好な加工面が得られることがわかった。

本年度は曲面加工を対象とし、ボールエンドミル使用時の超音波援用加工法の有効性について検証した。その結果、ボールエンドミル使用時の切削抵抗は背分力が約70%減少した。また、加工面は、F=100mm/minでは加工底面が一様に破砕面となったが、F=2mm/minでの加工では、ツールマークが明瞭に確認される良好な加工面が生成され、表面粗さ値もRa=0.9μmから0.2μm(超音波援用有)にまで向上し、ボールエンドミルを使用した超音波援用加工が有用であることがわかった。

自然画像を元にしたジャカード織物組織の生成手法の研究 (H27~29)

五十嵐哲也(技術支援科)・宮川理恵(製品開発科)・秋本梨恵(技術支援科)
茅暁陽・豊浦正広(山梨大学)

ジャカード織物に特化した画像の二値化手法としてこれまで開発した織物ディザ法をもとに次の2点の技術開発を行った。①元画像の階調表現だけでなく質感を同時に表現可能な変則縞子を用いた織物ディザ法を開発した。また、これまで明らかにされていなかった変則縞子のパターンの組織サイズが10×10までのものについて全3414種類を明らかにし、また対称性に基づく分類整理を行った。②元画像の明暗コントラストを高めつつ織物構造の緊密性を保つ手法として、19世紀末~20世紀初頭のステープングラフ技法を元にし、より豊かな階調表現が行えるデジタル処理法を開発した。①②についてその有効性を試織試験によって示した。

超音波振動を援用したはんだ実装の信頼性に関する研究 (H28~29)

清水章良・木島一広・中村卓(電子応用科)・中込広幸(システム開発科)
石田正文(工業材料科)

電子基板の実装方法として主流となっているリフロー実装において、より信頼性の高い実装方法としてリフロー中に超音波振動を援用する手法を提案し、試作装置の開発および超音波振動を援用したことによる効果について検証を行った。

超音波振動を加えた基板と加えない基板を作製し、外観検査による比較を行った結果、はんだが電子部品の電極部分に十分に濡れ上がらない不良や、はんだ内部のボイドの発生は超音波を加えることにより減少することが確認できた。

寿命に対する比較を行うため冷熱衝撃試験を実施し、定期的に抵抗値測定を行った結果、初期段階では差は見られなかったが、冷熱衝撃試験のサイクル数が増えてくると超音波を加えていない基板の方が抵抗値の上昇が大きくなってきており、寿命に対する有効性も確認することが出来た。

イミュニティ試験における誤動作判断支援システムの開発 (H28~29)

中村卓・木島一広・清水章良(電子応用科)・小谷信司(客員研究員)

電子機器の電磁両立性(EMC)に関する試験の一つに電磁波などを受けて誤動作しないかを検査する試験(イミュニティ試験)がある。イミュニティ試験では、試験機器ごとに誤動作の定義が異なるため、試験者は試験の様子をカメラなどで観察し続ける必要がある。しかし、イミュニティ試験は一回の試験に時間がかかることが多く、試験者はその間観察し続ける必要があるため、試験者への負担が大きく、誤動作の見逃しも起こりうる。そのため、誤動作が疑わしい動作(非正常動作)を検出・通知するシステムがあれば助かるという意見が企業から多く寄せられている。本研究では、非正常動作を検出手法の作成や、その結果を試験者に提示するシステムの構築を行った。その結果、試験者の負担軽減や、製品開発に関する作業効率の向上が期待され、誤動作の見逃し防止や試験全体の精度向上に繋げることを可能にした。

光触媒を利用した水素製造技術に関する研究 (H28~30)

早川亮(工業材料科)・芦澤里樹・佐藤貴裕(化学・燃料電池科)・古屋雅章(素材科)

水素は燃焼しても水しか発生しないことから、化石燃料に代わるエネルギーとして注目されており、需要の拡大が見込まれている。しかし、現在利用されている水素の製造方法においては、安定供給、CO₂の発生および高コストといった問題を抱えている。そのため水素の製造には太陽光などの再生エネルギーを用いることが望ましく、

特に光触媒を用いた太陽光水素製造は低コストで低環境負荷であるため理想的な方法である。しかし、低効率であることが問題となっている。

そこで本研究では、光触媒と水素吸蔵合金を用いることで、高効率な太陽光水素製造技術の開発を目的とした。

光触媒としてTiO₂層の成膜を高周波スパッタ法により行った。ターゲットにはTiO₂を基板にはホウケイ酸ガラスを用い、成膜条件を出力200W、成膜時間60min、基板温度100℃とした。作製した膜の結晶構造をX線回折分析により調べた結果、ルチル型とアナターゼ型のTiO₂が36：64で混在していることが分かった。

金属粉末積層造形品の機械的性質に関する研究 (H28～29)

深澤郷平 (工業材料科) ・ 勝又信行 (企画・情報科) ・ 古屋雅章 (素材科)

寺澤章裕 ・ 鈴木大介 (機械技術部) ・ 佐野正明 (工業材料科)

金属粉末積層造形 (以下、金属AM) は従来加工では不可能な複雑形状を得ることができ、新しい加工方法として期待されている。一方、その製造工程において金属の溶融と急冷による凝固が繰り返されることや原料に金属粉末を用いることから、圧延・鍛造工程を行う従来材とは機械的性質が異なる懸念がある。そこで本研究では、金属AMにより作製した素材の機械的性質を把握し、これを調整する熱処理について検討した。その結果、時効処理を施した金属AM材の引張強さは積層方向に垂直及び45° 方向で約1860MPa、平行方向で1820MPaであり、圧延材よりも小さかった。金属AM材の伸び、絞り及びシャルピー衝撃値は圧延材よりも劣っていた。450～500℃で時効処理を施した金属AM材の硬さは560～570HVであり、520℃以上の時効温度となると低下した。金属AM材に固溶化処理を施した場合、520℃以上における硬さが50HV程度上昇した。

工業部品の洗浄評価に関する研究 (H28～29)

三神武文 ・ 三井由香里 (化学・燃料電池科)

奥山裕二 ・ 小林規矩夫 ((株)山梨県環境科学検査センター)

機械加工 (切削、プレスなど) では加工油・離型剤などを使用、洗浄している。品質要求の高まりや、低環境負荷の洗浄剤への切り替えにともない、洗浄後の確認の必要性が増加している。洗浄評価では、①定量的な評価が難しい、②現場で簡単に評価できない、③比較データが少ない、などが課題となっている。本研究では、現場で簡単に利用でき、洗浄度確認や工程改善に用いることのできる評価法の提案を目的に評価方法を検討した。油を付着させた試験片を ①接触角、②ぬれ張力試験、③吸光光度法 (UV)、④吸光光度法 (IR)、により評価した。水接触角とぬれ張力試験は素材と加工油の組み合わせによって傾向が異なり、少ない付着量で差が出るものとある程度の付着量がなければ差が出ないものがあった。UVとIRによる吸光光度法は溶剤で油分を回収して測定する。加工油によって吸収スペクトルや溶剤への溶解性が大きく異なったが、微量の加工油が検出可能であった。

電子ビームによる金型鋼の性能向上に関する研究 (H28～29)

萩原義人 (機械技術部) ・ 佐野正明 ・ 石田正文 (工業材料科) ・ 古屋雅章 (素材科)

上條喜久夫 ((株)プログレス)

本報では、実際に現場で使用されている金型ピン (SKD61、50HRC、φ10.0mm) に各処理を施し評価を行った。その結果、金型ピン上面の表面あらさ (Rz) は、処理前に比べ若干悪化するものの、現行の表面処理品に比べ1/3～1/4程度の表面あらさ値に抑えられていることが確認できた。またBN+EB試験片の硬さは現行品よりも約100HV上昇し、さらにEDC+BN+EB試験片では約200HV高い硬さを得られたことから、耐摩耗性への効果を期待できる結果となった。さらに表面の残留応力は、BN+EB試験片において約-950MPaの圧縮応力が形成されたことからクラック発生の抑制効果が期待できる結果を得ることができた。またEDC+BN+EB 試験片でも現行品の約3倍となる-300MPa程度の圧縮応力の形成が確認できた。

表面加工による軽金属への制振特性付与技術の開発 (H28～29)

坂本智明 ・ 石黒輝雄 (機械技術部) ・ 佐野正明 (工業材料科) ・ 八代浩二 (企画連携推進部)

吉原正一郎 (山梨大学)

本研究では、将来的に輸送機器への活用が見込まれる軽金属に関してショットピーニング等の表面加工を施すことで、稠密六方晶の双晶変形を利用した制振特性を付与することを目的とし、結晶構造を稠密六方晶とする軽金属 (純チタン、マグネシウム合金) における制振効果を検証した。

純チタンにおいては、ショットピーニングにより特に1000Hz以上の高周波数域で制振性能を向上させることが可能であった。組織観察を行ったところ、純チタンに対してショットピーニング処理を行った際、表面に100 μmの双晶による層が生成されており、表面にある双晶が制振性能を向上させると考えられる。

マグネシウム合金 (AZ31) は組織観察結果から双晶による層が生成されていることを確認したが、制振性能は無処理に比べ効果が小さかった。

甲州ワインの色調制御に関する研究 (H28~29)

小嶋匡人・長沼孝多・恩田匠 (ワイン技術部)

山梨県の主要品種である甲州を原料とした白ワイン製造では、意図せず、ピンク色にワインが着色する、「ピンキング」と呼ばれる現象が発生する。このピンキングしたワインは、大きな醸造上の欠点とは見なされないものの、白ワインの色調としては必ずしも好ましくなく、酸化的な劣化を伴うことも多いことから、その制御が求められている。本年度はピンキングの予期方法を確立するとともに、甲州ワインのピンキング現象の防止方法として、従来からワインの色調改善に使用されている、ポリビニルポリピロリドン(PVPP)およびベントナイト処理が有効であることを確認した。

先染め織物のシャンブレイ効果に関する研究 (H28~29)

秋本梨恵・五十嵐哲也 (技術支援科)・宮川理恵 (製品開発科)

糸の撚りによるシャンブレイ効果の違いを明らかにするため、撚りの異なる3種類のシルク糸を用いて生地サンプルを製織し、可変角分光光度計を用いた測定によりシャンブレイ効果の評価を試みた。また、より簡易的にシャンブレイ効果の評価する方法としてデジタルカメラを用いた撮影画像から色の変化を評価する方法について検討した。サンプルとして試織したシルクシャンブレイ生地に加えて、当センター保有の玉虫甲斐絹の資料を撮影し評価を試みた。シルク以外の素材としてポリエステル素材についても撚りの異なる糸を用いた生地の試織を行い、同様の評価を行った。また、シャンブレイ効果を分かりやすく表現する方法として、生地を回転させて動画を撮影し、その見え方について比較を行った。シャンブレイ効果を一般により分かりやすく伝える方法として、生地の拡大画像等も加えた先染めシャンブレイ織物のプロモーション動画サンプルを制作した。

銀合金の鑄造欠陥の低減に関する研究 (H29~30)

林善永・宮川和博・小松利安 (研磨・宝飾科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)

神藤典一 (客員研究員)・小玉実 (山梨県水晶宝飾協同組合)

鑄造欠陥の低減を目的に、鑄造の際に用いる鑄型の作製手法として、従来用いられてきたソリッドモールド法ではなく、工業分野のロストワックス精密鑄造で用いられているセラミックシェルモールド法の適用を検討した。

セラミックシェルモールド法では、鑄型の材料となるスラリーを十分に攪拌する必要があるが、プロペラ式と傾胴式の2種類についてそれぞれの攪拌時間と粘度の関係を調べた結果、プロペラ式では粘度が安定しないのに対し、傾胴式では粘度が安定することが分かった。

また、引け巣の発生状況について、ソリッドモールド法とセラミックシェルモールド法で作製した鑄型を用いて、SV925のリングの鑄造を行った結果、ソリッドモールド法では湯道切断部に約500 μ mの引け巣が生じていたのに対し、セラミックシェルモールド法では引け巣が生じていなかった。このことから、セラミックシェルモールド法が引け巣の低減に効果がある可能性が示唆された。

光を用いた微粒子計測に関する研究 (H29~30)

木島一広・清水章良・中村卓 (電子応用科)

微細化が進む半導体の製造環境管理やナノテクノロジーにおけるナノ材料の飛散度合いのモニタリングなど、産業が高度化するにつれて、数nm~100nm程度の小さい粒子をより手軽に測定する必要性が生じている。このため、安価に微細な粒子を測定できる手法を開発し、提供することは有益であると考えられるが、現状この程度の粒子を測定できる計測器は、比較的高価である。

そこで本研究では、測定レンジが広く、様々な材質に対応していることから、広く用いられている光散乱による粒子計測手法に焦点をあて、数nm~100nm程度の微細な粒子をより安価に計測することを可能にする手法の開発を目指して研究を実施した。平成29年度は微弱な散乱光検出のため、半導体素子のため特性が安定していて、光測定感度が高いMPPC (Multi Pixel Photon Counter) を用いた光検出回路を設計、作成した。

身体動作シミュレーション技術を活用した製品設計手法の研究 (H29~30)

鈴木文晃・佐藤博紀・串田賢一 (デザイン技術部)

過去の研究で、身体動作シミュレーション技術を活用した身体適合性の高い製品設計手法の開発に取り組んできた。本研究では、対象者を手指の形状や運動機能に特徴のあるユーザーに拡大した手法を検討するため、そうした想定でのシミュレーションの検討を行った。対象者に負担が少なく手指形状を取得する方法として簡易3次元スキャナーを検討したところ、ほぼ良好な形状のデジタルデータが取得できた。姿勢の再現として、スキャナーで取得した手指のデータを3次元CGソフトで動作の骨格となるアーマチャーを設定し、これを操作することによって対象者がとりうる姿勢の再現を行うことができた。さらに、この方法で生成した手指の形状データを3次元CADにインポートし、器具の設計プロセスの確認を行った。

ワイン製造副産物による染色技術の確立 (H29~30)

宮川理恵・上垣良信・塩澤佑一朗 (製品開発科) ・五十嵐哲也・秋本梨恵 (技術支援科)

※特許出願予定のため、本誌には掲載いたしません

天然素材のバナジウム媒染による機能化 (H29~30)

上垣良信 (製品開発科) ・阿部治 (機械電子科) ・塩澤佑一朗 (製品開発科)

長谷川達也 (山梨県富士山科学研究所)

環境省では地球温暖化対策の1つとして、クールビズに加えウォームビズを提唱している。これに対応すべく、ポリエステル等の化学繊維素材メーカーが発熱する素材を開発しているが炭化ジルコニウムを樹脂に練り込む技術等で、天然素材への導入が困難である。従来は発熱ポリエステル素材と天然素材の組み合わせで対応しているが、天然素材部分は機能が発現されない。産地業界ではストール、マフラー、日傘、服地、ネクタイにおいても天然素材を用いた製品が人気で、近年、これらの新商品開発も多く見られる。これまでに、植物染料での染色課題であった濃黒色性及び耐光性を同時に解決する新しい発色補助剤としてバナジウムを利用し、植物由来ポリフェノールで染色する方法を開発し、その染色最適条件を明らかにしてきた。そこで、本研究により天然素材に微量に担持された媒染剤バナジウムにおける光吸収発熱保温機能を解明し、快適性繊維製品等の産地新商品開発に繋げる研究である。

プラスチック射出成形におけるガス対策に関する研究

—プラスチック射出成形金型におけるガスベント効率の数値化— (H29~31)

古屋雅章・西村通喜 (素材科) ・阿部治 (機械電子科) ・長田和真 (素材科)

射出成形金型内の空気や樹脂から発生するガスを金型外に排出するガスベントにおいて、成形回数を重ねると詰まりが発生し、成形不良の原因となっている。その詰まりを初期の状態と比較を行うことで数値的にとらえる方法の開発を目的に、金型外部より圧縮空気を入れ、そのときの空気圧や流量から金型の機密性を測定する評価装置を作製した。具体的には既存の配管部品 (ボールバルブ、ニードルバルブ等) を用いてプラスチック射出成形金型を模擬的に作製、手前に圧縮空気を送るためのコンプレッサと圧力計・流量計を設置し、その変化量を求める機構を構成し、評価を行った。その結果、圧力変化よりも流量変化が大きく、検出装置としては流量変化で検出することが望ましいことが分かった。

プラスチック射出成形におけるガス対策に関する研究

—ガス対策用エジェクタピンの最適化— (H29~31)

阿部治・山田博之 (機械電子科) ・西村通喜・長田和真 (素材科)

水越彦衛 ((株)道志化学工業所)

プラスチック射出成形加工におけるガス対策として、エジェクタピンを活用したガス排出方法 (ガス対策用エジェクタピン) を共同研究企業が考案した。これはエジェクタピンにスリットを入れ、射出成形時に樹脂が到達する直前までエジェクタピンを突出させることにより、スリットからガスを排出する新技術である。実際の射出成形機でガス汚れの低減効果は確認しているが、金型内部でのガスの流れや最適なスリット形状や配置等について理論的に解明されていない。本研究では、流体解析や流体可視化実験等により理論的な裏付けを行い、効果的にガスを排出するための条件を明らかにする。平成29年度は、流体可視化実験および流体解析を活用した評価方法について検討した。その結果、流体解析による性能評価が可能であることがわかった。ガス排出用エジェクタピンの配置について流体解析を行ったところ、ゲート手前に設置することが効果的であることがわかった。

3Dプリンタにより作製した樹脂部品の強度に関する研究 (H29)

尾形正岐・阿部治 (機械電子科) ・長田和真・西村通喜 (素材科) ・山田博之 (機械電子科)

渡辺誠 (繊維技術部)

3Dプリンタは、金型を作らずに、設計してから直接造形物を作製できるため、製作時間や製造コストを削減でき、ものづくりの現場においては有用な加工機として注目されている。当センターにも、実用に耐える強度の樹脂部品を3Dプリンタにより造形する条件についての相談が寄せられるようになってきているが、造形物の強度に関する基礎的なデータの蓄積が乏しい。そこで、本研究では、使用目的にあった材料で造形ができる熔融押出法の3Dプリンタに注目し、ABSを樹脂材料の例にとり、3Dプリンタを用いて作製した試験片の強度を射出成形機による成形品の強度と比較することと、スキャン方向や積層方向を変えて作製した試験片の強度に関する基礎的なデータを蓄積することを目的に研究を行った。本研究の結果、3Dプリンタで作製した試験片は射出成形による試験片よりも引張強度や衝撃強度は弱く、スキャン方向や積層方向を変えることで強度に差が出るということがわかった。

⑤競争的資金研究

早期収穫果からのスパークリングワイン製造実証試験 (H28～30)

恩田匠・小嶋匡人・長沼孝多(ワイン技術部)・渡辺晃樹・富田晃(山梨県果樹試験場)
渡辺直樹(山梨県ワイン酒造組合)

昨年度に製成した原酒ワイン(甲州およびシャルドネ)からの、2016年ヴィンテージのスパークリングワインを製成し、成分分析や官能試験を実施した。また、2017年ヴィンテージにおいて、早期収穫果からスパークリングワイン用原酒ワインと、完熟果からのスティールワインをそれぞれ製成し、成分分析を行った。

水素社会実現に向けた、高品質かつ合理的な高圧水素溶接一体構造部品製造技術の研究開発 (H29～31)


宮川和幸(材料・燃料電池技術部)・佐野正明・早川亮・石田正文・深澤郷平(工業材料科)
古屋雅章(素材料科)

水素社会実現には水素ステーションの普及が必須であり、そのために高品質かつ低価格な配管締結法が求められている。そこで本研究開発では、厚肉パイプ用自動溶接装置を開発し、溶接構造を採用した部品のサブモジュール化を進める。これにより、信頼性を低下させることなく水素ステーションの設置費用を低減可能とし、水素社会を実現するためのインフラ整備を加速することを目的とした。

本年度は、肉厚5mm程度のSUS316製配管に対し、安定的に裏波溶接を可能にする高品質自動溶接システムの仕様について検討を行い、自動溶接システムを試作した。また、水素ステーションの内部配管についてモデル化を検討し、サブモジュールの長さは1m程度までにすることが妥当であることを確認した。併せて、前述の試作機により作製した溶接サンプルに対して、今回は裏波の安定性に着目し、マクロ観察を行った。その結果、内径の変化率は96.3%～108.7%とばらつきを見せたが、ほぼ内径と同程度の裏波を出す溶接条件も存在した。

2. 産業財産権の取得状況

(1) 産業財産権（単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	4310408 (H21/5/22)	2004-194980 (H16/6/30)	マイクロ流体素子を用いた分析装置及びマイクロ流体素子を用いた分析方法	寺田信幸 吉田善一 山田博之
	4771479 (H23/7/1)	2006-290369 (H18/10/25)	モモピューレ又はモモ果汁の製造方法	斎藤美貴 恩田 匠
	4834891 (H23/10/7)	2006-220196 (H18/8/11)	金属材料の表面加工方法及びこの加工方法を用いた金属基材	勝又信行 石田正文 斎藤 修
	4852727 (H23/11/4)	2007-139405 (H19/5/25)	鳥類卵の孵化抑止方法及びその装置	桐生 透 坪井潤一 岩間貴司 阿部正人 石黒輝雄 永井正則
	4963118 (H24/4/6)	2008-212725 (H20/8/21)	動物繊維における銀染色方法、2-メルカプトエタンスルホン酸塩水溶液を用いた銀染色の制御方法、及びこれらの方法を適用した動物繊維	上垣良信 渡辺 誠
	5311092 (H25/7/12)	2008-010855 (H20/1/21)	ジャカード織物の製造方法	五十嵐哲也 吉村千秋 中村聖名
	5435251 (H25/12/20)	2007-239060 (H19/9/14)	化成処理剤	三井由香里 三神武文
	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一

(2) 産業財産権（共同出願）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	4444162 (H22/1/22)	2005-149471 (H17/5/23)	鋼材の熱処理方法および熱処理装置	八代浩二 清水誠司 鈴木大介	ワイエス電子工業 (株) 浅川熱処理(株) (有)丸真熱処理
	5217049 (H25/3/15)	2011-283032 (H23/12/26)	装飾的なニードルパンチ加工装置	吉村千秋 五十嵐哲也 古屋雅章	富士吉田商工会議所 山崎織物(株) (株)昭栄技研 山梨県織物整理(株) (有)富士ウィーブ
	5396579 (H25/11/1)	2007-530913 (H18/3/16)	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	6047712 (H28/12/2)	2012-108563 (H24/5/10)	鉄鋼のプラズマ窒化方法	河西伸一 木島一広 清水章良 宮川和幸 早川 亮	ワイエス電子工業 (株)
	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業(株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株)中家製作所

(3) 産業財産権 (国際特許)

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	1755154 (H23/2/16)	欧州			

(4) 産業財産権出願中 (県単独)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2015-232550 (H27/11/29)	2017-96901 (H29/6/1)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓
	2016-163350 (H28/8/24)	2018-32963 (H30/3/1)	フリック操作による日本語入力方法	宮本博永
	2016-109769 (H28/6/1)	2017-214121 (H29/12/7)	部品内包膨張袋体及びこれを用いた投下回収型自然災害観測装置並びに自然災害観測方法	宮本博永 吉本充宏 油井誠志 布施嘉裕 中込広幸 常松佳恵
	2016-171295 (H28/9/1)	2018-36209 (H30/3/8)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
	2017-055305 (H29/3/22)	—	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 荻原栄揮 池田博彦 富田 晃
	2017-233776 (H29/12/5)	—	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗

(5) 産業財産権出願中（共同出願）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2014-210012 (H26/10/14)	2016-078282	立体紙製造方法及び立体紙	串田賢一 佐藤博紀	(有)山十製紙
	2016-15779 (H28/1/29)	2017-133136 (H29/8/3)	ジャカード織物多色織パターン の生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学
	2018-042581 (H30/3/9)	—	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	ゆば工房五大
意匠	2017-008220 (H29/3/30)	—	ブリーフケース	串田賢一 佐藤博紀 藤川明子	やまなし森の紙推進協議 会

3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等をおこなう際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	2	0	3	0(2)	0	4	0	4	13

※括弧は副担当

4. 業績発表

(1) 口頭発表（学会等）

題名	発表者氏名（所属）	発表学会名	会場	期日
山梨県産小麦「ゆめかおり」の製パン特性に関する研究	木村英生・樋口かよ（食品酒類・バイオ科）・橋本卓也（企業立地・支援課）・上野直也・加藤知美・向山雄大（山梨県総合農業技術センター）	日本食品保蔵科学会 第66回大会	高知県立大学 永国寺キャンパス	H29/6/24 ～25
甲州を原料としたスパークリングワイン製造のための原酒ワイン醸造におけるマロラクティック発酵	恩田匠・長沼孝多・小嶋匡人・中山忠博（ワイン技術部）・小松正和（食品酒類・バイオ科）			
プラスチック射出成形金型冷却管の形状及び配置による成形加工の効率化	西村通喜（素材料）・阿部治（機械電子科）・長田和真（素材料）・寺澤章裕（機械技術部）	精密工学会 成形プラスチック歯車研究専門委員会 第128回研究会	機械振興会館	H29/7/7
機械加工したマグネシウム合金の残留応力測定における X 線侵入深さの影響	三井由香里（化学・燃料電池科）・八代浩二（企画連携推進部）・鈴木大介・坂本智明・石黒輝雄（機械技術部）・佐野正明（工業材料科）・吉原正一郎（山梨大学）	日本材料学会第51回 X線材料強度に関するシンポジウム	兵庫県私学会館	H29/7/27 ～28
イミュニティ試験におけるモータの回転数変化の検出手法	中村卓・木島一広・清水章良（電子応用科）・小谷信司（山梨大学）	第22回知能メカトロニクスワークショップ IMEC2017	山梨大学	H29/8/26 ～28
不整地面走行時の振動を考慮した3D スキャンマッチング	中込広幸・布施嘉裕・保坂秀彦・宮本博永（システム開発科）・中村卓（電子応用科）・米山陽（機械技術部）・神村明哉・横塚将志（（国研）産業技術総合研究所）・渡辺寛望・丹沢勉・小谷信司（山梨大学）	第22回知能メカトロニクスワークショップ IMEC2017	山梨大学	H29/8/26 ～28
超音波振動を援用した小径ドリル加工（第3報） ～穴加工壁面の表面粗さ推定～	米山陽（機械技術部）・清水毅（山梨大学）	2017年度砥粒加工学会 学術講演会（ABTEC2017）	福岡工業大学	H29/8/30 ～9/1
織物製造及び設計における画像処理の役割について	五十嵐哲也（技術支援科） 豊浦正広・茅暁陽（山梨大学）	画像電子学会 第282回 研究会 in 山梨	山梨大学	H29/9/1
分裂酵母 <i>Schizosaccharomyces</i> sp. を用いた清酒醸造に関する研究	佐藤憲亮・小松正和・木村英生（食品酒類・バイオ科）	平成29年度日本醸造学会大会	北とびあ	H29/10/11 ～12
同一圃場由来の原料ブドウからのスパークリングワインとスティールワイン製成	恩田匠（ワイン技術部）・渡辺晃樹（果樹試験場）・長沼孝多・小嶋匡人（ワイン技術部） 富田晃（果樹試験場）	平成29年度日本醸造学会大会	北とびあ	H29/10/11 ～12

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
プラスチックの色移りに作用する因子と機構に関する研究	尾形正岐・山田博之・阿部治 (機械電子科) 西村通喜 (素材科) 寺澤章裕 (機械技術部)	プラスチック成形加工学会	大阪国際会議場	H29/10/31
電子ビーム照射による硬質傾斜組成被膜の形成に関する研究 (第2報) -複合処理面の熱疲労特性について-	萩原義人 (機械技術部)・佐野正明 (工業材料科)・古屋雅章 (素材科)・岡田晃 (岡山大学)	電気加工学会全国大会 (2017)	県立図書館	H29/11/30 ~12/1
高特性溶射技術を用いたインプラント材料の表面改質	佐野正明 (工業材料科)・石黒輝雄 (機械技術部)・三井由香里 (化学・燃料電池科)・小林義之 (東京エレクトロン(株))	電気加工学会全国大会 (2017)	県立図書館	H29/11/30 ~12/1
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造におけるカルボキシメチルセルロースを用いた酒石安定化	恩田匠・長沼孝多・小嶋匡人 (ワイン技術部)	日本ワイン・ブドウ学会 2017年大会	ニューウェルシティ出雲	H29/11/11 ~13
整枝剪定方法の違いが‘甲州’および‘カベルネ・ソーヴィニヨン’のワイン品質に及ぼす影響	長沼孝多 (ワイン技術部)・小松正和 (食品酒類・バイオ科)・渡辺晃樹 (果樹試験場)・小嶋匡人 (ワイン技術部)・富田 晃 (果樹試験場)・恩田匠 (ワイン技術部)	日本ワイン・ブドウ学会 2017年大会	ニューウェルシティ出雲	H29/11/11 ~13

(2) 口頭発表 (その他)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
地域産業活性化人材育成事業を利用した林道内の自動走行に関する研究開発	中込広幸 (システム開発科)	RoboMec2017 Workshop 第13回地域交流ワークショップ	ビックパレットふくしま	H29/5/10
非接触センサを用いた林道幅測定報告	中込広幸 (システム開発科)	平成29年度地域産業活性化人材育成事業成果発表会	(国研)産業技術総合研究所	H29/7/13 ~14
身体動作シミュレーションを使用した製造器具の形状検討	鈴木文晃 (デザイン技術部)	デジタルヒューマン技術協議会 2017年度 第3回協議会	(国研)産業技術総合研究所 臨海副都心センター	H29/8/29
回転式プロービングシステムによる同軸度測定の場合	米山陽 (機械技術部)	測定計測展 2017 三次元座標測定機・測定機器セミナー	東京ビッグサイト	H29/9/13
振動に関する技術支援および現在行っている研究について	坂本智明 (機械技術部)	第11回音振動研究会	福井県工業技術センター	H29/10/19, 20
イミュニティ試験における非定常動作の検出方法	中村卓 (電子応用科)	産業技術連携推進会議 知的基盤会議 第22回電磁環境分科会 及び第27回EMC研究会	東葛テクノプラザ	H29/10/26 ~27
高感度圧力センサを応用した人体の動作測定の評価手法	保坂秀彦 (システム開発科)	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第15回組込み技術研究会	埼玉県産業技術総合センター	H29/11/13 ~14
工業部品の洗浄評価に関する研究	三神武文 (化学・燃料電池科)	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 製造技術分科会・表面処理研究会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター 東事業所	H29/12/15
身体動作シミュレーションを活用したプロダクト開発に関する研究	鈴木文晃 (デザイン技術部)	平成29年度 産業技術連携推進会議 ラフサイエンス部会 第22回デザイン分科会	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター	H29/12/7 ~8

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
-CMMの教科書- いろいろな測り方があるのね	米山陽 (機械技術部)	NMIJ 計測クラブ 平成 29 年度 CMM ユーザクラブ講演会	(地独)東京都立産業技術研究センター	H30/3/2
地理的表示「山梨」と GI Yamanashi の魅力について	恩田匠 (ワイン技術部)	地理的表示「山梨」ワインシンポジウム	ベルサール渋谷ファースト	H30/3/24
知ってるようで知らないハタオリマチの歴史と今	五十嵐哲也 (技術支援科)	ふじよしだフォーラム 2017	富士吉田市民会館	H29/10/22
幻の絹織物「甲斐絹」と、郡内織物産地の物語	五十嵐哲也 (技術支援科)	シルクサミット 2017	富士 Calm	H29/11/6
沖縄の染織物はこれからどこへ向かうのか?	五十嵐哲也 (技術支援科)	平成 29 年度知財活用による商品開発主導型の産業振興モデルに向けた調査事業調査結果報告会・セミナー	沖縄県立博物館・美術館	H30/3/9

(3) ポスター発表 (学会)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
公設試紹介 「自然画像を元にしたジャカード織物組織の生成手法の研究」 「保有特許技術を用いた試作品」	上垣良信 (製品開発科)	繊維学会年次大会	タワーホール船堀	H29/6/7
ブドウ由来バイオマスを原料とした TEMPO 酸化セルロースナノファイブールの調製	芦澤里樹・佐藤貴裕 (化学・燃料電池科)・小嶋匡人 (ワイン技術部)・磯貝明 (東京大学)	セルロース学会第 24 回年次大会	岐阜大学	H29/7/13 ~14
繊維及び和紙の低温プラズマ前処理による C6 テロマーの撥水性向上	上垣良信 (製品開発科)	日本繊維機械学会第 24 回秋季セミナー	大阪大学	H29/11/16 ~17
ブドウ由来バイオマスを原料としたセルロースナノファイバーの調製	芦澤里樹 (化学・燃料電池科)	平成 29 年度静岡県工業技術研究所 研究発表会	静岡県コンベンションアーツセンター	H30/3/16

(4) ポスター発表 (その他)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
分裂酵母を使用した高品質清酒製造法の開発	佐藤憲亮・小松正和・木村英生 (食品酒類・バイオ科)	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	H29/11/1
甲州印伝への山梨県産鹿革の活用とプロジェクトの試作開発	串田賢一 (デザイン技術部)	平成 29 年度産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会第 21 回デザイン分科会	長崎美術館	H29/6/15 ~16
AZ31 マグネシウム合金の RPMI 培地中の腐食挙動における表面処理の影響	小林伶香・保坂泰斗・吉原正一郎 (山梨大学)・三井由香里 (化学・燃料電池科) Bryan J. ACDONALD (Dublin City University)	軽金属学会 第 133 回秋季大会	宇都宮大学	H29/11/4 ~5

(5) 研究論文掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
瓶内二次発酵のための酵母発酵種の調製	恩田匠 (ワイン技術部)・小松正和 (食品酒類・バイオ科)・中山忠博	Journal of ASEP JAPAN	Vol. 28, No. 1, p3-7, 2017

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
超音波援用によるガラスの小径ドリル加工に関する研究 第 1 報超音波援用が穴加工精度に及ぼす影響	米山陽・石黒輝雄 (機械技術部)・佐野正明 (工業材料科)・清水毅・石井孝明 (山梨大学)	砥粒加工学会誌	Vol. 61, No. 11, 2017 NOV, p594-599
フレキシブル透明圧電素子の作製とフィルムスピーカーへの応用	望月威夫 (総合相談・連携推進科)・尾身拓哉・野田飛鳥・奥崎秀典 (山梨大学大学院)	高分子論文集	Vol. 74 (4), p298-303, 2017
高周波誘導加熱による短時間容体化処理がADC12 高圧ダイカスト品のマイクロ組織と硬さに及ぼす影響	鈴木大介 (機械技術部)・中山栄浩 (山梨大学)・八代浩二 (企画連携推進部)・星野昌子 (企画・情報科)	鑄造工学	Vol. 85, No. 5, p231-238, 2017
管内での AZ31B マグネシウム合金の腐食挙動に対する腐食液の流動状況の影響	征矢裕貴・保坂泰斗・吉原正一郎 (山梨大学)・坂本智明 (機械技術部)・Bryan J MacDonald (Dublin City University)	軽金属	Vol. 67, No. 9, p430-437, (2017)
伝統的瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造における成分の推移	恩田匠 (ワイン技術部)・小松正和 (食品酒類・バイオ科)・中山忠博	日本醸造協会誌	112(12), p836-848, 2017
Fabrication of flexible transparent electrodes using PEDOT:PSS and application to resistive touch screen panels	望月威夫 (総合相談・連携推進科)・滝上勇氣・近藤貴弘・奥崎秀典 (山梨大学大学院)	Journal of Applied Polymer Science	Volume115, Issue10
パナジウム媒染法の改質セルロースへの適用	上垣良信 (製品開発科)・佐藤哲也 (山梨大学)・長谷川達也 (富士山研)・安永秀計 (京都工芸繊維大学)	繊維製品消費科学	第 58 巻(2017) No. 5・p412-419
Dithering method for reproducing smoothly changing tones and fine details of natural images on woven fabric	五十嵐哲也 (技術支援科)・茅暁陽・豊浦正広 (山梨大学)	Textile Research Journal	2017. 9 (オンラインジャーナル)

(6) その他記事掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
山梨県産業技センターにおける熱処理(材料と表面改質)分野の取り組みについて	八代浩二 (企画連携推進部)	熱処理	第 57 巻, 3 号, 135-136 (2017)
山梨県産業技術センターが取り組む研究開発事例	石黒輝雄 (機械技術部)	砥粒加工学会	Vol. 61, No. 9, p472-475
X線回析による残留応力測定	八代浩二 (企画連携推進部)	電気加工学会誌	Vol. 52, No. 129,
マグネシウム合金の X 線応力測定とショットピーニング層の残留応力	八代浩二 (企画連携推進部)	ショットピーニング技術協会誌	Vol. 30, No. 1, p18-24(2018)
加工表面の評価技術	佐野正明 (工業材料科)	電気加工学会誌	Vol. 52, No. 129
織物製造及び設計における画像処理の役割について	五十嵐哲也 (技術支援科)	画像電子学会誌	第 47 巻(2018)1 号 p90-95
日本ワインコンクール (Japan Wine Competition)2017 報告	恩田匠 (ワイン技術部) 有野謙市 (地域産業振興課)	日本ブドウワイン学会誌	28(3) 111-120- 2017
瓶用二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	恩田匠 (ワイン技術部)	日本ブドウワイン学会誌	28(1) 17-20 2017

人材育成業務

1. 出前技術講座

(1) 講座一覧

	講座	実施日	担当	受講者数
1	オフフレーバーの官能評価実習	H29/4/11	食品酒類・バイオ科	22
2	県産バイオマスを原料としたセルロースナノファイバーに関する研究	H29/4/20	化学・燃料電池科	12
3	スパークリングワイン製造について	H29/5/27	ワイン技術部	16
4	身体動作のシミュレーションを活用したプロダクト開発に関する研究	H29/6/1	デザイン技術部	13
5	スパークリングワイン製造について	H29/6/3	ワイン技術部	16
6	山梨県産業技術センターの概要 ～研磨宝飾業界への技術支援を中心として～	H29/6/8	食品酒類・研磨宝飾技術部	18
7	甲州産ワインの歴史と特性	H29/6/13	ワイン技術部	44
8	プラスチック材料の基本	H29/6/16	化学・燃料電池科	10
9	郡内地域の織物産業について	H29/6/21	繊維技術部	30
10	瓶内二次発酵法の概要	H29/7/4	ワイン技術部	25
11	精密測定の基本 ―ノギス・マイクロメーター編―	H29/7/7	機械技術部	9
12	織物基礎	H29/8/1	繊維技術部	47
13	表面粗さ測定について	H29/8/24	機械技術部	9
14	織物基礎	H29/9/4	繊維技術部	39
15	メカトロニクス工学特別講義Ⅰ	H29/9/6	工業材料科、機械技術部 システム開発科	8
16	メカトロニクス工学特別講義Ⅱ	H29/9/28	企画連携推進部、機械技術部、 化学・燃料電池科	9
17	組み込みコンピュータを活用した画像処理技術とその応用	H29/9/12	電子・システム技術部	22
18	エクセルを使った信頼性適合試験（JISC5003）の考え方	H29/9/15	システム開発科	27
19	織物基礎	H29/10/2	繊維技術部	35
20	山梨県のワイン	H29/10/8	ワイン技術部	141
21	科学技術の光～人類の英知とその行方～	H29/10/10	企画連携推進部	16
22	産業技術センターの支援体制について	H29/10/18	企画連携推進部	42
23	産業技術センターの支援業務と3Dプリンタのご紹介	H29/10/30	機械技術部	12
24	JAPAN PACK2017 から見える今後のデザインについて	H29/11/1	デザイン技術部	22
25	産業技術センターで実施している研究について	H29/11/24	食品酒類・バイオ科	28
26	郡内織物産業の現状	H29/11/26	繊維技術部	6
27	基礎ワインブランド学持論	H29/12/1	ワイン技術部	14
28	プラスチック射出成形加工技術について	H29/12/5	機械電子技術部	7
29	金属3Dプリンタの概要と操作方法	H29/12/13	機械技術部、材料・燃料電池技術部	7
30	過電流を用いた熱間金型の疲労度検出方法	H29/12/20	企画連携推進部、工業材料科	9
31	①工業部品の洗浄評価に関する研究 ②軽量化を目的とした自動車素材の動向	H29/12/21	化学・燃料電池科	14
32	ビッカース硬さ試験の基礎	H30/1/25	工業材料科	2
33	幾何公差について	H30/1/25	機械電子技術部	9
34	移動ロボットプログラミング入門	H30/1/30	システム開発科	55

	講座	実施日	担当	受講者数
35	プラスチック射出成形加工技術について	H30/1/30	機械電子技術部	5
36	金属 3D プリント造形物の評価 ～応力測定・精密測定の概要～	H30/2/6	機械技術部、材料・燃料 電池技術部	9
37	山梨ハタオリ産地の歴史・現状について	H30/3/5	繊維技術部	50
38	ビッカース硬さの測定について	H30/3/14	研磨・宝飾科	2
39	知って得する地理的表示「山梨」！ ～GI Yamanashi ワインの話～	H30/3/24	ワイン技術部	400

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	70 (3講座)	70 (4講座)	106 (4講座)	44 (5講座)	52 (5講座)	35 (2講座)	656 (7講座)	207 (6講座)	21 (3講座)	1,261 (30講座)

2. ものづくり人材育成研修

(1) 前期

	講座名	講師	担当	実施日	受講者数
1	測定実習で深める幾何公差の理解 (実習)	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械技術部	H29/6/23	8
2	表面粗さ測定の基礎 (座学)	(株)小坂研究所 鈴木清	機械技術部	H29/7/6	23
3	電子顕微鏡による表面の観察と分析手法について (実習)	日本電子(株) 森憲久	工業材料科	H29/7/13	4
4	スクラッチ試験方法の習得(実習)	(株)レスカ 宝泉敏寛	化学・燃料電池科	H29/7/20	4
5	タブレット入力機器を使用したスカルプトモデリングについて(実習)	BLESTAR 和田真一	デザイン技術部	H29/7/21	14
6	異物分析の基礎(座学)	センター職員	化学・燃料電池科	H29/7/24	18
7	手はんだ付け入門 (実習)	センター職員	システム開発科	H29/7/28	6

(2) 後期

	テーマ名	講師	担当	実施日	受講者数
1	ひずみ測定の基礎	(株)共和電業 営業技術部 藤島絵里子	機械電子技術部	H29/10/17	4
2	測色計による製品の品質管理(座学)	コニカミノルタジャ パン(株) 小林祥太 萩原孝明	食品酒類・バイオ科	H29/10/18	10
3	断面試料作製装置と小型イオンビームミリング装置による顕微鏡試料の作製	ライカマイクロシス テムズ(株) アプリケーション部 シニアリサーチャー 長澤忠宏	機械電子技術部	H29/10/24	4

テーマ名		講師	担当	実施日	受講者数
4	最新の切削加工技術とその実演（実習）	オーエスジー（株） 川口洋三	機械技術部	H29/10/25	4
5	酒の製造と評価について（座学）	山形県酒造組合特別 顧問 小関敏彦 東京国税局 鑑定官 室長 宇都宮仁	食品酒類・バイオ科	H29/10/26	20
6	金属 3D プリンタ体験実習（実習）	センター職員	機械技術部	H29/11/9	5
7	基礎を確認！EMC -やってみよう伝導エミッション測定-(実習)	センター職員	電子応用科	H29/11/15	7
8	幾何公差の基礎 ～図面指示の仕方～	客員研究員 中村哲夫	機械電子技術部	H29/11/16	9
9	PLC による制御実習	オムロン（株） 営業統括事業部 セミナー教育課 森 健	機械電子技術部	H29/11/22	6
10	小物機械部品に対するロストワックス精密鑄造法の適用（座学）	客員研究員 神藤典一	研磨・宝飾科	H29/11/27	10
11	シングルボードコンピュータを使った IoT システム構築（実習）	センター職員	システム開発科	H29/11/30	5
12	樹脂流動解析の活用と解析入門 ～3D TIMON を用いた解析～	東レエンジニアリング（株） CAE ソフト事業部 技術課 大谷正人	機械電子技術部	H29/12/13	9
13	光学顕微鏡（金属顕微鏡）、ビデオマイクロスコープを用いた観察テクニック	ライカマイクロシステムズ（株） アプリケーション部 シニアスペシャリスト 鶴巻宣秀	機械電子技術部	H30/2/7	9
14	海外販路開拓に関する勉強会 1	客員研究員 家安香	繊維技術部	H30/1/24	6
15	海外販路開拓に関する勉強会 2	客員研究員 家安香	繊維技術部	H30/3/16	11

(3) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	繊維 技術部	機械 電子 技術部	合計
前期・人数 (講座数)	-	6 (1講座)	26 (3講座)	31 (2講座)	14 (1講座)	-	-	77 (7講座)
後期・人数 (講座数)	40 (3講座)	12 (2講座)	-	9 (2講座)	-	17 (2講座)	41 (6講座)	119 (15講座)
合計	40 (3講座)	18 (3講座)	26 (3講座)	40 (4講座)	14 (1講座)	17 (2講座)	41 (6講座)	196 (22講座)

3. やまなしモノづくりデザイン塾

(1) 講座一覧

コース	講座名	講師	実施日	受講者数
実践コース・A 「デザインを活用した地域企業の海外展開」	・支援事業を活用した地域企業の海外展開例	(株)ロフトワーク プロジェクトディレクター 二本柳友彦	H29/10/25	5
	・事例から見る地域企業の海外展開 ～意識を変える、見方を変える～		H29/10/26	4
	・事例から見る地域企業の海外展開 ～自社資源の発掘と構築～		H29/11/1	5
	・デザイナーとの共創による価値創造		H29/11/2	6
実践コース・B 「行動デザインによる新商品開発ワークショップ」	・「行動」から市場概念を捉え直す	(株)博報堂 行動デザイン研究所 所長/エグゼクティブ マーケティングディレクター 國田圭作	H29/11/15	17
	・人を動かす「行動デザイン」		H29/11/22	16
	・「行動」から考える新商品開発プロセス		H29/11/29	16
	・行動デザイン実践ワークショップ		H29/12/5	16
実践コース・C ブランドストーリーの創り方	・ブランドストーリーとは？	パニスター(株) 代表取締役/ストラテジック・プランナー 細谷正人	H30/2/8	12
	・行動と感情のロイヤリティをデザインする+ワークショップ		H30/2/9	12
	・ターゲットインサイトと世界観		H30/3/1	10
	・まとめ+ワークショップ発表		H30/3/2	9

(2) コース別実績

コース	実践コース・A	実践コース・B	実践コース・C	合計
人数	20(4講座)	65(4講座)	43(4講座)	128(12講座)

(担当：デザイン技術部)

4. 中小企業等国際規格対応支援事業

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
材料・燃料電池技術部	知っておきたい海外の科学物質規制法 ～電気電子機器と関連する海外法規制～	松浦技術士事務所 松浦哲也	H29/8/4	13
研磨・宝飾科	知っておきたい海外の科学物質規制法 ～宝飾製品と関連する海外法規制～	松浦技術士事務所 松浦哲也	H29/8/4	8
材料・燃料電池技術部 食品酒類・研磨宝飾技術部	信頼性評価交流会 先進地見学会	見学先：JASIS2017 (旧 分析展/科学機器展) 幕張メッセ国際展示場	H29/9/7	5
研磨・宝飾科	信頼性評価研修「蛍光 X 線分析の基礎」	アメテック(株) エダックス事業営業部 アプリケーションエンジニア 川畑正伸	H30/2/21	2
研磨・宝飾科	信頼性評価研修 「宝飾品のための蛍光 X 線分析」	アメテック(株) エダックス事業営業部 アプリケーションエンジニア 川畑正伸	H30/2/21	3
研磨・宝飾科	信頼性評価セミナー 「顕微鏡で探るルビー・サファイアの内的な異世界」	(一社)宝石貴金属協会 主任研究員 笠原茂樹	H30/3/16	9
研磨・宝飾科	信頼性評価セミナーⅡ 「知っておきたい蛍光 X 線分析の基礎」	アメテック(株) エダックス事業営業部 アプリケーションエンジニア 川畑正伸	H30/3/20	10

5. 繊維産業品質強化支援事業

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
繊維技術部	J∞QUALITY 認証制度個別相談会	繊維産業流通構造改革推進協議会 専務理事 阿部旭	H29/8/22	7
	国際市場を前提とする服飾造形とテキスタイルに関する技術的経営的研究	信州大学学術研究院(繊維学系)教授 国際ファイバー工学研究所 所長 高寺政行	H29/10/25	15
	環境負荷の少ない繊維加工について	洛東化成工業(株) 取締役 研究開発部 部長 大橋知史	H29/12/20	15
	茨城県「繊維関連施設等視察研修会」	—	H29/10/19	29
	東京都「繊維関連展示会等視察研修会」	—	H29/11/29	15
	品質強化技術者研修「洗濯試験機の操作方法」	(株)大栄科学精器製作所 営業3課 藤田真也 センター職員	H29/12/20	9
	品質強化技術者研修「ガスクロマトグラフ質量分析計の操作方法」	(株)島津製作所 分析計測事業部 主任 齋藤良弘 センター職員	H29/12/20	9
品質強化技術者研修「倒立顕微鏡の操作方法」	センター職員	H29/12/20	9	

6. 講習会・研修会

(1) 講座一覧

企画連携推進部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
企画・情報科	ものづくり IoT 化講習会 「MZ プラットフォーム: 中小製造業の IT 化支援から IoT 化応用へ」	産業技術総合研究所 製造技術研究部門 主任研究員 古川慈之	H30/3/27	41

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	和菓子講習会	山梨学院大学 健康栄養学部 教授 仲尾玲子 専修学校日本菓子専門学校 和菓子専任講師 岩崎真岳	H29/8/29	30
	洋菓子講習会	森永商事(株) チョコレートテクニカルアドバイザー 植崎義明	H29/11/7	51
	食品表示講習会 「食品表示制度の最近の動き～原料原産地表示の改正など～」	(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 専門委員 蒲生恵美	H29/12/7	120
	食品開発講習会 「地場産業への提言-味噌とレモンティーをつくる老舗メーカーが考える伝統と革新-」	光浦醸造工業(株) 代表取締役社長 光浦健太郎	H29/2/23	38
	技術講演会 (1)「微生物酵素を利用した果実類の剥皮技術の開発と応用」 (2)「中高圧処理を用いた食品加工技術」	近畿大学 生物理工学部 食品安全工学科 教授 尾崎嘉彦 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品品質評価制御ユニット長 山本和貴	H30/3/12	43

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
研磨・宝飾科	技術講習会 「伝統産業振興とファッション文化」	社会学者・東京大学名誉教授・文学博士 上野千鶴子	H30/1/11	64

電子・システム技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナー I 「EMC 設計と対策の基礎」	(株)e・オータマ テクニカルアドバイザー 佐藤智典	H29/12/6	37
	IoT 機器等信頼性向上セミナー 「静電気イミュニティ試験の実際と注意点」	(株)ノイズ研究所技術部 上席部長 石田武志	H30/2/21	19
	電子応用技術セミナー II 「画像処理を用いた計測技術の基礎」	山梨大学工学部 情報メカトロニクス工学科 教授 小谷信司	H30/2/28	40
システム開発科	情報技術講習会 「IoT システム構築セミナー」	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 知能システム研究部門 スマートコミュニケーション研究グループ 主任研究員 関山 守 (有)ウィン電子工業 片見剛人	H29/7/14	53
	電子技術講習会 「IoT の活用方法を見いだす!～気軽に IoT センシング体験講座」	PC-Ecolo IT 塾 代表 江崎晃平	H30/2/8	24

材料・燃料電池技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	材料技術講習会 -硬さ試験の基礎と硬さ試験機について-	(株)ミットヨ 営業本部 東日本営業部 技術営業課 主査 山下 勤	H29/12/12	22
	材料技術講習会 II 「金属組織及び断面観察のための試料作製」	(株)三啓 東京試料作製センター 菅間良孝	H29/1/17	16
	材料技術講習会 III 「建設業界の BIM 動向」	(株)竹中工務店 染谷俊介	H30/1/30	46
化学・燃料電池科	セルロースナノファイバー普及技術セミナー 「TEMPO 酸化セルロースナノファイバーの調製と特性評価」 「セルロースナノファイバーの実用化までの道のりと最新研究開発状況」	東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授 磯貝 明 第一工業製薬株式会社 事業本部 レオクリスタ事業部 開発グループ 専門課長 後居洋介	H30/1/23	112
	機器活用セミナー 複合サイクル試験機・塵埃試験機・耐水試験機 機器活用セミナー	スガ試験機(株) 篠原晃典、柿沼賢太	H30/2/2	29

機械技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
技術講習会 「機械設計図面を正しく解釈するための幾何公差」	客員研究員 中村哲夫	H29/6/9	62
輸送包装試験セミナー「合理的包装設計のための計測と試験」	神栄テストマシナリー (株)事業開発部 川口和晃	H29/12/14	27

デザイン技術部 (デザインセンター)

講座名	講師	実施日	受講者数
トレンド情報セミナー「ヒットをつくり、ヒットを育てるためのトレンドのつかみ方」	(株)ビューティブレン 代表取締役 廣瀬知砂子	H29/6/16	38
セルロース技術講習会 (和紙デザインセミナー) 「小さな印刷加工所のデザインプロジェクト」	福永紙工(株)/かみの工作 所 代表取締役 山田明良	H29/11/1	22
デザイン特別講座(デザイン技術講習会) 「選ばれるパッケージのデザイン」	サントリー食品インター ナショナル(株)ジャパン 事業本部シニアスペシャ リスト クリエイティブ ディレクター (公社)日本パッケージデ ザイン協会 理事長 加藤芳男	H30/2/26	36
デザイン特別講座 (デザイン技術講習会) 「“つくる”を“つなげる”」	(株)イクス 代表 プランニングディレクタ ー 永田宙郷	H30/3/19	15

ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
山梨県ワイン鑑評会	センター職員	H29/4/13	98
研究成果普及官能評価会	センター職員	H29/4/24	40
官能評価講習会	センター職員	H29/7/13	30
亜硫酸管理技術研修会	センター職員	H29/7/19	24
研究成果普及官能評価会	センター職員	H30/1/16	66
研究成果品官能評価会Ⅱ	センター職員	H30/3/22	55

繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維・テキスタイル技術の動向と今後の展望	信州大学 繊維学部 教授 森川英明	H29/7/20	31

機械電子技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
企業再建への挑戦と医療機器産業への参入体験 ～ ラジオD J からめつき会社の社長に！～	日本電鍍工業(株) 代表取締役 伊藤麻美	H29/7/19	28

講座名	講師	実施日	受講者数
積層造形(3Dプリンタ)の量産技術としての活用と今後の展望	(株)スリーディー・システムズ・ジャパン 3Dプリンタ事業本部 アプリケーションエンジニア・マネージャ 小林広美	H29/12/4	25
今、製造現場で求められているロボットとは～人のように使えるロボットを目指して～	THK インテックス(株) 装置事業本部 ロボット部 課長 内山勝博	H30/3/19	39
自動車の軽量化技術で注目される「マルチマテリアル化」	国立研究開発法人 新エネルギー・産業総合開発機構 材料・ナノテクノロジー部 主任研究員 今西大介	H30/3/19	39

(2) 担当別実績

部	企画連携推進部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
人数	41 (1講座)	346 (6講座)	173 (5講座)	225 (5講座)	89 (2講座)	111 (4講座)	313 (6講座)	31 (1講座)	131 (4講座)	1,460 (34講座)

7. 技術者研修

(1) テーマ一覧

	研修テーマ	研修期間	受講者数	受入担当
1	ワインの分析技術	H29/5/16～5/26(9日間)	5	ワイン技術部
2	織物基礎	H29/6/5～H29/6/12(3日間)	6	繊維技術部
3	織物基礎及び設計	H29/6/5～H29/7/26(15日間)	5	繊維技術部
4	Solidworks の解説及び使用方法習得	H29/6/12～6/16(4日間)	1	デザイン技術部
5	Solidworks の解説及び使用方法習得	H29/7/10～7/14(4日間)	1	デザイン技術部
6	3次元CAD/CAMを活用した治具加工手法	H29/7/26～7/28(3日間)	1	機械技術部
7	Solidworks の解説及び使用方法習得	H29/10/10～10/13(4日間)	1	デザイン技術部
8	3次元CADを活用した機構解析の基礎習得	H29/11/6～12/17(5日間)	1	機械技術部
9	織物基礎	H29/11/21～H29/12/26(10日間)	5	繊維技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	0	0	0	2	3	5	16	0	26

8. インターンシップ研修

	研修生派遣元	研修期間	受入担当
1	山梨大学	H29/10/10～11/2	電子・システム技術部

9. 夏休み親子ものづくり体験

児童にもものづくりへの興味をもってもらうとともに、一般県民へ向けて産業技術センターのPRを行うことを目的として、ものづくり体験・見学会を開催した。

(1) 甲府技術支援センター

○開催日：平成29年8月8日

○内容：

- (1) ものづくり体験
 - ・クリップモーターを作ろう！
- (2) センター見学
 - ・糖の甘さを感じてみよう！
 - ・透過装置でモノの中身を見てみよう！
 - ・精密測定を体験してみよう！
 - ・真空でイニシャルを作ろう！

○参加者数：12組25名

(2) 富士技術支援センター

○開催日：平成29年8月2日

○内容：

- (1) ものづくり体験
 - ・草木染めを体験してみよう！ ～ハンカチの絞り染め～
- (2) センター見学
 - ・プラスチックのリサイクルって？ ～PETボトルを再生してみよう～
 - ・目に見えないものを見てみよう！ ～透視・温度・拡大～
 - ・オリジナルキーホルダーを作ろう！ ～レーザービームで金属を加工～

○参加者数：5組12名

10. 吉田高校・課題研究

山梨県立吉田高等学校理数科 課題研究

県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

○テーマ 「ジャカード織による階調表現における入力画素値と製織結果の相関についての研究」

○実施日 平成29年7月27日、31日

○参加人数 2名

情報提供業務

1. 研究成果発表会および研究報告の発行

(1) 研究成果発表会

①甲府技術支援センター

- ・開催日：平成 29 年 4 月 26 日
- ・受講者数：45 人

②富士技術支援センター

○繊維技術部

- ・開催日：平成 29 年 7 月 20 日
- ・受講者数：31 人

○機械電子技術部

- ・開催日：平成 29 年 7 月 19 日
- ・受講者数：28 人

(2) 研究報告

①甲府技術支援センター(平成 28 年度 31 号)

- ・発行日：平成 29 年 7 月 31 日
- ・発行部数：400 部

②富士技術支援センター

- ・発行日：平成 29 年 9 月
- ・発行部数：200 部

2. やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表および山梨テクノ ICT メッセ等の展示会への出展

(1) やまなし産学官連携研究交流事業

- ・開催日：平成 29 年 10 月 31 日
- ・会場：ベルクラシック甲府
- ・発表テーマ：口頭発表 2 件、展示発表 28 件

(2) 山梨テクノICTメッセ 2017

- ・開催日：平成 29 年 11 月 9 日～11 日
- ・会場：アイメッセ山梨
- ・出展者：山梨県産業技術センター

3. 年報、センターニュースおよびデザイン情報紙の発行

(1) 年報（平成 28 年度）

- ・発行日：平成 29 年 5 月 31 日
- ・発行部数 300 部

(2) センターニュース

- ・発行部数 各 1500 部

①センターニュースVo1.1

- ・発行日：平成 29 年 6 月 30 日

②センターニュースVo1.2

- ・発行日：平成 29 年 10 月 31 日

③センターニュースVol.3

・発行日：平成30年2月28日

(3) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol.20～25

・発行日：平成29年5月～平成30年3月の奇数月15日

・発行部数：各1600部

4. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行

(1) センター利用の手引き：適宜発行

(2) メールマガジン

・発行回数：43回 (No.1～43)

・内容：講習会・研修会案内、設備機器案内等

5. その他

(1) 研究成果速報の発行

・発行日：平成29年4月24日

・発行部数：1300部

(2) ホームページによる情報提供 (<http://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)

センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：8回

(3) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信

郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介

(<http://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)

(4) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信

富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介

(ブログ <http://www.shikenjyo.blogspot.jp>)

(フェイスブック <http://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)

発信数：ブログ8回、フェイスブック23回

(5) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌 (学会誌 39、協会誌 14、その他 47 合計 100 種 [購入・寄贈]) 工学・デザイン専門書 (購入 179 冊、寄贈 6 冊 合計 185 冊)
研究報告	国・大学・公設試 (69 種)
各種情報	JIS、法規集 (23 種)、新聞 (20 種)、国・公設試ニュース、その他

(6) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用

山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信

(<http://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)

・掲載デザインソース数 998 点 (内訳：形状 102 点/模様 339 点/色彩 148 点/昔話 399 点)

技術交流

1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者
産業技術連携推進会議			
情報通信・エレクトロニクス部会			
第13回地域交流ワークショップ	H29/5/10	ビックパレットふくしま	中込広幸
情報技術分科会情報通信研究会	H29/10/12	(国研)産業技術総合研究所 臨海副都心センター	布施嘉裕
情報技術分科会第11回音・振動研究会	H29/10/19～20	福井県工業技術センター	坂本智明
第13回電子技術分科会、第18回実装・信頼性技術研究会、第18回高性能材料・デバイス研究会	H29/10/26～27	(地独)東京都立産業技術研究センター	清水章良
情報技術分科会第15回組込み研究会	H29/11/13～14	埼玉県産業技術総合センター	保坂秀彦
製造プロセス部会			
第24回表面技術分科会	H29/6/8～9	かごしま県民交流センター	芦澤里樹
精密微細加工分科会 第57回金型・材料研究会	H29/11/21～22	ハビリンホール、福井県工業技術センター	深澤郷平
総会	H30/2/13	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	高尾清利
ライフサイエンス部会			
第21回デザイン分科会	H29/6/15～16	長崎県美術館	串田賢一
第22回デザイン分科会	H29/12/7～8	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター	鈴木文晃
ナノテクノロジー・材料部会			
素形材分科会 総会・第58回技術担当者会議	H29/11/14～15	(国研)産業技術総合研究所 中部センター (株)UACJ名古屋製作所	石田正文
第55回高分子分科会	H29/11/16～17	福井市地域交流プラザ	佐藤貴裕
ナノセルロース研究会 平成29年度技術交流会・見学会	H29/11/27～28	道後温泉ふなや、愛媛県産業技術研究所・食品技術センター	芦澤里樹
繊維分科会 関東・東北地域連絡会総会	H29/5/19	新潟県工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター	渡辺 誠
繊維分科会総会	H29/6/1～2	京都府プラザホテル吉翠苑	宮川理恵
繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測定研究会	H29/11/17	新潟県工業技術総合研究所 素材応用技術支援センター	塩澤佑一朗
繊維分科会幹事会	H30/1/25	(地独)東京都立産業技術研究センター本部	渡辺 誠
関東甲信越静地域部会			
総会	H29/11/1～2	チサンホテル宇都宮	手塚 伸 勝又信行
製造技術分科会・表面処理研究会	H29/12/5	(国研)産業技術総合研究所つくばセンター 東事業所	三神武文
第50回食品・バイオ分科会	H30/2/6～2/7	(国研)産業技術総合研究所	小松正和
知的基盤部会			
第22回電磁環境分科会、第27回EMC研究会	H29/10/26～27	東葛テクノプラザ	中村 卓
計測分科会	H29/12/6～8	兵庫県立工業技術センター	古屋雅章 長田和真
総会および分析分科会	H29/12/14～15	佐賀県佐賀市ホテルグランデはがくれ	三神武文 尾形正岐
電磁環境分科会 第15回関東甲信越静EMC研究交流会	H30/1/19	甲府技術支援センター	手塚 伸 河野 裕 木島一広 清水章良 中村 卓
医療福祉技術分科会			
第19回医療福祉技術シンポジウム	H29/10/31	長野県松本市Mウィング文化センター	山田博之
第58回総会	H30/3/2	トラストシティカンファレンス・丸の内	手塚 伸
第17回産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	H30/2/6～2/7	(国研)産業技術総合研究所	小松正和
首都圏公設試連携会議 (TKF)			
第54回	H29/7/12	(地独)東京都立産業技術研究センター本部	手塚 伸 勝又信行
第55回	H30/2/23	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	手塚 伸 勝又信行
H29年度TKFオープンフォーラム	H29/9/27	埼玉県産業技術総合センター	金丸勝彦 宮川理恵 勝又信行 鈴木文晃 塩澤佑一朗

会議名	期日	会場	出席者		
広域首都圏輸出製品技術センター (MTEP)					
第12回事務局会議	H29/7/12	(地独)東京都立産業技術研究センター本部	手塚 伸	勝又信行	
MTEP EMCパートナーグループ会	H30/1/19	甲府技術支援センター	手塚 伸 清水章良	河野 裕 中村 卓	木島一広
MTEP-RoHSパートナーグループ会議	H30/1/31	(地独)東京都立産業技術研究センター	三神武文		
第6回運営委員会	H30/2/23	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	手塚 伸	勝又信行	
公立鉦工業試験研究機関長協議会					
第2回海外展開支援分科会	H29/10/25	(地独)東京都立産業技術研究センター	手塚 伸	勝又信行	
産総研戦略予算プロジェクト (3D3PJ)					
第1回運営協議会	H29/4/13~14	沖縄県工業技術センター	古屋雅章		
第2回運営協議会	H29/5/16	静岡県工業技術研究所	萩原義人	古屋雅章	
第3回運営協議会	H29/9/7~8	和歌山県工業技術センター	萩原義人		
第4回運営協議会	H29/12/8	兵庫県立工業技術センター	萩原義人	古屋雅章	
第5回運営協議会	H29/2/22~23	高知県工業技術センター	古屋雅章		
海外調査研究	H29/7/25~8/2	ノースカロライナ大学、3D Systems、North Star Imaging、Stratasys、NIST他	古屋雅章		
説明会兼第1回北・東分科会	H29/5/15~16	静岡県工業技術研究所 他	萩原義人	古屋雅章	
説明会兼第1回中・西分科会	H29/5/17~18	広島市工業技術センター	萩原義人		
第2回東分科会	H29/10/5~6	新潟県工業技術総合研究所等	萩原義人	古屋雅章	
第3回東分科会	H30/2/7~2/8	栃木県産業技術センター	萩原義人	古屋雅章	
第3回中分科会	H30/2/14	名古屋工業研究所	萩原義人		
第1回全体研究会(計測分科会と併催)	H29/12/6~7	兵庫県立工業技術センター	萩原義人 長田和真	米山 陽	古屋雅章
第2回全体研究会	H30/3/8~9	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	萩原義人	古屋雅章	長田和真
平成29年度関東甲信越地区食品醸造研究会	H29/6/1~2	ホテル日航成田	木村英生	小松正和	
平成29年度地域産業活性化人材育成事業成果発表会	H29/7/13~14	(国研)産業技術総合研究所	中込広幸		
第108回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議	H29/9/7~8	ホテルグリーンパーク津、せんごう館	勝又信行		
全国公立鉦工業試験研究機関長協議会「第5回知的財産に係る分科会」	H29/9/28~29	かでの2・7	望月威夫		
全国食品技術研究会、研究成果展示会	H29/11/1~2	つくば国際会議場	佐藤憲亮		
第3回地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	H30/2/13	(地独)東京都立産業技術研究センター	萩原義人		
全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越ブロック会議	H29/11/30	新潟県工業技術総合研究所	岩下可奈子		
食品試験研究推進会議・平成30年度総会	H30/2/22~23	つくば国際会議場	恩田 匠		

2. 学会等の会議

会議名	期日	開催場所	出席者		
繊維学会年次大会	H29/6/7	タワーホール船堀	上垣良信		
第25回品質工学研究発表大会	H29/6/22	タワーホール船堀	宮川和博		
日本食品保蔵科学会第66回大会	H29/6/24~25	高知県立大学永国寺キャンパス	木村英生	恩田 匠	樋口かよ
精密工学会 成形プラスチック歯車研究専門委員会第128回研究会	H29/7/7	機械振興会館	西村通喜	寺澤章裕	
セルロース学会第24回年次大会	H29/7/13~14	岐阜大学	芦澤里樹		
日本材料学会第51回X線材料強度に関するシンポジウム	H29/7/27~28	兵庫県私学会館	八代浩二	三井由香里	
電気学会 電子回路研究会	H29/8/22	神戸大学 梅田インテリジェントラボラトリ	五十嵐哲也		
第22回知能メカトロニクスワークショップIMEC2017	H29/8/26~28	山梨大学	中村 卓	中込広幸	
日本食品科学工学会 第64回大会	H29/8/28~30	日本大学湘南キャンパス	小松正和		
2017年度砥粒加工学会学術講演会(ABTEC2017)	H29/8/30~9/1	福岡工業大学	米山 陽		
画像電子学会 第282回研究会in山梨	H29/9/1	山梨大学	五十嵐哲也		
日本繊維機械学会創立70周年記念行事	H29/9/13~14	京都工芸繊維大学	上垣良信		
2017年度精密工学会秋季大会	H29/9/20~22	大阪大学豊中キャンパス	佐野正明		
平成29年度日本醸造学会大会	H29/10/11~12	北とびあ	恩田 匠	小嶋匡人	佐藤憲亮
プラスチック成形加工学会	H29/10/31	大阪国際会議場	尾形正岐		
日本ブドウワイン学会2017出雲大会	H29/11/11~13	ニューウェルシティ出雲	恩田 匠	長沼孝多	
第58回電池討論会	H29/11/14~16	福岡国際会議場	大丸明正	三神武文	
日本繊維機械学会第24回秋季セミナー	H29/11/16~17	大阪大学	上垣良信		
電気加工学会全国大会(2017)	H29/11/30~12/1	県立図書館	佐野正明	萩原義人	
平成30年度日本食品科学工学会関東支部大会	H30/3/3	女子栄養大学	尾形美貴		
電気化学会第85回大会	H30/3/9	東京理科大学葛飾キャンパス	三神武文		
2018年度精密工学会春季大会	H30/3/15~16	中央大学後楽園キャンパス	佐野正明	鈴木大介	寺澤章裕

3. 職員派遣

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者
ものづくり・商業・サービス開発支援事業				
情報連絡会議	H29/9/11	中小企業団体中央会	ベルクラシック甲府	阿部正人
地方発明表彰、優良発明考案者・創意くふう優良従業員表彰選考委員会	H29/4/6	(一社)山梨県発明協会	甲府技術支援センター	手塚 伸
地域と連携した工業系技術力向上対策事業				
第1回担い手育成委員会	H29/4/13	教育委員会	甲府技術支援センター	河西伸一
第2回担い手育成委員会	H29/5/8	〃	〃	河西伸一
第3回担い手育成委員会	H29/7/6	〃	〃	河西伸一
第4回担い手育成委員会	H29/10/10	〃	〃	河西伸一
第5回担い手育成委員会	H30/1/12	〃	〃	河西伸一
第6回担い手育成委員会	H30/2/5	〃	〃	河西伸一
第1回連携推進委員会	H29/5/18	〃	〃	手塚 伸 河西伸一
第2回連携推進委員会	H30/2/14	〃	〃	手塚 伸 河西伸一
技能検定試験				
機械加工・普通旋盤作業(基礎2級)	H29/4/25	山梨県職業能力開発協会	(株)吉田精工	高尾清利
	H29/10/19	〃	シチズンファインデバイス(株)	高尾清利
	H29/10/20	〃	〃	西村通喜
	H29/11/30	〃	(有)鈴木製作所	西村通喜
	H30/3/13	〃	(有)TAKASHIMA	高尾清利
機械加工・フライス盤作業(基礎2級)	H30/3/9	〃	(株)サンテクノ	西村通喜
金属熱処理	H29/8/27	〃	人材開発センター	深澤郷平
ダイカスト	H29/7/8	〃	(株)メッツ身延工場	佐野正明
ダイカスト	H29/7/29	〃	クリエイティブダイカスト(株)	佐野正明
水準調整会議(前期)	H29/5/30	〃	人材開発センター	佐野正明 深澤郷平
技能検定水準会議機械製図CAD	H29/11/29	〃	人材開発センター	坂本智明
帆布	H30/3/2	〃	(株)秋山縫製	金丸勝彦
山梨県クリーニング師試験				
第1回試験委員会	H29/7/12	福祉保健部	防災新館	渡辺 誠
第2回試験委員会	H29/11/2	〃	〃	渡辺 誠
公益財団法人やまなし産業支援機構 設備貸与事業				
第1回審査委員会	H29/4/27	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	石黒輝雄
第2回審査委員会	H29/5/30	〃	〃	石黒輝雄
第3回審査委員会	H29/6/29	〃	〃	石黒輝雄
第4回審査委員会	H29/7/28	〃	〃	石黒輝雄
第5回審査委員会	H29/8/31	〃	〃	石黒輝雄
第6回審査委員会	H29/9/29	〃	〃	石黒輝雄
第7回審査委員会	H29/10/27	〃	〃	石黒輝雄
第8回審査委員会	H29/11/30	〃	甲府技術支援センター	石黒輝雄
第9回審査委員会	H29/12/22	〃	アイメッセ山梨	石黒輝雄
第10回審査委員会	H30/2/2	〃	〃	石黒輝雄
第11回審査委員会	H30/3/2	〃	〃	石黒輝雄
地理の原産地表示使用管理委員会				
第40回審査会	H29/4/18	山梨県ワイン酒造組合	かいてらす	恩田 匠 長沼孝多
第41回審査会	H29/6/13	〃	〃	恩田 匠
第43回審査会	H29/10/31	〃	〃	恩田 匠
第47回審査会	H29/12/5	〃	〃	恩田 匠
第48回審査会	H30/1/24	〃	〃	恩田 匠
第50回審査会	H30/3/5	〃	〃	恩田 匠
美味しい甲斐開発プロジェクトチーム				
平成29年度第1回会議	H29/4/19	農政部	中小企業会館	阿部正人
平成29年度第2回会議	H29/6/23	〃	県庁	木村英生
平成29年度第3回会議	H29/9/8	〃	〃	木村英生
平成29年度第4回会議	H30/1/25	〃	〃	阿部正人

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者
山梨県溶接技術競技大会				
競技大会及び第6回山梨県高等学校溶接競技会	H29/6/10	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	手塚 伸 宮川和幸 佐野正明 早川 亮 石田正文 深澤郷平
外観審査	H29/6/12	"	"	宮川和幸 佐野正明 早川 亮 石田正文 深澤郷平
最終審査	H29/7/11	"	"	宮川和幸 佐野正明 早川 亮 石田正文 深澤郷平
表彰委員会	H29/7/14	"	山梨県鉄構会館	手塚 伸 宮川和幸 佐野正明
表彰式	H29/9/8	"	"	手塚 伸 宮川和幸 佐野正明
平成30年度第51回競技大会および第10回山梨県高等学校溶接競技会第1回合同会議	H30/2/16	"	"	宮川和幸 佐野正明
中小企業経営革新サポート事業「中小企業サポート連携拠点会議」				
第1回	H29/4/18	新産業・経営革新支援課	県庁	望月威夫
第2回	H29/5/16	"	"	望月威夫
第3回	H29/6/20	"	"	望月威夫
第4回	H29/7/19	"	"	勝又信行
第5回	H29/8/23	"	"	望月威夫
第6回	H29/9/19	"	"	望月威夫
第7回	H29/10/17	"	"	望月威夫
第8回	H29/11/21	"	"	望月威夫
第9回	H29/12/19	"	"	望月威夫
第10回	H30/1/16	"	"	望月威夫
第11回	H30/2/20	"	"	望月威夫
第12回委員会	H30/3/20	"	"	手塚 伸 岩間貴司 望月威夫
山梨県高等学校農業科教員と関係部局職員の見意見交換会				
笛吹高等学校	H29/6/14	高校教育課	笛吹高等学校	佐藤憲亮
農林高等学校	H29/9/19	高校教育課	農林高等学校	小松正和
山梨テクノICTメッセ2017				
第1回実行委員会	H29/6/14	山梨テクノICTメッセ2017実行委員会	ベルクラシック甲府	萩原 茂
オープニングセレモニー	H29/11/9	"	アイメッセ山梨	手塚 伸 深沢 修 依田正樹 阿部正人 佐野照雄 萩原 茂 岩間貴司 高尾清利
山梨テクノICTメッセ2017	H29/11/10～11	"	"	関係職員
ロボコンやまなし2017				
第1回実行委員会	H29/6/13	ロボコンやまなし実行委員会	アイメッセ山梨	手塚 伸 河野 裕 宮本博永 保坂秀彦 布施嘉裕 中込広幸
第2回実行委員会	H29/7/12	"	"	宮本博永 布施嘉裕 中込広幸
第3回実行委員会	H29/10/25	"	"	河野 裕 宮本博永 保坂秀彦 布施嘉裕 中込広幸
第4回実行委員会	H30/2/5	"	"	河野 裕 宮本博永 保坂秀彦 布施嘉裕 中込広幸 中村 卓
大会	H29/11/11	"	"	手塚 伸 河野 裕 宮本博永 保坂秀彦 布施嘉裕 中込広幸 中村 卓
甲州市ワイン品質審査会				
白ワイン部門	H29/6/7	甲州市	甲州市勝沼ぶどうの丘	恩田 匠 小嶋匡人
赤, ロゼ, 発泡ワイン部門	H29/6/14	"	"	恩田 匠 長沼孝多
平成29年度第1回ニューヴォーワイン	H29/9/27	"	"	恩田 匠 長沼孝多
平成29年度第2回ニューヴォーワイン	H29/10/30	"	"	恩田 匠 小嶋匡人
第24回甲州市ワイン品質審査会	H29/12/13	"	"	恩田 匠 長沼孝多
山梨みらいファンド審査委員会				
第1回審査委員会	H29/6/15	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	渡辺 誠 有泉直子
第2回審査委員会	H29/12/11	"	"	渡辺 誠 有泉直子
第3回審査委員会	H30/2/20	"	"	渡辺 誠

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者
Japan Wine Competition (日本ワインコンクール) 2017				
準備作業・審査会	H29/7/26~28	地域産業振興課	甲府富士屋ホテル	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人 勝又信行 木島一広 小松正和
第1回運営委員会	H29/6/28	日本ワイン実行委員会	ワインセンター	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人
15周年記念シンポジウム	H29/9/1	地域産業振興課	フルーツパーク富士屋ホテル	恩田 匠
表彰式・公開テイスティング	H29/9/2	〃	〃	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人
第2回運営委員会	H29/12/20	〃	〃	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人
合同会議	H30/2/21	〃	県庁	恩田 匠
産業振興事業費補助金				
第1回審査会	H29/7/12	産業労働部	甲府技術支援センター	高尾清利 八代浩二
第2回審査会	H29/11/2	〃	〃	高尾清利 八代浩二
第57回水晶彫刻新作展				
審査会	H29/10/26	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	深沢 修
開会式・表彰式	H29/10/27	〃	〃	深沢 修
中小企業外国出願支援事業				
第1回審査会	H29/7/4	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	萩原 茂
清酒貯蔵出荷管理技術相談及び甲斐の地酒等審査会	H29/7/19	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造協同組合	木村英生 小松正和 佐藤憲亮
山梨県酒造協同組合 地域資源活用事業認定委員会 審査会	H29/9/11	〃	〃	木村英生
山梨県ジュエリーマスター認定制度				
第1回認定委員会	H29/7/14	地域産業振興課	宝石美術専門学校	深沢 修
第1回試験実施委員会	H29/8/4	〃	〃	佐野照雄 鈴木文晃
第2回試験実施委員会	H29/10/6	〃	〃	宮川和博 鈴木文晃
第2回認定委員会	H29/10/27	ジュエリーマスター認定委員会	〃	深沢 修
認定試験	H29/12/9	地域産業振興課	〃	佐野照雄 宮川和博 鈴木文晃
第3回認定委員会	H29/12/12	ジュエリーマスター認定委員会	〃	深沢 修
勝沼ワイナリーズクラブ審査会				
第56回	H29/8/21	勝沼ワイナリーズクラブ	ワインセンター	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人
第57回	H30/3/20	〃	〃	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人
東京国税局酒類鑑評会	H29/10/3, 4, 6	東京国税局	東京国税局鑑定官室	小松正和 佐藤憲亮
平成29事務年度全国市販酒類調査品質評価	H30/3/1~2	東京国税局	東京国税局	小松正和 長沼孝多
平成29年度甲州系統選抜試験醸造ワイン評価会	H30/1/16	山梨県ワイン酒造組合	ワインセンター	恩田 匠 長沼孝多 小嶋匡人
山梨県発明協会理事会				
第1回会議	H29/5/26	(一社)山梨県発明協会	甲府技術支援センター	手塚 伸
第2回会議	H30/3/23	〃	〃	萩原 茂
通常総会	H29/6/15	〃	〃	深沢 修
山梨県ものづくり発明研究学会				
学会委員全体会議	H29/6/8	(一社)山梨県発明協会	中小企業人材開発センター	萩原 茂
セミナー	H29/10/5	〃	〃	萩原 茂
セミナー	H29/12/5	〃	〃	萩原 茂
全体会議	H30/3/15	〃	ニュー芙蓉	萩原 茂
夏の誘客観光ポスターデザインコンペ審査会	H29/6/13	(公社)やまなし観光推進機構	県庁	鈴木文晃
やまなしGAP推進事業認証マーク募集に係る説明会	H29/6/20	農政部農業技術課	県庁	佐藤博紀
「第41回ボランティア・NPO 活動推進月間」ポスター図案審査会	H29/11/9	県民生活・男女参画課	県庁	鈴木文晃
第47回信玄公祭りPR制作委託業者選考デザインコンペ審査会	H29/12/20	(公社)やまなし観光推進機構	県庁	鈴木文晃
モデル工場認定審査委員会				
第1回審査委員会	H29/12/5	山梨県商工会連合会	山梨県商工会連合会	金丸勝彦
現地審査	H30/3/6	〃	〃	金丸勝彦
第2回審査委員会	H30/3/19	〃	〃	金丸勝彦

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
自動車マグネシウム適用拡大委員会						
第12回委員会	H29/5/30	日本マグネシウム協会	京橋区民館	佐野正明		
第13回委員会	H29/9/14	"	東海理化 名古屋駅前 オフィス	佐野正明		
第14回委員会	H29/12/5	"	京橋区民館	佐野正明		
第15回委員会	H30/2/8	"	東海理化名古屋駅前 オフィス	佐野正明		
鑄造Gr (第3回)	H29/7/28	"	"	佐野正明		
鑄造Gr (第5回)	H29/10/5	"	"	佐野正明		
鑄造Gr中規模燃焼試験 (2回目)	H29/8/7~8	"	KNコーポレーション合 同会社	佐野正明		
鑄造Gr中規模燃焼試験 (3回目)	H29/10/30~31	"	"	佐野正明		
ビジネスモデル検討Gr会合	H30/3/6	"	甲府技術支援センター	佐野正明		
果樹試験場ワイン品質検討会	H29/12/6	果樹試験場	果樹試験場	長沼孝多	小嶋匡人	
ワインフロンティアリーダー養成プログラム						
第1回ワイン科学士認定委員会	H29/6/13	山梨大学	山梨大学ワイン科学研究 センター	恩田 匠		
第1回開発委員会	H29/11/15	山梨大学	山梨大学ワイン科学研究 センター	恩田 匠		
山梨ワイン産地確立推進連絡会議						
第4回	H29/5/29	果樹・6次産業振興課	果樹試験場	恩田 匠		
第5回	H29/8/30	"	"	恩田 匠		
第6回	H30/2/6	"	"	恩田 匠	長沼孝多	
山梨県原産地呼称日本酒認定制度						
第1回検討会	H29/5/16	山梨県酒造協同組合	ホテル談露館	木村英生	小松正和	
官能審査会	H30/3/15	"	山梨県酒造協同組合	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
委員会、認定式・お披露目	H30/3/23	"	県庁	深沢 修	木村英生	
甲府工業高校スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業						
第1回運営指導委員会	H29/7/25	教育委員会	甲府工業高等学校	手塚 伸		
第2回運営指導委員会	H30/2/10	"	"	深沢 修		
山梨県ニホンジカ有効活用協議会						
第2回協議会	H29/9/28	畜産課	県庁	串田賢一		
第3回協議会	H30/2/28	"	"	串田賢一		
巨摩野農業協同組合ロゴマークデザイン選考会						
第1回選考会	H30/1/24	巨摩野農業協同組合	(株)サンニチ印刷	串田賢一		
第2回選考会	H30/2/8	"	"	串田賢一		
第15回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～						
一次審査会	H30/1/24	やまなし観光推進機構	富士ビジターセンター	五十嵐哲也		
富士吉田ブランド評議委員会						
第1回評議委員会	H29/11/9	富士吉田商工会議所	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也		
第2回評議委員会	H29/12/14	富士吉田商工会議所	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也		
第3回評議委員会	H30/2/8	富士吉田商工会議所	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也		
審査会	H30/2/14	富士吉田商工会議所	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也		
ヤマナシハタオリトラベル						
会議	H29/5/18	ヤマナシハタオリトラベ ル	富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵	
展示支援	H29/5/26	ヤマナシハタオリトラベ ル	YBS本社	五十嵐哲也		
ハタオリマチのハタ印						
事業打合せ	H29/5/18	富士吉田市	富士吉田市役所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
尾州産地見学ツアー	H30/2/26	富士吉田市	愛知県 尾州産地	五十嵐哲也	宮川理恵	秋本梨恵
播州産地見学ツアー	H30/3/1~3/2	富士吉田市	兵庫県 播州産地	秋本梨恵		
山梨ハタオリ産地バスツアー	H30/3/5	富士吉田市	富士吉田産地	五十嵐哲也	秋本梨恵	
ジェトロ山梨販路開拓事業						
事業打合せ	H29/4/7	ジェトロ山梨	富士吉田織物協同組合	秋本梨恵		
テキスタイル海外販路開拓ワー クショップ&個別相談会	H29/4/14	"	富士技術支援センター	秋本梨恵		
事業打合せ	H29/6/8	"	富士吉田織物協同組合	秋本梨恵		
欧米向けテキスタイル輸出展示商 談会	H29/6/27	"	ホテル鐘山苑	依田正樹	五十嵐哲也	秋本梨恵
バイヤー招聘商談会フォローア ップミーティング	H29/8/8	"	富士技術支援センター	秋本梨恵		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者
富士山テキスタイルプロジェクト				
事業打合せ	H29/7/13	東京造形大学、産地織物企業	東京造形大学	秋本梨恵
産地見学	H29/8/4	〃	産地織物企業	五十嵐哲也 秋本梨恵
発会式	H29/8/5	〃	富士吉田商工会議所	依田正樹 五十嵐哲也 秋本梨恵
山梨県地ビール醸造者協議会 第1回総会研修会	H29/4/11	山梨県地ビール醸造者協議会	県庁	木村英生 小松正和 佐藤憲亮
山梨県ワイン酒造組合第63回通常総会	H29/6/20	ワイン酒造組合	かいてらす	手塚 伸 深沢 修 恩田 匠
第68回ジュエムストーンフェア in KOFU	H29/7/6	山梨県水晶宝飾協同組合	かいてらす	深沢 修
第45回山梨ワインナー協会定期総会	H29/8/23	山梨ワインナー協会	勝沼ぶどうの丘	手塚 伸 恩田 匠
北方四島交流事業	H29/10/8	北方領土協議会	ホテル甲斐路	恩田 匠
山梨大学ワインセミナー	H29/10/21	山梨大学	フクラシア品川クリスタルスクエア	恩田 匠
山梨県産業技術支援交流会2017	H29/10/18	(公社)日本技術士会	県立図書館	萩原 茂
ふじよしだフォーラム2017	H29/10/22	富士吉田市	富士吉田市民会館	五十嵐哲也
平成29年度山梨県起業化支援センター入居企業選考委員会	H29/8/29	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	八代浩二
日本ジュエリー協会 甲府懇親会	H29/10/3	日本ジュエリー協会	ホテル談露館	手塚 伸
山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	H29/10/6	山梨県酒造協同組合	防災新館	深沢 修
シルクサミットin富士吉田	H29/11/6	農研機構	富士Calm	五十嵐哲也
山梨県原産地呼称日本酒 認証官能審査	H29/11/24	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造協同組合	木村英生 小松正和 佐藤憲亮
テクノブリッジフェア2017inつくば	H29/10/19～20	(国研)産業技術総合研究所 イノベーション推進本部	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター	手塚 伸 萩原 茂 高尾清利
再生可能エネルギー安定利用の推進に係わる試験作業の協力	H29/11/6～9	企業局電気課	米倉山電力貯蔵研究サイト	河野 裕 木島一広
平成28年度地域新成長産業創出促進事業費補助金4県連絡会議、農業IoTとセンシング技術セミナー	H29/11/13	長野県工業技術総合センター	長野県工業技術総合センター	阿部正人 望月陽介
第2回地域イノベーションコーディネーター会議	H29/12/18～19	(国研)産業技術総合研究所 地域連携企画室	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	手塚 伸 萩原 茂 高尾清利
「やまなしジビエ×山梨ワインの魅力セミナー」	H30/1/17	畜産課	甲府富士屋ホテル	串田賢一
平成29年度「生徒研究発表会」及び「企業情報交換会 兼 拡大学院評議員会」	H30/2/6	韭崎工業高等学校	韭崎工業高等学校	手塚 伸
「やまなしユニバーサルデザイン表彰」選考委員会	H30/2/28	総合政策部	県庁	金丸勝彦
第111回酒類醸造講習(ワインコース)	H30/3/1	(独)酒類総合研究所	(独)酒類総合研究所	恩田 匠
CMMユーザーズクラブ講演会	H30/3/2	(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門	(地独)東京都立産業技術研究センター	米山 陽
「知財活用による商品開発主導型の産業振興モデル構築に向けた調査事業」報告会パネルディスカッション	H30/3/9	ゆいまーる沖繩(株)	沖縄県立博物館・美術館	五十嵐哲也
山梨県新酒鑑評会	H30/3/15	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造協同組合	木村英生 小松正和 佐藤憲亮
富士吉田市海外販路開拓事業	H30/3/17	富士吉田市	品川ビル	秋本梨恵
地理的表示「山梨」ワインシンポジウム GI Yamanashiを聴いて啣く集い	H30/3/24	東京国税局	ベルサーレ渋谷ファースト	恩田 匠

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
産学官連携・国関連事業					
総合理工学研究機構					
所属長等会議	H29/5/12	県庁	手塚 伸	深沢 修	依田正樹
第1回運営・評価委員会	H29/7/20	甲府技術支援センター	串田賢一		
地域イノベーションやまなし水素・燃料電池					
第2回運営・開発会議	H29/10/11	山梨大学	河西伸一		
第3回運営・開発会議	H29/11/2	〃	河西伸一		
第5回運営・開発会議	H30/1/19	〃	阿部正人		
第5回実務担当者会議	H30/1/31	〃	河西伸一	高尾清利	
第6回運営・開発会議	H30/2/15	〃	阿部正人		
第6回実務担当者会議	H30/2/22	〃	河西伸一		
第7回運営・開発会議	H30/3/23	〃	阿部正人		
第7回実務担当者会議	H30/3/27	〃	河西伸一		
やまなし産学官連携研究交流事業	H29/10/31	県立図書館	関係職員		
県関連事業					
医工連携医療機器等開発支援事業					
平成29年度医工連携医療機器等開発支援事業説明会	H29/7/13	県庁	河野 裕	山田博之	
開発テーマに関する会議・ニーズ提案者ヒアリング	H29/7/20	健康科学大学	山田博之		
	H29/9/14	〃	山田博之		
	H29/10/5	〃	山田博之		
	H29/10/12	健康科学大学 都留キャンパス	山田博之		
	H29/11/17	健康科学大学	山田博之		
国際品質規格認証取得セミナー～医療機器産業分野への参入・受注拡大～	H29/8/4	甲府技術支援センター	山田博之		
	H29/8/24	〃	山田博之		
	H29/9/1	〃	高尾清利	山田博之	
第1回医療機器等開発テーマ説明会	H29/8/8	山梨大学	高尾清利	山田博之	
第1回事業可能性評価委員会	H29/8/28	山梨大学	河野 裕	山田博之	
本郷展示・商談会事前調査	H29/9/27～28	(株)日本医工研究所 他	山田博之		
第2回医療機器等開発テーマ説明会	H29/10/24	健康科学大学	高尾清利	山田博之	
第2回事業可能性評価委員会	H29/11/14	山梨大学	高尾清利	河野 裕	山田博之
山梨県ものづくり企業と医療機器メーカーとの展示・商談会in本郷	H29/11/30	医科器械会館	手塚 伸	山田博之	
	H29/12/6	健康科学大学	山田博之		
	H29/12/7	〃	山田博之		
ニーズ提案者と企業との面談	H30/2/26	健康科学大学 産前産後ケアセンター	山田博之		
	H30/1/26	富士技術支援センター	山田博之		
健康科学大学ニーズマッチングに関する打合せ	H30/1/26	富士技術支援センター	山田博之		
医工連携セミナー	H30/3/9	山梨大学	河野 裕	山田博之	
第3回事業可能性評価委員会	H30/3/19	山梨大学	河野 裕	山田博之	
リフトオフ山梨	H30/2/14	オークマ(株)本社工場	西村通喜	米山 陽	鈴木大介
平成30年度機械振興補助事業（要望）説明会	H29/8/9	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	望月陽介		
補正予算事業の公募説明会（関東経済産業局）	H30/1/11	関東経済産業局	勝又信行		
組合関連事業					
第46回甲府ジュエリーフェアオープニングセレモニー	H29/4/5	アイメッセ山梨	手塚 伸 宮川和博	深沢 修	有泉直子
山梨県ワイン鑑評会	H29/4/13	ワインセンター	手塚 伸 小嶋匡人	恩田 匠	長沼孝多
平成29年度山梨青年工業会 定期総会	H29/4/20	常盤ホテル	手塚 伸		
山梨県味噌醤油工業協同組合 第69期通常総会	H29/5/17	魚保	手塚 伸	深沢 修	
西桂織物工業協同組合 第45回通常総会	H29/5/18	西桂町産業会館	依田正樹	渡辺 誠	
都留機械金属工業協同組合 第46回通常総会	H29/5/20	都留市 ふるや	高尾清利		
富士吉田織物協同組合 第67期通常総代会	H29/5/25	富士技術支援センター	依田正樹	渡辺 誠	
山梨県水晶宝飾協同組合 平成29年度第64回通常総会及び懇親会	H29/5/25	かいてらす	手塚 伸	深沢 修	宮川和博
大月織物工業協同組合 第67回通常総会	H29/5/26	大月織物会館	依田正樹	渡辺 誠	
山梨県絹人織物工業組合 第50回通常総代会	H29/5/29	富士技術支援センター	手塚 伸	依田正樹	渡辺 誠

会議名	期日	会場	出席者		
宝石貴金属協会 平成29年度総会	H29/5/29	甲府技術支援センター	深沢 修		
山梨県水晶美術彫刻協同組合 平成29年度第65回通常総会	H29/5/30	かいてらす	深沢 修		
山梨県菓子工業組合 第80回通常総会	H29/5/31	かいてらす	深沢 修	有泉直子	木村英生
山梨県建具組合 総会	H29/6/1	甲府技術支援センター	金丸勝彦		
(一社)山梨県機械電子工業会 平成29年度通常総会に伴う表彰式典及び懇親会	H29/6/14	ベルクラシック甲府	手塚 伸	深沢 修	依田正樹
			阿部正人	佐野照雄	萩原 茂
			岩間貴司		
山梨県ワイン酒造組合 第63回通常総会	H29/6/20	かいてらす	手塚 伸	深沢 修	恩田 匠
(一社)山梨県発明協会 平成29年度総会	H29/6/15	甲府技術支援センター	深沢 修		
第68回ジェムストーンフェア in KOFU 開会式	H29/7/6	かいてらす	深沢 修		
第10回山梨大学ワイン科学士認定証書授与式	H29/7/18	山梨大学	手塚 伸	恩田 匠	
勝沼ワイン140年記念事業開催セレモニー	H29/8/25	甲州市近代産業遺産「宮光園」	深沢 修	恩田 匠	
山梨県水晶宝飾協同組合 定例理事会	H29/7/3	甲府商工会議所	宮川和博		
	H29/10/2	かいてらす	宮川和博		
	H30/2/5	〃	宮川和博		
山梨県酒造協同組合 品質向上委員会 勉強会	H29/9/8	甲府商工会議所	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
山梨県酒造協同組合 地域資源活用事業認定委員会 審査会	H29/9/11	山梨県酒造協同組合	木村英生		
ふじ山チビッ子発明博士認定制度事業の表彰式	H29/10/15	県庁	深沢 修		
甲府商工会議所・山梨県経営者協会・山梨経済同友会	H30/1/5	甲府富士屋ホテル	手塚 伸		
山梨県水晶宝飾協同組合 新年互礼会	H30/1/9	ホテル談露館	手塚 伸		
山梨県商工会連合会 平成30年新年互礼会	H30/1/10	アビオ甲府	手塚 伸		
富士吉田商工会議所 平成30年新年賀詞交歓会	H30/1/11	ハイランドリゾートホテル&スパ	手塚 伸		
(一社)山梨県鉄構溶接協会 新年互礼会	H30/1/30	アビオ甲府	手塚 伸	宮川和幸	佐野正明
山梨県漬物協同組合 新春賀詞交歓会	H30/1/30	古名屋ホテル	手塚 伸	木村英生	
(一社)山梨県機械電子工業会 新春トップセミナー及び賀詞交歓会	H30/1/24	ベルクラシック甲府	手塚 伸	深沢 修	依田正樹
			阿部正人	佐野照雄	萩原 茂
			岩間貴司		
その他					
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会					
企業見学会	H29/6/8	富士電機(株)山梨製作所	高尾清利		
ワーキンググループ合同会議	H29/9/26	山梨大学	河野 裕	高尾清利	
	H30/3/16	山梨大学	八代浩二 河西伸一	河野 裕	宮川和幸
平成29年度第1回会議	H29/10/12	山梨大学	手塚 伸		
平成29年度第2回水素・燃料電池関連部品セミナー	H29/10/17	富士吉田合同庁舎	高尾清利		
平成29年度第2回会議	H30/3/28	山梨大学	手塚 伸		
燃料電池関連					
燃料電池関連製品開発及び医療機器設計開発人材養成講座開講式	H29/4/15	山梨大学	手塚 伸		
電気化学セミナー	H29/5/18	東京理科大学神楽坂キャンパス	三神武文		
燃料電池の測定・評価法 2017 技術セミナー	H29/5/24	(株)東陽テクニカ 本社	清水章良		
FCDIC第24回燃料電池シンポジウム	H29/5/25, 26	タワーホール船堀	大丸明正	三神武文	清水章良
			荻野敏一		
燃料電池電極用触媒インク作製装置の検討	H29/6/1	(株)シンキー アプリケーションラボ	大丸明正		
山梨燃料電池産業化推進会議 産学官連携戦略専門部会	H29/6/21	県庁	阿部正人		
NEDO技術委員会に向けた検討会	H29/8/1	JARI東京事務所	大丸明正	三神武文	
平成29年度 FCDIC総会・研究会・交流会	H29/8/24	東海大学校交友会館	手塚 伸		
水素・燃料電池関連施設見学会	H29/8/31	東京ガス千住テクノステーション	荻野敏一	藤巻利幸	
NEDO技術委員会	H29/9/5	NEDO本部	大丸明正	三神武文	
平成29年度NEDO成果報告会	H29/9/19, 20	パシフィコ横浜	大丸明正	宮川和幸	三神武文
			清水章良	荻野敏一	藤巻利幸
NEDO研究評価委員会(中間評価)	H29/10/20	WTCコンファレンスセンター	三神武文		
山梨燃料電池産業化推進会議	H29/10/27	県庁	手塚 伸		
第16回燃料電池基盤技術研究懇話会	H29/10/30	富士Calm人材開発センター	大丸明正	三神武文	

会議名	期日	会場	出席者		
FC-Cubic技術交流会	H29/12/12	タイム24ビル	大丸明正	萩原 茂	三神武文
			清水章良	荻野敏一	藤巻利幸
コアシェル触媒に関する打ち合わせについて	H29/12/12	同志社大学	大丸明正	三神武文	
評価解析合同会議	H29/12/25	日本自動車研究所	大丸明正	三神武文	
水素・燃料電池関連県内施設見学会	H30/1/11	夢ソーラー館やまなし、HySUT 水素エネルギー技術センター、 他	荻野敏一	藤巻利幸	
水素関連技術に係る情報収集	H30/2/5, 6	(公財)水素エネルギー製品研究 試験センター、長州産業(株)	宮川和幸		
水素社会に向けた「山梨燃料電池バレー」の創生 第6回運営・開発会議	H30/2/15	山梨大学	阿部正人		
国際水素・燃料電池展 ～FC-EXPO 2018～	H30/2/28	東京ビッグサイト	三神武文	清水章良	
	H30/3/1		大丸明正	三神武文	荻野敏一
	H30/3/2		宮川和幸	藤巻利幸	
燃料電池関連製品開発人材養成講座 成果報告 会・閉講式	H30/2/8, 10	山梨大学	手塚 伸	宮川和幸	阿部正人
戦略的基盤技術高度化支援事業					
公募説明会・個別相談会	H29/4/28	さいたま新都心合同庁舎1号館	宮川和幸		
第一回研究推進会議	H29/10/5	甲府技術支援センター	手塚 伸	宮川和幸	深澤郷平
第二回研究推進会議	H29/12/25	藤精機(株)	宮川和幸		
研究打合せ	H29/11/1	ドウトゥールビル	宮川和幸		
研究打合せ	H29/11/6	(国研)産業技術総合研究所つく ばセンター	宮川和幸	古屋雅章	
中間評価ヒアリング	H30/1/24	TKP新橋カンファレンスセンター	宮川和幸		
第三回研究推進会議	H30/2/20	ドウトゥールビル	宮川和幸		
若手醸造家・農家研究会					
醸造部会セミナー	H29/4/4	山梨市民会館	長沼孝多	小嶋匡人	
〃	H29/5/20	〃	長沼孝多		
キャノピーマネジメント講習	H29/4/28	圃場	長沼孝多	小嶋匡人	
革新的技術開発・緊急展開事業(農水プロジェクト)					
試験設計検討会	H29/5/8	TKP東京駅前会議室	恩田 匠		
研究計画ヒアリング	H29/5/30	TKP上野駅前ビジネスセンター	恩田 匠		
スパークリングワイン部門 進捗状況打合せ	H29/6/23	(独)酒類総合研究所	恩田 匠		
平成29年度研究テーマ別検討会	H29/7/11～13	富良野市ぶどう果樹研究所、池 田町ブドウ・ブドウ酒研究所	恩田 匠		
平成29年度現地検討会	H29/8/31	果樹試験場他	深沢 修	阿部正人	恩田 匠
中間検討会	H29/12/11	山梨大学	恩田 匠		
体系別検討会・評議委員会	H29/12/19	ビジョンセンター浜松町	恩田 匠		
(一社)日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会					
第458回	H29/4/11	東部地区溶接技術委員会中央検 定場	宮川和幸		
第459回	H29/5/9	〃	宮川和幸		
第460回	H29/6/6	〃	宮川和幸		
第461回地方委員会	H29/6/23, 24	満ちてくる心の宿 吉夢	宮川和幸		
第462回	H29/7/11	東部地区溶接技術委員会中央検 定場	宮川和幸		
第463回	H29/8/8	〃	宮川和幸		
第464回	H29/9/12	〃	宮川和幸		
第466回	H29/11/7	〃	宮川和幸		
第467回	H29/12/5	〃	宮川和幸		
第468回	H30/1/11	〃	宮川和幸		
第470回	H30/3/13	〃	宮川和幸		

会議名	期日	会場	出席者		
テクノネット「ふじざくら」					
幹事会	H29/5/25	富士技術支援センター	依田正樹 西村通喜	高尾清利	山田博之
総会	H29/7/19	富士技術支援センター	依田正樹	高尾清利	山田博之
第1回講演会	H29/7/19	富士技術支援センター	手塚 伸	深沢 修	萩原 茂
			依田正樹	佐野照雄	高尾清利
			山田博之	西村通喜	阿部 治
			尾形正岐	古屋雅章	長田和真
望月威夫	深澤郷平				
見学会「難加工技術展2017」「表面改質展2017」	H29/9/7	パシフィコ横浜	依田正樹 古屋雅章	高尾清利	山田博之
視察研修	H30/2/26, 27	ファルマバレーセンター、ヤマハ発動機他	佐野照雄	高尾清利	山田博之
第2回講演会	H30/3/19	富士技術支援センター	依田正樹	高尾清利	阿部 治
			西村通喜	尾形正岐	古屋雅章
			長田和真	宮川理恵	塩澤佑一朗
			坂本智明		
小規模ワイナリー重点支援事業打合せ	H29/4/14	山梨県ワイン酒造組合	恩田 匠		
	H29/6/5	〃	恩田 匠		
	H29/8/7	〃	恩田 匠		
	H29/11/15	〃	恩田 匠		
	H30/3/16	〃	恩田 匠		
JKA補助金事業事務手続に関する説明会	H29/4/13	アルカディア市ヶ谷	望月陽介		
Knit material fair	H29/4/20	笛吹市スコレーセンター	五十嵐哲也	上垣良信	塩澤佑一朗
	H29/4/21	笛吹市スコレーセンター	宮川理恵		
MGVs (マグヴィス) ワイナリー開所式	H29/4/21	(株)塩山製作所 勝沼事業所 MGVsワイナリー	手塚 伸	恩田 匠	串田賢一
第8回関東甲信越高校生溶接コンクール見学会	H29/4/22	神戸製鉄藤沢工場	宮川和幸		
東京大学 生産技術研究所ガイドツアー2017	H29/6/1	東京大学 駒場Ⅱキャンパス	寺澤章裕		
(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 オープニングイベント	H29/7/4	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	手塚 伸 勝又信行	深沢 修 望月陽介	佐野照雄
ザクロ果実栽培・利用研究会 総会・研修会	H29/7/7	男女共同参画推進センター	木村英生		
信州大学繊維学部 訪問	H29/8/28	信州大学繊維学部	手塚 伸	高尾清利	渡辺 誠
			五十嵐哲也	宮川理恵	西村通喜
			尾形正岐	秋本梨恵	塩澤佑一朗
デジタルヒューマン技術協議会	H29/8/29	(国研)産業技術総合研究所 臨海副都心センター	鈴木文晃		
情報システムに係る開発協議等に関する説明会	H29/7/18	県庁	望月陽介		
SpaceClaim技術トレーニング	H29/8/2	サイバネットシステム(株)セミナールーム	佐藤博紀		
医療機器設計開発人材養成講座夏期情報交換会	H29/9/5	山梨大学 医学部キャンパス	手塚 伸		
平成29年度医療機器設計開発人材養成講座	H29/9/8	GEヘルスケア・ジャパン(株)	山田博之		
技術セミナー「鉄鋼材料とその熱処理」第2回	H29/9/8	(地独)東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ	深澤郷平		
CNF技術セミナーの実施に係る打合せ	H29/9/28	関東経済産業局 地域経済部産業技術課	手塚 伸	萩原 茂	
第18回表面処理分科会例会	H29/9/29	京橋区民館	三井由香里		
2017年度3D TIMONお客様交流会	H29/10/6	東京コンファレンスセンター・品川	阿部 治		
標準化と品質管理 全国大会2017	H29/10/11	都市センターホテル	宮川和博		
第62回全国酒造技術指導機関合同会議	H29/10/13	中央合同庁舎	恩田 匠	小松正和	
平成29年度技術者育成セミナー「金属材料コース」	H29/10/25	九州大学伊都キャンパス	深澤郷平		
第40回やまなし経営革新交流会	H29/10/30	ホテル談露館	萩原義人		
平成29年度第5回技術講演会「マグネシウムの世界市場動向」	H29/11/10	機械振興会館	三井由香里		
シルクサミットサミットin富士吉田	H29/11/6	富士Calm	渡辺 誠	宮川理恵	

会議名	期日	会場	出席者		
職員研修計画にもとづく職員研修の打ち合わせ	H29/11/20	(国研)産業技術総合研究所 臨海副都心センター	金丸勝彦	佐藤博紀	
東京国税局 平成29年酒類鑑評会 製造技術研究会	H29/11/8	東京国税局	小松正和	佐藤憲亮	
JICA中小企業海外展開支援セミナー	H29/11/16	富士吉田市商工会議所	渡辺 誠		
第13回Fii交流会	H29/11/16	信州大学繊維学部	宮川理恵		
PUCA2017 -ESI User's Forum Japan-	H29/11/16	ヒルトン東京	鈴木大介	寺澤章裕	
山梨科学アカデミー交流大会	H29/5/29	ベルクラシック甲府	依田正樹	佐野照雄	
	H29/11/27		依田正樹	佐野照雄	萩原 茂
平成29年度ウェアリング技術研究成果発表会	H29/11/28	メルパルク東京	佐藤貴裕		
取引適正化のための説明会	H29/12/8	富士技術支援センター	渡辺 誠	宮川理恵	上垣良信
			塩澤佑一朗		
第43回ワイン鑑評会事前打ち合わせ	H29/12/13	ワインセンター	恩田 匠		
補正予算事業の公募説明会	H30/1/11	関東経済産業局	勝又信行		
平成29年度東京大学地域振興研究会総会	H30/1/12	東京大学本郷キャンパス	高尾清利		
IoT導入支援セミナー	H30/2/1	ピュア総合	西村通喜	中村 卓	
藤精機株式会社 新工場竣工式	H30/2/28	藤精機(株)新工場	手塚 伸	萩原 茂	
洋酒技術研究会2月例会	H30/2/14	北とびあ	恩田 匠		
遺伝子組換えカイコに関する勉強会	H30/2/23	農林水産省	渡辺 誠		
東北・関東広域連携医療機器関連産業強化コンソーシアム 第4回連絡会	H30/2/26~27	福島ハイテクプラザ	手塚 伸	高尾清利	
山梨県立産業技術短期大学 交流会	H30/3/9	ベルクラシック甲府	深沢 修		
A-STEP H30公募説明会	H30/3/16	JST東京本部別館	望月威夫		
平成29年度静岡県工業技術研究所研究発表会	H30/3/16	静岡県コンベンションアーツセンター	芦澤里樹		
山梨大学COC事業成果報告	H30/3/19	山梨大学	萩原 茂		
ANSYS 19.0アップデートセミナー	H30/3/27	富士ソフトアキバプラザ	坂本智明		

報道関係

(1) テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	県内の宝飾品をPR 甲府ジュエリーフェア	NHK 甲府放送局	H29/4/6
2	県産ワイン鑑評会 県産ワイン品質向上へ	NHK 甲府放送局	H29/4/13
3	産業技術センター 研究成果を発表	NHK 甲府放送局	H29/4/26
4	甲州市でワイン審査会	NHK 甲府放送局	H29/6/7
5	甲州市で白ワイン審査会 辛口・柑橘系の香り増加	UTY 甲府放送局	H29/6/7
6	白ワインの品質審査	YBS 山梨放送	H29/6/7
7	季節のフルーツいかして和菓子づくりの講習会	NHK 甲府放送局	H29/8/29
8	産業技術センターの活動と富士山酵母について 番組名：はみだししゃべくりラジオ キックス	山梨放送ラジオ	H29/9/5
9	「研究開発支援棟」起工式	UTY 甲府放送局	H29/9/19
10	新酒ワインの審査会 甲州市推奨に18点	UTY 甲府放送局	H29/9/27
11	新酒ワイン 甲州市内の9ワイナリーが21点を出品	UTY 甲府放送局	H29/9/27
12	新酒ワイン品質審査会	YBS 山梨放送	H29/9/27
13	ことし仕込んだワイン品質審査会	NHK 甲府放送局	H29/9/27
14	ノルウェーのデザイナー T.Michael 氏 県内織物工場訪問	NHK 甲府放送局	H29/10/26
15	16社から35点出品 新酒ワイン審査会 甲州・ぶどうの丘	UTY 甲府放送局	H29/10/30
16	ワイン王国最前線 発泡性ワインで世界を	NHK 甲府放送局	H29/10/30
17	シルクサミット in 富士吉田	NHK 甲府放送局	H29/11/6
18	甲州市勝沼でことし最後のワイン審査会	NHK 甲府放送局	H29/12/13
19	東京五輪・パラの乾杯用に技術開発中のワイン瓶詰め	NHK 甲府放送局	H30/3/8
20	出来栄えは 日本酒の新酒鑑評会	NHK 甲府放送局	H30/3/15
21	認定に向け「県産日本酒」の審査会	YBS 山梨放送	H30/3/15
22	“瓶の中で発酵”出来栄えは	NHK 甲府放送局	H30/3/22
23	県が試験醸造 スパークリングワイン評価会 伝統的製法で県が45種試作	UTY 甲府放送局	H30/3/22
24	発泡性ワインを評価	YBS 山梨放送局	H30/3/22

(2) 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	51社のワイン香りや味審査 甲州で鑑評会	山梨日日新聞	H29/4/14
2	鑑評会「バランスいい」	朝日新聞	H29/4/14
3	県産ワインお味は？ 甲州で鑑評会	読売新聞	H29/4/14
4	「酸味と味にバランス」 県産ワイン鑑評会に82銘柄	産経新聞	H29/4/14
5	甲州印伝に県産の鹿皮 甲府の山本 女性向け小物も開発 地場産品の付加価値向上	山梨日日新聞	H29/4/19
6	白の鹿革で印伝 駆除にも一役 県産業技術センターが業者と試作 「珍しさアピール」製品化へ	産経新聞	H29/4/28
7	ロゼスパークリング開発に意欲 新ワイン世界へ発信 今年度から県 瓶内2次発酵法を採用	毎日新聞	H29/5/22
8	女性の流行、ニーズ解説 16日、甲府でセミナー 県「商品開発の参考に」	山梨日日新聞	H29/6/6
9	ワインの技術年々向上 甲州市で審査会 27社から89点出品	産経新聞	H29/6/8
10	甲州市産ワイン 香りや味を審査 26社が88点出品	山梨日日新聞	H29/6/15
11	明野のひまわりで手漉き和紙 山十製紙と県産技センター、北杜で試験販売	産経新聞	H29/7/1
12	シカの活用へ協議会 県が有識者募り設置 肉や革製品ブランド化	読売新聞	H29/7/12
13	清酒「呑み切り」出来栄えを確認 県酒造組合	山梨日日新聞	H29/7/20
14	五輪へ特性スパークリング 県産業技術センター 仕込みスタート	産経新聞	H29/9/12
15	富士吉田 研究開発施設に着工 県繊維や医療産業支援	山梨日日新聞	H29/9/20
16	「県富士技術支援センター研究開発支援棟が起工」	山梨建設新聞	H29/9/21
17	五輪「祝杯用」実現へ着々 県ワインセンター	山梨日日新聞	H29/9/26
18	山梨県甲州市でワイン審査会 早生系仕上がりよし	日本農業新聞	H29/9/28
19	今年のワイン品質は!?勝沼でヌーヴォー審査会 山梨	産経新聞	H29/9/28
20	宝飾用ヤスリ握りやすく 県産業センター 研究重ね試作品	山梨日日新聞	H29/10/20
21	絹織物業の今昔 展望 富士吉田 全国サミットに100人 研究者ら技術継承、発展探る	山梨日日新聞	H29/11/7
22	自律走行ロボット開発 官学3研究機関 災害時の活用期待	山梨日日新聞	H29/11/16

	題目	名称等	年月日
23	創造のためのアーカイブ ローカリティーを価値の源泉に	デザイン誌「AXIS」 Vol. 190	H29/12
24	間引かず発泡 酸味生かす 本場仕込みの瓶内発酵	朝日新聞	H30/1/3
25	社会学者・上野さん 伝統産業振興語る 甲府で11日に講習会	山梨日日新聞	H30/1/5
26	上野千鶴子さん「伝統産業」語る	山梨日日新聞	H30/1/19
27	「祝杯酒」発泡ワイン瓶詰め 東京五輪へ開発全力 甲州で県	山梨日日新聞	H30/2/2
28	五輪への思い瓶詰め 県ワインセンター祝杯酒向け研究	山梨日日新聞	H30/2/4
29	印伝は誇り。 -新しい印伝を探求する若き伝統工芸士の挑戦-	山梨てくてく Vol. 10	H30/2/1
30	崩落 IoT で観測 県と4社 災害防止へ機器開発	山梨日日新聞	H30/2/24
31	県産業技術の活用企業募集	産経新聞	H30/3/5
32	引きこもらない、公務員-富士山のふもとで布職人をまもる方法	70seeds	H30/3/12
33	純県産の日本酒初審査 7銘柄 味・香り確認	山梨日日新聞	H30/3/15
34	県技術センター成果披露 発泡ワイン 醸造家が評価	山梨日日新聞	H30/3/23
35	人手不足の切り札!?人と協働する先進技術	山梨新報	H30/3/23
36	桃に図柄くっきり 県が手法考案 ブランド価値高める	山梨日日新聞	H30/3/25

職員の資質向上

1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
デザイン技術部 研究員 佐藤博紀	宝飾品における三次元データ修正に関する研究-スケール変更におけるデフォルメについて-	(国研)産業技術総合研究所	H29/11/20～ H30/2/20
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 芦澤里樹	ブドウ由来バイオマスを原料としたセルロースナノファイバーの調製とその応用	(国研)産業技術総合研究所	H30/1/25～ H30/2/23
山梨大学との共同研究			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 樋口かよ	山梨県産の桑の葉茶の安全性・有効性に関する研究	山梨大学	H29/7/3～ H30/3/31
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 研究員 望月陽介	知的財産権研修(初級)	(独)工業所有権情報・研修館	H29/7/11～7/14
中小企業支援担当者等研修			
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 早川亮	製造業の成長市場への参入支援	(独)中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	H29/12/13～12/15
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 尾形美貴	公設試験研究機関研究職員研修(座学)	(独)中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	H30/1/9～1/12
機械電子技術部 素材料科 研究員 長田和真	公設試験研究機関研究職員研修(座学)	(独)中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	H30/1/9～1/12
企画連携推進部 企画・情報科 主任研究員 勝又信行	生産現場改善支援の進め方	(独)中小企業基盤整備機構 経営基盤支援部 中小企業大学校東京校	H30/1/22～1/26
基礎技術研修			
化学・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 佐藤貴裕	分析化学基礎セミナー	弘済会館	H29/6/26～27
繊維技術部 製品開発科 技師 塩澤佑一朗	繊維学会夏季セミナー	ぎふメディアコスモス	H29/8/8
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 佐藤 憲亮	清酒官能評価セミナー	(独)酒類総合研究所	H29/9/12～15
機械技術部 技術支援科 主任研究員 五十嵐哲也 研究員 秋本梨恵	TREND UNION 2019SSシーズンセミナー	CLASKA	H29/10/26
繊維技術部 技術支援科 主任研究員 五十嵐哲也 研究員 秋本梨恵	テキスタイル産地ネットワーク	明祥ビル	H29/11/1～11/2
機械電子技術部 機械電子科 研究員 尾形正岐	電離放射線障害防止規則 透過写真撮影業務に係る特別の教育	(株)島津アクセス東京支店	H29/12/21
機械電子技術部 機械電子科 主任研究員 阿部治	電離放射線障害防止規則 透過写真撮影業務に係る特別の教育	(株)島津アクセス東京支店	H29/12/22
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 深澤郷平	実習で学ぶ浸炭・窒化・高周波などの熱処理技術	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター	H30/2/7～9
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 早川亮 研究員 深澤郷平 機械電子技術部 素材料科 研究員 古屋雅章	電離放射線障害防止規則 透過写真撮影業務に係る特別の教育	(株)島津製作所東京支店	H30/3/5

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
県内民間企業研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 佐藤 憲亮	ものづくり研修	山梨銘醸(株)	H29/12/11～15
繊維産業品質強化支援事業			
繊維技術部 製品開発科 主任研究員 宮川 理恵	テキスタイルカレッジ (染色加工)	大阪科学技術センタービル	H29/10/6
繊維技術部 製品開発科 技師 塩澤佑一朗	GCMS操作講習会	(株)島津製作所 秦野工場	H30/2/21, 22
山梨大学大学院工学研究科博士後期課程研修			
企画連携推進部 総合相談・連携推進科 主任研究員 望月威夫	—	—	H29/4/1～ H29/9/30
繊維技術部 技術支援科 主任研究員 五十嵐哲也	—	—	H29/4/1～ H30/3/31
デザイン技術部 主任研究員 串田賢一	—	—	H29/4/1～ H30/3/31
機械技術部 研究員 米山陽	—	—	H29/4/1～ H30/3/31

2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
繊維技術部 製品開発科 技師 塩澤佑一朗	新任職員研修	職員研修所他	H29/4/5, 4/6, 4/10, 4/11, 4/24, 5/18, 5/19, 7/5~7, 7/24, 8/22, 9/11, 9/29
ワイン技術部 研究員 長沼孝多	小規模ボイラー取扱技能講習会	リバース和戸	H29/4/22, 23
繊維技術部 主幹研究員・部長 渡辺誠 材料・燃料電池技術部 主幹研究員・部長 宮川和幸	新任課長補佐・出先課長研修	職員研修所	H29/5/23
電子・システム技術部 部長 河野裕 ワイン技術部 主幹研究員・部長 恩田匠			H29/5/24
企画連携推進部 主幹研究員・部長 八代浩二 食品酒類・研磨宝飾技術部 主幹研究員・部長 有泉直子			H29/5/25
繊維技術部 主幹研究員・部長 渡辺誠 材料・燃料電池技術部 主幹研究員・部長 宮川和幸 電子・システム技術部 部長 河野裕 企画連携推進部 主幹研究員・部長 八代浩二			H29/7/12
食品酒類・研磨宝飾技術部 主幹研究員・部長 有泉直子			H29/7/13
食品酒類・研磨宝飾技術部 主幹研究員・部長 有泉直子 食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 尾形美貴	市町村職員のための英語対応研修	自治会館	H29/6/2, 6/16, 6/30, 7/14
食品酒類・研磨宝飾技術部 主幹研究員・部長 有泉直子	平成29年度安全衛生推進者等研修会	県庁	H29/6/6
機械技術部 研究員 寺澤章裕	新任副主査研修	職員研修所	H29/6/6
ワイン技術部 研究員 長沼孝多	酒税法等に関する研修会	山梨市民会館	H29/6/16
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 保坂秀彦 材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 石田正文	能力開発研修「明日から使える！契約事務」	職員研修所	H29/6/19
ワイン技術部 主幹研究員・部長 恩田匠	酒類販売管理研修	びゅあ総合	H29/7/3
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 中込広幸	はんだ付け検定・講習2級(鉛フリー)	高度ポリテクセン ター	H29/7/6, 7
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小松正和	モッツァレラチーズ製造講習	フロマージュ・ デュ・テロワール	H29/7/15, 16
機械技術部 研究員 坂本智明 非常勤嘱託 神澤隆彦	玉掛け技能講習	(公社)ボイラ・ク レーン安全協会	H29/7/27, 28, 30
デザイン技術部 部長 金丸勝彦	能力開発研修「マスメディア対応研修」	県庁	H29/8/2
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 林善永	新任主任研修・政策形成能力向上研修 I	職員研修所	H29/8/24, 25
機械技術部 研究員 坂本智明	新任主任研修・政策形成能力向上研修 I	職員研修所	H29/9/19~20
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 深澤郷平	技術セミナー「鉄鋼材料とその熱処理」	(地独)東京都立産 業技術研究セン ター	H28/9/8

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 石田正文 研究員 深澤郷平	技術者育成セミナー「金属材料コース」	九州大学伊都キャンパス	H29/10/25
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 佐藤貴裕 電子・システム技術部 システム開発科 研究員 中込広幸	主事・技師研修	自治会館	H29/10/30
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主幹研究員 佐野正明 材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 三井由香里	能力開発研修「山梨の今を読む～山梨県の産業構造および経済情勢について～」	職員研修所	H29/11/15
電子・システム技術部 電子応用科 研究員 清水章良	「ネットワークアナライザでできること 測定の基礎～実践活用法」	浜松工業技術支援センター	H29/11/22
デザイン技術部 部長 金丸勝彦	能力開発研修「経済記事の読み方と経済知識」	自治会館	H29/11/24
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 樋口かよ	魅せる資料のつくり方	山梨大学	H30/1/30
企画連携推進部 企画・情報科 研究員 望月陽介	公設試職員向け知財セミナー	発明会館	H30/2/2
機械電子技術部 主幹研究員・部長 高尾清利	ハードクレーム対応研修	職員研修所	H30/2/5
企画連携推進部 企画・情報科 研究員 望月陽介	標準化活用支援パートナー機関向け 新市場創出のための標準化セミナー	TKP東京駅大手町カンファレンスセンター	H30/2/16

学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
マスト発酵中のカルボニル化合物について	日本醸造協会	技術賞	渡辺正平 乙黒親男 加美 久	S56/9/10
酸素吸収剤による食品の鮮度保持技術とその評価	日本包装技術協会	優秀包装文献賞	小宮山美弘	S60/6/14
スモモ果実の品質保持及び利用に関する生化学的研究	日本食品工業学会	研究奨励賞	小宮山美弘	S61/4/18
スモモ果実の成熟、貯蔵、利用における成分特性とその挙動に関する研究	日本果汁協会	技術賞	小宮山美弘	S63/6/10
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勤助）	（社）溶接協会	溶接技術奨励賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H1/4/24
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勤助）	平成6年度関東地方発明表彰	関東通商産業局長賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H6/10/20
ツーピース	第32回全国繊維技術展	通商産業省生活産業局長賞	ニット・縫製科	H6/10/30
ニットスーツ	第32回全国繊維技術展	技術振興賞	ニット・縫製科	H6/10/30
形状モデリングシステム	ニコグラフ展	プロセス賞	清水誠司 河西伸一 平川寛之 萩原 茂 阿部正人 井上陽介	H6/11/15
小ウメ果実の塩蔵中における硬度保持機構に関する研究	日本食品保蔵科学会	学会賞	乙黒親男	H7/6/3
梅漬けの硬度保持機構とその製造技術の開発	（財）山梨科学アカデミー	奨励賞	乙黒親男	H8/6/5
婦人ニットキュロットスーツ	第34回全国繊維技術展	工業技術院賞	ニット・縫製科	H8/6/19
表面処理金型鋼の残留応力に及ぼす熱サイクルの影響	日本ダイカスト協会	小野田賞	日原政彦 八代浩二 佐野正明 増沢隆久	H9/5/22
スモモ果実の高温下での品質保持に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	辻 政雄	H9/5/24
ワッシャー加工婦人アンサンブル	第36回全国繊維技術展	工業技術院物質工学工業研究所長賞	ニット・縫製科	H10/10/26
セラミックスと活性金属ろうとの接合界面挙動解析	（財）山梨科学アカデミー	奨励賞	斎藤 修	H11/11/29

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
Influence of re-nitriding for thermal fatigue properties on nitrided hot work die steel	2001 DENVER X-RAY CONFERENCE XRD Poster Award	Poster Award	八代浩二 佐野正明 日原政彦 倉元眞實	H13/8/1
ICP-MS、CVおよびEQCM法を用いた極微量アトーム触媒の析出状態	(社) 表面技術協会	平成14年度表面技術協会進歩賞	有泉直子	H14/2/27
高速ターリング焼きバメ用誘導加熱装置 (MEGA HEATER)	(財) あさひ中小企業財団・(株) 日刊工業新聞社	第14回中小企業新技術・新製品賞	橘田鉄雄	H14/6/10
食品の品質管理への近赤外分光分析法の応用に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	恩田 匠	H14/6/28
耐食性貴金属素材及びその製造方法とその貴金属製品	全国中小企業団体中央会	奨励賞	中山信一 佐野照雄 宮川和博	H14/9/27
ラピッドプロトタイピングによる義肢ソケットの直接造形	第4回日本福祉工学会	論文賞	萩原 茂 河西伸一 石田正文 清水誠司 木島一広 大柴勝彦	H14/11/30
山梨県の新しいデザイン産業・ビジネスモデルづくり	(財) 日本産業デザイン振興会	新領域部門グッドデザイン賞	工業技術センター	H15/10/30
レーザーソグラフィを用いた模型の造形装置	(社) 発明協会	平成15年度関東地方発明表彰山梨県知事賞	萩原 茂	H15/11/5
安全かつ高品質味噌醸造のための微生物学的解析とバクテリオンシン産生乳酸菌に関する研究	(財) 山梨科学アカデミー	奨励賞	恩田 匠	H18/5/29
フォトリソグラフィとアノード酸化を利用したAl薄膜の表面加工	(社) 表面技術協会	平成20年度表面技術協会進歩賞	勝又信行	H20/2/27
甲州種ワインの高品質化に関する研究	全国食品関係試験研究所長会	平成19年度優良研究・指導業績表彰	原川 守	H20/3/6
宝石の精密加工方法の考案	文部科学省	平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	坂本正純	H21/5/27
3次元アルミニウムマスクを用いたシリコン基板の反応性イオンエッチング加工技術の開発	日本真空協会	第35回真空技術賞	勝又信行 石田正文	H22/11/5
ワイン醸造工程における炭酸ガス使用手法の改善	文部科学省	平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	中山忠博	H24/4/17
大型高強度溶接ペローズの開発等	(一社) 溶接学会	平成23年度溶接技術普及賞	宮川和幸	H24/5/18
高品質な国産赤ワインの製造方法の開発	全国食品関係試験研究所長会	平成25年度優良研究・指導業績表彰	恩田 匠	H26/2/28
山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	日本デザイン学会	第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	佐藤博紀	H27/6/25

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	日本ブドウ・ワイン学会	日本ブドウワイン学会技術賞	恩田 匠	H28/11/26
金型鋼の耐熱疲労特性評価をはじめとしたX線応力測定技術の素形材産業への展開	日本材料学会	平成28年度日本材料学会X線材料強度部門委員会業績賞	八代浩二	H29/1/27

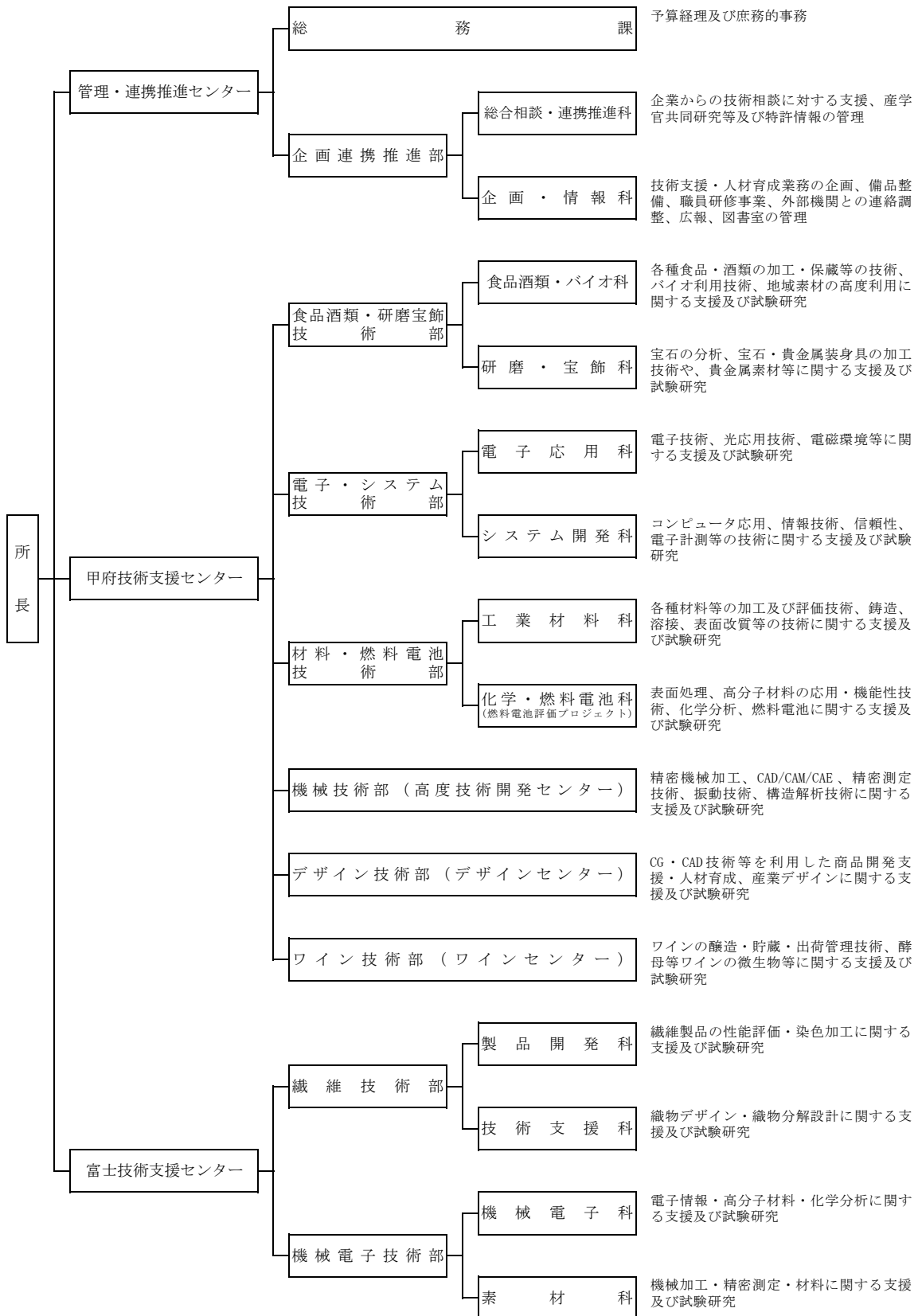
加入学会・協会等

学会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(社)日本食品科学工学会	つくば市観音台2-1-12 (独)農業・食品産業技術総合研究機構内	029-838-8116
全国食品関係試験研究場所長会	つくば市観音台2-1-12 (独)農業・食品産業技術総合研究機構内	029-838-7990
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	03-3811-8789
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(公財)砥粒加工学会	東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックスビル	03-3362-4195
宝石学会(日本)	東京都台東区上野 3-20-8 小島ビル	03-3834-7057
(一社)繊維学会	東京都品川区上大崎3-3-9-208	03-3441-5627
(一社)日本繊維製品消費科学会	大阪市北区同心2-11-5-201	06-6358-1441
(公社)日本木材加工技術協会	東京都文京区後楽1丁目7-12 林友ビル 2F	03-3816-8081
(一社)日本熱処理技術協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5階	03-6661-7167
(一社)日本非破壊検査協会	東京都千代田区神田佐久間河岸67	03-5821-5101
(一社)型技術協会	神奈川県横浜市中区太田町6-79	045-224-6081
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地	03-5825-4073
(公社)日本鑄造工学会	東京都港区芝大門1-10-1	03-6809-2303
(公社)日本金属学会	仙台市青葉区1番町1丁目14番32号	022-223-3685
(一社)表面技術協会	東京都千代田区神田須田町2-7-1	03-3252-3286
(公社)高分子学会	東京都中央区入船3-10-9	03-5540-3770
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2	03-3490-3351
(一社)エレクトロニクス実装学会	東京都杉並区西荻北3-12-2	03-5310-2010
日本信頼性学会	東京都杉並区高円寺南1-2-1	03-5378-9853
(公社)精密工学会	東京都千代田区九段北 1-5-9	03-5226-5191
(一社)電気加工学会	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号	03-5291-6231
(一社)日本機械学会	東京都新宿区信濃町35番地	03-5360-3500
日本工芸技術協会	渋谷区千駄ヶ谷5-2-3-402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
ASEV 日本ブドウ・ワイン学会(アメリカ・日本)	甲府市北新1丁目13-1	055-220-8658
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7	03-3523-7344
日本デザイン学会	杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703	03-3301-9318
NPO法人ヒューマンインターフェイス学会	京都市下京区中堂寺栗田町93番地	075-315-8475
(一社)日本人間工学会	東京都港区赤坂2-10-16	03-3587-0278
日本色彩学会	東京都新宿区下落合3-17-42	03-3565-7716
(公社)日本インダストリアルデザイナー協会	東京都港区六本木5-17-1	03-3587-6391
(公社)日本クラフトデザイン協会	東京都渋谷区代々木1-37-20	03-3370-1324
日本感性工学会	東京都中央区日本橋浜町2-55-5	03-3666-8000
(公財)日本デザイン振興会	東京港港区赤坂9-7-1	03-6743-3722
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3-2-2	0774-93-4563
(一財)燃料電池開発情報センター	東京都千代田区神田淡路町1-19	03-6206-0231

(平成30年3月31日現在)

付-1 組織と業務

(平成30年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(平成30年4月1日現在)

所 長 手塚 伸	[研磨・宝飾科]	デザイン技術部
管理・連携推進センター	主任研究員 宮川 和博	部 長 金丸勝彦
センター長(兼2) 深沢 修	主任研究員 小松 利安	主任研究員 串田賢一
研究管理幹 萩原 茂	研究員 林 善永	主任研究員 秋本梨恵
研究管理幹(兼1) 岩間 貴司	非常勤嘱託 山本季彦	研究員 佐藤博紀
客員研究員 大丸明正	臨時職員 鶴田裕太	非常勤嘱託 数野真裕美
客員研究員 小谷信司	電子・システム技術部	臨時職員 岡 治美
客員研究員 神藤典一	部 長 河野 裕	ワイン技術部
客員研究員 中村哲夫	[電子応用科]	主幹研究員・部長 恩田 匠
客員研究員 家安 香	主任研究員 木島一広	主任研究員 小松正和
総務課	研究員 清水章良	研究員 佐藤憲亮
課長(事務取扱) 深沢 修	研究員 中村 卓	臨時職員 三科浩仁
副主幹(兼1) 井口真喜子	臨時職員 和光順子	
副主査 長田弘毅	[システム開発科]	富士技術支援センター
主 任 植村幸弘	主任研究員 宮本博永	センター長 初鹿野 晋一
主 任 岩下可奈子	研究員 保坂秀彦	副センター長 佐野照雄
非常勤嘱託 宮下郁美	研究員 布施嘉裕	
臨時職員 品田友美	研究員 中込広幸	繊維技術部
臨時職員 藤巻 恵		主幹研究員・部長 渡辺 誠
企画連携推進部	材料・燃料電池技術部	[製品開発科]
主幹研究員・部長 高尾清利	主幹研究員・部長 宮川 和幸	主任研究員 宮川理恵
[総合相談・連携推進科]	[工業材料科]	主任研究員(兼2) 勝又信行
主任研究員 望月威夫	主幹研究員 佐野正明	研究員 上垣良信
主任研究員(兼2) 勝又信行	主任研究員 阿部 治	主 任(兼2) 植村幸弘
研究員(兼2) 望月陽介	研究員 石田正文	研究員 塩澤佑一朗
[企画・情報科]	研究員 深澤郷平	非常勤嘱託 渡邊直子
主幹研究員 中村聖名	[化学・燃料電池科]	非常勤嘱託(兼2) 宮下郁美
主任研究員 勝又信行	主任研究員 三井由香里	[技術支援科]
研究員 望月陽介	主任研究員 三神武文	主任研究員 五十嵐 哲也
臨時職員 中田恵美	研究員(兼2) 清水章良	主任研究員 鈴木文晃
臨時職員 佐藤孝志	研究員 芦澤里樹	非常勤嘱託 勝俣久美
甲府技術支援センター	研究員 佐藤貴裕	非常勤嘱託 高山美和
センター長 深沢 修	(燃料電池評価プロジェクト)	
副センター長 阿部 正人	非常勤嘱託 荻野敏一	機械電子技術部
	非常勤嘱託 藤巻利幸	主幹研究員・部長 八代浩二
	非常勤嘱託 加賀爪 広	[機械電子科]
	非常勤嘱託 芦澤淳子	主幹研究員 山田博之
食品酒類・研磨宝飾技術部	機械技術部	研究員 尾形正岐
主幹研究員・部長 有泉直子	主幹研究員・部長 河西伸一	研究員 古屋雅章
[食品酒類・バイオ科]	主任研究員 萩原義人	[素材料]
主任研究員 木村英生	主任研究員 西村通喜	主任研究員 石黒輝雄
主任研究員 長沼孝多	研究員 米山 陽	主任研究員 早川 亮
研究員 尾形美貴	研究員 鈴木大介	研究員 長田和真
研究員 小嶋匡人	研究員 寺澤章裕	
研究員 樋口かよ	研究員 坂本智明	
	研究員 神澤隆彦	

(兼1)：総合理工学研究機構と兼務

(兼2)：所内担当兼務

付-3 職員配置

(平成30年4月1日現在)

	行政職					研究職							客員 研究員	非常 勤嘱 託	臨 時 職 員	合 計
	所 長	セ ン タ ー 長	副 主 幹	副 主 査	主 任	副 セ ン タ ー 長	研 究 管 理 幹	主 幹 研 究 員 ・ 部 長	部 長	主 幹 研 究 員	主 任 研 究 員	研 究 員				
所 長	1															1
管理・連携推進センター						1(1)							5			6 (1)
総 務 課			(1)	1	2									1	2	6 (1)
企 画 連 携 推 進 部							1									1
総合相談・連携推進科										1						1
企 画 ・ 情 報 科									1	1	1				2	5
甲府技術支援センター		1				1										2
食品酒類・研磨宝飾技術部							1									1
食 品 酒 類 ・ バ イ オ 科										2	3					5
研 磨 ・ 宝 飾 科										2	1		1	1		5
電子・システム技術部								1								1
電 子 応 用 科										1	2				1	4
シ ス テ ム 開 発 科										1	3					4
材料・燃料電池技術部							1									1
工 業 材 料 科									1	1	2					4
化 学 ・ 燃 料 電 池 科										2	2					4
(燃料電池評価プロジェクト)													4			4
機 械 技 術 部							1			2	4		1			8
デ ザ イ ン 技 術 部								1		1	2		1	1		6
ワ イ ン 技 術 部							1			1	1			1		4
富士技術支援センター		1				1										2
織 維 技 術 部							1									1
製 品 開 発 科										1	2		1			4
技 術 支 援 科										2			2			4
機 械 電 子 技 術 部							1									1
機 械 電 子 科									1		2					3
素 材 科										2	1					3
合 計	1	2	(1)	1	2	2	1 (1)	7	2	3	20	26	5	11	8	91 (2)

(括弧) : 総合理工学研究機構と兼職

付-4 平成30年度予算

(平成30年4月1日現在)

区分	予算額 (単位：千円)	備考
技術支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器整備 ((公財)JKAによる補助事業) ・ 保有機器の保守・校正・修繕 ・ やまなし地場産品ブランディング支援事業 	93,090	
研究開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経常研究 ・ 重点化研究 ・ 総理研研究 ・ ダイナミックやまなし枠研究 ・ 競争的資金研究 ・ 客員研究員事業費 ・ 技術情報取得 	53,532	
人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくり人材育成研修 ・ やまなしモノづくりデザイン塾 ・ 講習会 ・ 親子ものづくり体験 	4,968	
情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究報告、研究成果速報、年報、業務報告、センターニュース、デザイン情報誌の発行 	1,215	
職員職務発明特許出願費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特許等出願費、維持管理費 	1,082	
地方創生拠点整備交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワインセンターの改修 調査、工事費、備品整備、機器移設 	90,064	
地方創生推進交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業等国際規格対応支援事業費 ・ 繊維産業品質強化支援事業費 	49,125	事業期間 H28～H30
燃料電池評価プロジェクト推進事業	55,630	事業期間 H28～H32
その他 管理費 (臨時職員等人件費、庁舎管理費 など)	242,372	
計	589,996	

※正規職員人件費除く